

Philharmony November 2025
NHK Symphony Orchestra, Tokyo



# 終演時のカーテンコールを 撮影していただけます

スマートフォンやコンパクトデジタルカメラなどで撮影していただけます。 SNSでシェアする際には、ハッシュタグ「#N響」「#nhkso」の追加をぜひお願いいたします。 ほかのお客様の映り込みにはご注意ください。

※撮影はご自席からとし、手を高く上げる、望遠レンズや三脚を使用するなど、 周囲のお客様の迷惑となるような行為はお控えください

# You are free to take stage photos during the curtain calls at the end of the performance.

You can take photos with your smartphone or compact digital camera.

When you share the photos on social media, please add #nhkso.

Be careful to avoid accidentally including any audience members in your photos.

# 「フラッシュ」オフ 設定確認のお願い

撮影前に、スマートフォンのフラッシュ設定が 「オフ」になっているかご確認をお願いいたします。

## Set your device to "flash off mode."

Make sure that your smartphone is on "flash off mode" before taking photos.







スマートフォンのフラッシュをオフにする方法 | 多くの機種では、カメラ撮影の画面の四隅のどこかに、フラッシュの状態を示す (カミナリマーク)を含むアイコンが表示されています。これをタップすることで、「オン(強制発光)」「自動(オート)」「オフ」に変更できます。

# インターネット アンケートに ご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットで アンケートを行っています。ご鑑賞いただいた公演のご感想や、 N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。 ご協力をお願いいたします。

詳しくは55ページをご覧ください



こちらの QR コードから アンケートページへ アクセスできます

enguete.html

#### お客様へのお願い

Please kindly keep in mind the following:



#### 公演中は携帯電話

#### 時計のアラーム等は必ずお切りください

Be sure to set your phone to silent mode and turn off your watch alarm etc. during the performance.



#### 私語、パンフレットをめくる音など、 物音が出ないようご配慮ください

Please refrain from making any noise, such as engaging in private conversations or turning booklet pages.



#### 大きく手足を揺らしたり体を乗り出したりするなど 他のお客様にご迷惑となる行為はおやめください Do not disturb others by overly swaying your body.



#### 発熱等の体調不良時には ご来場をお控えください

Please refrain from visiting the concert hall if you have a fever or feel unwell.



# 演奏は最後の余韻まで お楽しみください

Please wait until the performance has completed before clapping hands or shouting "Bravo."



# 演奏中の入退場は ご遠慮ください

Please refrain from entering or leaving your seat during the performance.



#### 適切な手指の消毒、 咳エチケットにご協力ください

Your proper hand disinfection and cough etiquette are highly appreciated.



# 場内での録画、録音、写真撮影は固くお断りいたします (終演時のカーテンコールをのぞく)

Video or audio recordings, and still photography at the auditorium are strictly prohibited during the performance. (Except at the time of the curtain calls at the end of the concert.)



# 補聴器が正しく装着されているか ご確認ください

Please make sure that your hearing aids are properly fitted.



#### 「ブラボー」等のお声掛けをされる際は、 周囲の方へのご配慮にご協力をお願いいたします

When shouting "Bravo," please be considerate of people around you.

# **PHILHARMONY**

#### CONTENTS

**NOVEMBER 2025** 

# 11

| 4 様 最も心に残った N響コンサート&ソリスト2024 |
|------------------------------|
|------------------------------|

- 10 [公演プログラム] A プログラム
- 23 [公演プログラム] Βプログラム
- 29 [公演プログラム] Cプログラム
- 2 NHK交響楽団メンバー
- 35 2025年12月定期公演のプログラムについて――公演企画担当者から
- 37 チケットのご案内(定期公演2025年9月~2026年6月)
- 38 2025-26定期公演プログラム
- 40 [速報] 2026-27定期公演プログラム/特別公演(-部)
- 45 特別公演/各地の公演
- 50 特別支援·特別協力·賛助会員
- 54 曲目解説執筆者・歌詞対訳者 / Information (退団) / N響の出演番組
- 55 みなさまの声をお聞かせください!
- 56 NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO Members

#### Artist Profiles & Program Notes

| 57 | Program A |
|----|-----------|
| 62 | Program B |
| 66 | Program C |

- 70 The Subscription Concerts Program 2025–26
- 72 N響関連のお知らせ
- 73 N響の社会貢献
- 74 役員等·団友
- 75 N響100年——おもな記念事業

# NHK交響楽団

首席指揮者:ファビオ・ルイージ

名誉音楽監督:シャルル・デュトワ

桂冠名誉指揮者:ヘルベルト・ブロムシュテット

桂冠指揮者:ウラディーミル・アシュケナージ

名誉指揮者:パーヴォ・ヤルヴィ 正指揮者: 尾高忠明、下野竜也

第1コンサートマスター:郷古 廉、長原幸太 ゲスト・コンサートマスター:川崎洋介

#### 第1ヴァイオリン

青木 調 飯塚歩夢

- ○字根京子 大鹿由希
- 倉富藤 本報大康大康大事<l
- 松田拓之 ○三又治彦 宮川奈々
- ○山岸 努
- ○横溝耕一

#### 第2ヴァイオリン

- ◎大宮臨太郎
- ◎森田昌弘 齊藤麻衣子
- ○嶋田慶子
- ○白井 篤
- ○田中書56 坪升羽野本第 平船野下場 野尾科野尾科 大山田慶
- ○横島礼理 米田有花

- \* 清水伶香
- \* 湯原佑衣

#### ヴィオラ

- ◎佐々木 亮
- ◎村上淳一郎
  ☆中村翔太郎
  小野 聡
- 小畠茂隆 \* 栗林衣李
- □坂口弦太郎 谷口真弓 飛澤浩人
- ○中村洋乃理 松井直之 三国レイチェル由依
- # 御法川雄矢
- ○村松 龍

#### チェロ

- ◎辻本 玲 ◎藤森亮一
- 市寛也小畠幸法
- ○中 実穂
- ○西山健一藤村俊介藤森 拡持 宮坂井 将 矢部優典
- ○山内俊輔 渡邊方子

#### コントラバス

- ◎吉田 秀
- ○市川雅典 稻川永示
- ○岡本 潤 今野 京
- ○西山真二 本間達朗 矢内陽子

#### フルート

- ○甲斐雅之○神田寛明
- 梶川真歩 #中村淳二

#### オーボエ

- 吉村結実 池田昭子
- 坪池泉美 \*中村周平 和久井仁

#### クラリネット

- ◎伊藤 圭
- ◎松本健司
- \* 堂面宏起 山根孝司

#### ファゴット

- ◎宇賀神広宣
- ◎水谷上総
- \* 大内秀介 佐藤由起

## 森田 格

ホルン

#### ◎今井仁志 石山直城 勝俣 泰 木川博史

木川博史 庄司雄大 野見山和子

#### トランペット

- ◎菊本和昭 ◎長谷川智之
- ○長谷川智乙 安藤友樹 藤井虹太郎 山本英司

# トロンボーン

- ◎古賀 光
- ◎新田幹男 池上 亘 黒金寛行

#### テューバ

池田幸広

#### ティンパニ

◎久保昌一 ☆植松 透

#### 打楽器

石川達也 黒田英実 竹島悟史

#### ハープ

早川りさこ

## ステージ・マネージャー

徳永匡哉

#### ライブラリアン

沖 あかね 木村英代

こちらの QR コードから 楽員の詳しいプロフィールが ご覧いただけます。

https://www.nhkso.or.jp/ about/member/index.html



(五十音順、◎首席、☆首席代行、○次席、□次席代行、 #インスペクター、\*契約)



MHK SYMPHONY ORCHESTRA

特別支援

岩谷産業株式会社

★ 三菱地所株式会社

MIZUHO みずほ銀行

公益財団法人 渋谷育英会

東日本旅客鉃道株式会社

**O**NTT EAST

東京海上ホールディングス株式会社

株式会社 ポケモン

With Special Support of

Iwatani Corporation

Mitsubishi Estate Co., Ltd.

Mizuho Bank, Ltd.

Shibuya Scholarship Foundation

East Japan Railway Company

NTT East, Inc.

Tokio Marine Holdings, Inc.

The Pokémon Company

NHK交響楽団は上記の各社から特別支援をいただいております。



# N響コンサート 2024-25

# 第1位 6月Cプロ 第2041回 2025年6月20、21日

コルンゴルト/ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35

マーラー/交響曲 第1番 ニ長調「巨人」

指揮:タルモ・ペルトコスキ ヴァイオリン:ダニエル・ロザコヴィッチ





N響のこれからの100年を、未来を思って、第1位に選びました。音楽性に年齢は関係ありませんが、これからもたびたび客演いただいて、若き指揮者ペルトコスキさんとN響でしか出せない演奏を目指してほしいです。(@schwarz\_main)

コルンゴルトの《ヴァイオリン協奏曲》がいつも聴くこの曲とは全く違ったものに聞こえました。マーラーでもニュアンスの付け方が天才的です。素晴らしいコンサートでした。(中西 裕)

若きマエストロとソリストが新鮮。2人とN響がどう融合するかワクワクしながら聴きました。いつもの定期より若い観客も多く、日本のオーケストラの未来を期待できると思えた良い演奏会でした。(くまぁ)

始まったのかわからないほどの小さな音からはじまり、強弱に富んだ音作りで印象的なかっこうやファンファーレ、チェロのフレーズが際立ったように感じた。強い音が欲しいときに体の入った臆さない指揮を行っていて、25歳の若さと自分の指揮に対する自信を感じた。最小音をかなり小さくする試みはかなり新鮮であり、メリハリある指揮は偉大な指揮者になる未来を感じさせるものがあった。(アオガメ)

25歳にしてN響を自在に操る俊英。次回の登場が今から待ち遠しく思える指揮者を知ることができてうれしい。 (山田淳)

今まで50年クラシックを聴いて最高の天才に出会った。 後ろ姿にカラヤンの面影を見た思い……こんなことがあ るとは……凄すぎる……絶句。(ヘルベルト)

ペルトコスキさんが振った時、今までN響から聴いたことのない音がしました。いつもとは異なる角度の素晴らしい演奏でした。私と同い年という親近感もあります。(Rdu)

とにかく凄まじい、圧倒的なマーラーでした。若い指揮者でしたが、こんな演奏をするなんて信じられない。この先どうなるのか楽しみです。(阿部正洋)

マーラーの《交響曲第1番》は特に好きな曲で、耳にタコができるくらい聞いていますが、ベルトコスキさんの演奏には今までにないような歌い方が散りばめられ、小さな波が多く押し寄せて最後には大きな波になったような演奏に思いました。今後も是非招聘・共演をいただき、また新しい演奏を聴きたいと、期待に溢れたコンサートでした。(ぶっちー)

# 第2位 10月Cプロ 第2021回 2024年10月25、26日

シューベルト/交響曲 第7番 ロ短調 D. 759「未完成 |

シューベルト/交響曲 第8番 ハ長調 D. 944「ザ・グレート」

指揮:ヘルベルト・ブロムシュテット



いつも眼差しに曇りのない少年のような音楽をつくる Mo. ブロ ムシュテットが、《グレート》では老境から昔話をするような音楽を 紡ぎ出していて感無量だった。(吉岡直哉)

とにかくN響メンバーの気合の入り方が尋常でなかった。御大 はいつものように一音一音丁寧に音を紡いでいく。演奏者はマ エストロの一振り一振りを嚙みしめるように受け止めて的確に表 現する。これだけの名演に立ち会えたこと自体、本当に幸運だっ た。(今井達朗)

# 第3位 1月Aプロ 第2028回 2025年1月18、19日

ショスタコーヴィチ/交響曲 第7番 ハ長調 作品60「レニングラード」

指揮:トゥガン・ソヒエフ



ソヒエフの《レニングラード》を楽しみに NHK ホールに行きまし たが、待っていたのはまだ私の知らない音楽の世界でした。迫 力の中にも喜びや悲しみそして平和な日常に迫る戦争への恐 怖、さまざまな感情が入り混じったソヒエフにしか奏でられない 特別な《レニングラード》。忘れられない演奏会です。(Ayumu)

今までショスタコーヴィチは難解で苦手だったが、この演奏を聴 いて激しく心を摑まれとても感動したため。(Y)

平和への祈りが、重厚なメロディとそれを奉でる真摯な演奏から 伝わってきました。心の奥に伝わりました。素晴らしかったです。 (轟晴美)

# 第4位 10月Aプロ

第2020回 2024年10月19、20日

オネゲル/交響曲 第3番「典礼風」

ブラームス/交響曲 第4番 ホ短調 作品98

指揮:ヘルベルト・ブロムシュテット



演奏が終わったあと、ゆっくりと腕を振り下ろすまでの時間に、会 場全体が張り詰めた静寂に包まれました。音は止んでいるのに、 音楽はまだそこに生きていて、指揮者の一挙手がその残響を導い ているかのようでした。あの無音の時間にさえ、音楽が「鳴ってい る」と感じさせられた体験は、今でも忘れられません。(岸本泰樹)

昨年聴けなかったブロムシュテットが無事来日されただけでも嬉し かったのですが、音楽が若々しく進んでいき、川崎コンマスが引っ 張るN響からも分厚い音が出ていて、感動しました。(つぐ)

# 第5位 5月Aプロ 第2036回 2025年4月26、27日

マーラー/交響曲 第3番 二短調

指揮:ファビオ・ルイージ メゾ・ソプラノ:オレシア・ペトロヴァ 女声合唱:東京オペラシンガーズ 児童合唱:NHK東京児童合唱団



楽器ごとに見せ場、聴かせどころがあり、統一感があるサウンド が素晴らしい。特に第6楽章の紡ぎ出すようなハーモニーはひと つの宇宙であった。(渡辺淳)

ヨーロッパ公演の曲目でもあり、今シーズンN響の一番気合の 入った演奏だったのではないかと思いました。(大塩知弘)

ルイージ・N響・ソリスト・合唱それぞれの普段とは異なる気迫が 凄まじかったです。 特に最終楽章は NHK ホールに一筋の光が 差したように感じられ、非常に素晴らしいものでした。 (サトシ)

# 第6位 9月Aプロ

第2016回 2024年9月14、15日

ブルックナー/交響曲 第8番 ハ短調(初稿/1887年)

指揮:ファビオ・ルイージ



ほとんど演奏されない初稿をあえて取り上げ、生で聴けたという貴重な機会に感謝。改訂版、そして今回の新鮮かつ重々しい音楽との比較は、作曲者のこの作品に対する想いを更に強く受け止めることになった。(ハラヤン)

ブルックナーの良さを最大限引き出していた。苦手だったブルックナーの印象が変わり、いつもと違った一面を見せてくれた気がした。はじめて2日間赴きました。(けんけん)

この曲の初稿がこれほど素晴らしい音楽に満ち溢れているとは まったく知りませんでした。先日発売されたCD、宝物とさせていた だきます。(鎌谷朝之)

## 第7位 | 5月Cプロ | 第2038回 | 2025年5月30、31日 シューベルト/「ロザムンデ」序曲

ドホナーニ/童謡(きらきら星)の主題による変奏曲 作品25\* R. シュトラウス/歌劇「影のない女」による交響的幻想曲 R. シュトラウス/歌劇「ばらの騎士」組曲 指揮:ギエドレ・シュレキーテ ピアノ:藤田真央\*

# 第8位|1月Cプロ|第2029回|2025年1月24、25日

ストラヴィンスキー/組曲「ブルチネッラ」 ブラームス/交響曲 第1番 ハ短調 作品68 指揮:トゥガン・ソヒエフ 第9位 | 1月Bプロ | 第2030回 | 2025年1月30、31日 ムソルグスキー(ワォーートン編) /

歌劇「ソロチンツィの市」―「序曲」「ゴパック」 バルトーク/ヴァイオリン協奏曲 第2番 ドヴォルザーク/交響曲 第8番 ト長調 作品88

ヴァイオリン: 郷古 廉(N響第1コンサートマスター)

指揮:トゥガン・ソヒエフ

# 第10位 | 6月Aプロ | 第2039回 | 2025年6月7、8日

リムスキー・コルサコフ/歌劇「5月の夜」序曲 ラフマニノフ/パガニーニの主題による狂詩曲 作品43\* チャイコフスキー/交響曲 第6番 ロ短調 作品74「悲愴」 指揮:フアンホ・メナ

ピアノ:ユリアンナ・アヴデーエワ\*

# ソリスト 2024-25

# 第1位 | 4月Aプロ | 第2034回 2025年4月12、13日

# アントワーヌ・タメスティ(ヴィオラ)

ベルリオーズ/交響曲「イタリアのハロルド」



舞台袖から現れるパフォーマンス、ヴィオラの素晴らしい音色 と音量に驚いたことは言うまでもありませんが、ソリストとオケ のやりとりが素晴らしく、《イタリアのハロルド》という曲の真 の魅力に気づくことができました。(秋本富雄)

音色も技術も圧巻で、没入感のある演奏でした。完全に曲に 憑依していたし、ヤルヴィとのコミュニケーションもよく取れてい た印象です。(ベルベル)

曲の始めにソリストがいないなんてとても驚きでした。そのあと もあちこち移動しながらの演奏、斬新でした。(戸邊徹雄)

# 第2位

5月Cプロ 第2038回 2025年5月30、31日

# 藤田真央(ピアノ)

ドホナーニ/童謡(きらきら星)の主題による変奏曲作品25



バリエーションのひとつひとつ の個性が絶妙に表現されてい て聴いていてとても楽しかっ た。藤田真央さんならではの 演奏。(ぷっき)

満員のNHKホールでこんな

にもピアノの音が美しく立ち、3階席までピアニッシモが見事な 音色で聴こえてきたことに驚嘆!ドホナーニの愉しい変奏曲をシュ レキーテ指揮のN響とともに色彩豊かに雄弁に音楽を繰り広げ た。アンコールのセヴラックも素晴らしかった! (元井亮一)

# 第3位

| **2月Aプロ** | 第2031回 | 2025年2月8、9日

# ラデク・バボラーク(ホルン)

R. シュトラウス/ホルン協奏曲 第1番 変ホ長調 作品11



ホルンという楽器が、こんなに 多彩な音がするとは知りません でした。ホルンというひとつの 楽器をここまで色々な音色に 吹いてしまうその手腕に惚れ 込みました……。(とち)

あんな軽い調子で、高音も低音も、フォルテもピアノも、自在にホ ルンを吹きこなしてしまうなんて……!終始ホルンが身体の一部 に見えました。(安田源内大好き)

第4位 1月Bプロ 第2030回 2025年1月30、31日 郷古廉(ヴァイオリン)

バルトーク/ヴァイオリン協奏曲 第2番

第5位 6月Cプロ 第2041回 2025年6月20、21日 **ダニエル・ロザコヴィッチ**(ヴァイオリン) コルンゴルト/ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35

第6位 6月Aプロ 第2039回 2025年6月7、8日 **ユリアンナ・アヴデーエワ**(ピアノ) ラフマニノフ/パガニーニの主題によ る狂詩曲 作品43

# 投票を通じて寄せられたみなさまの声

娘がオーケストラ部に入ったことで、夫のオケ熱も再燃、 家族でたびたび聴きにうかがっています。団員のお名前 もほとんど覚えているN響オタクの娘に色々と教えてもら いながら、ホールへ向かうわくわくした時間も毎回楽し みです。練習風景のSNSもいつも楽しみにしています。 (岩崎美代子)

E席が安価なのでとても助かっています。知らない曲のプログラムでもお試しと思って行ってみたらすごくよかったなんてこともありました。(金井塚淳子)

今年のN響はヨーロッパ公演に向けてまさに飛躍していったように見える。ヨーロッパ公演に向けてN響が今までよりも一段階もう一段階とより良い演奏に向かっていく姿はもはや日本のN響はもとより世界のN響にふさわしいものだと思う。これからN響100周年に向けてとても楽しみだ。(20歳/大学生)

子どもに誘われて定期会員になりました。いつもお隣の N響ファンの方とも知り合え、音楽の話題を拝聴するなかで、緊張なくコンサートを楽しめるようになりました。これからもますます音楽が好きになる予感です。(おねこさん)

10年ほど前にパーヴォ・ヤルヴィ指揮の《ドン・キホーテ》をテレビで観てからN響はよく見に行っています。コロナ直前のイギリス公演も、たまたまわたしがその時ロンドンに住んでいたため見に行きました。これからもいろいろな演奏を見られることを楽しみにしています。(吉井佐和)

私は最近インスタを見始め、以前は、「喋らない、笑わない」のではないかしら? と思っていた憧れの N響の方達が、演奏を離れるとあまりに普通の方々の感覚をお持ちなのと、更には上品なユーモアも備えておられるのを拝見できて、びっくりするやら感激するやらです。(viva Orch.)

昨年12月のN響の《第9》を鑑賞してから、クラシックが好きになりました。私は20歳で同じ年代でクラシックを聞く人は少なく、なかなか共感を得られない趣味ではあるのですが、クラシックが彩る生活を堪能できてうれしく思います。これからも心を動かす音楽を期待してNHKホールに足を運びます。(MSK)

N響は私がもともと好きな曲、今まで聴いたことのなかった曲など、さまざまな曲目を演奏しているところが好きです。お目当ての曲があって聴きに行ったコンサートでも、ほかの曲の魅力に気づいたり、新しい発見があるので、予定が合う時に聴きに行っています。残念ながら予定が合わなかった時や、もう一度聴きたい曲があった時もテレビで放送していただけるのが良いです。(K.S.)

N響の定期公演は、故郷を離れ、東京の大学で学ぶ息子と、単身赴任で東京に暮らす私が、月に一度会って、音楽を楽しみ、その後で夕食を一緒に取る機会になっています。コロナが少し落ち着いた大学2年の春からはじまった楽しい習慣は、この春、息子が大学院に進学したことで、あと2年は続きそうです。(小島昭男)

#### 招聘してほしい指揮者 ベスト5

- (1)クラウス・マケラ
- ②タルモ・ペルトコスキ
- ③パーヴォ・ヤルヴィ
- **4)ペトル・ポペルカ**
- ⑤サイモン・ラトル

#### 招聘してほしいソリスト ベスト5

- ①藤田真央
- ②阪田知樹
- ③ダニエル・ロザコヴィッチ
- ④務川慧悟 ユジャ・ワン

#### **PROGRAM**



# 第2048回

# NHKホール

 $11/8 \pm 6:00$ pm

11/9日2:00pm

指揮シャルル・デュトワ

ピアノ 小菅優\*

オンド・マルトノ 大矢素子\*

東京オペラシンガーズ(合唱指揮:西口彰浩)

コンサートマスター 郷古廉

## メシアン

## 神の現存の3つの小典礼\*[37]

- I 内的「会話」のアンティフォナ 「我らの内に現存する神……」
- Ⅲ「言葉」のセクエンツィア、神の賛歌 「御自身の内に現存する神……」
- Ⅲ 愛による「遍在」のプサモルディア 「万物に現存する神······]

----休憩(20分)-----

# ホルスト

# 組曲[惑星]作品32[54]

- I 戦争の神、火星
- Ⅱ 平和の神、金星
- Ⅲ 翼を持った使いの神、水星
- Ⅳ 快楽の神、木星
- Ⅴ 老年の神、十星
- Ⅵ 魔術の神、天王星
- Ⅷ 神秘の神、海王星

※演奏時間は目安です。

# インターネットアンケートにご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。みなさまの貴重なご意見を参考にさせていただきたく、ぜひお声をお寄せください。ご協力お願いいたします。

詳しくは55ページをご覧ください

こちらの QR コードから

アンケートページへアクセスできます



https://www.nhkso.or.jp/ enquete.html

8 & 9. NOV. 2025

# シャルル・デュトワ(指揮)



1936年ローザンヌ生まれ、ローザンヌ音楽院やジュネーヴ音楽院で勉強し、またアンセルメ指揮スイス・ロマンド管弦楽団のリハーサルを見学して指揮の実際について学ぶ。各地の楽団や歌劇場での活動で頭角を現したあと、1977年にモントリオール交響楽団の音楽監督に就任、瞬く間に同団の演奏レベルを引き上げて世界的なオーケストラに育て上げ、2002年までこのポストを務め上げた。一方で

1991年から10年間にわたってフランス国立管弦楽団の音楽監督を兼任、その後もフィラデルフィア管弦楽団やロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者などを歴任した。

N響には1987年9月に初登場し、その後数回の共演を経て1996年に常任指揮者に就任、1998年からは音楽監督として同団の発展に努め、2003年に名誉音楽監督となって以降も定期的に客演を行なった。多彩かつ澄明な響きと精緻な造形を追求する彼の音楽作りが、N響の音色のパレットを豊かにし、N響に洗練美をもたらした功績は大きい。

2017年12月の定期のあと、しばらく共演が途絶えたが、昨年NHK音楽祭で久々にN響を振って名演を聴かせた。8年ぶりの定期公演登場となる今回はメシアン、ホルスト、ラヴェルといった彼の真価が存分に発揮されるような曲目が並ぶ。演奏時点で89歳を迎えているデュトワだが、彼らしい精度の高い明晰な指揮で健在ぶりを披露してくれることだろう。

[寺西基之/音楽評論家]

# 小菅 優 (ピアノ)



ドイツを拠点とした少女時代に始まり、小菅優が国際的な活躍を 間断なく続けて四半世紀を超える歳月がめぐった。古典派、ロマン派 から同時代作品まで旺盛に取り組み、詩的なアイデアと挑戦の意欲 を拡げつつ、創造的なプロジェクトを多彩に展開するピアニストであ る。ピアノ・ソナタ全集に留まらずベートーヴェンの諸作に網羅的に 取り組むほか、「水・火・風・大地」の四元素でプログラムを織りなした

「Four Elements」、さらには「ソナタ」をテーマとするシリーズ、西村朗や藤倉大とのコラボレーションでも注目されてきた。室内楽や歌曲の演奏にも意欲的な姿勢を保ち、ピアニストとしてだけでなく幅広い音楽家としての探求をさまざまに結実させている。

2022年5月定期公演ではルイージの指揮でラヴェルの協奏曲を聴かせたが、このたびはデュトワが21年ぶりにN響と採り上げるメシアンの難大曲に挑戦。第2次世界大戦中に書かれ、初演から論争を巻き起こした野心作だが、《時の終わりの四重奏曲》をはじめメシアンの音楽に深い関心をみせてきた小菅の確かな知力と表現技量が熱く示されることだろう。

[青澤隆明/音楽評論家]

# 大矢素子(オンド・マルトノ)



英国生まれ。東京藝術大学楽理科在学中にオンド・マルトノの音響に魅了され、日本におけるこの楽器の第一人者、原田節に師事。以来、演奏・研究の両面からオンド・マルトノにアプローチする。2004年、楽器の開発者モーリス・マルトノ著『アクティヴ・リラクゼーション』を翻訳出版。2006年からパリ国立高等音楽院オンド・マルトノ科で学び、2009年に首席で卒業した。同音楽院在学中、メシア

ン《神の現存の3つの小典礼》のソリストとしてパリ国立高等音楽院オーケストラとの世界ツアーに参加。帰国後、マルトノの思想研究により東京藝術大学で博士号を取得した。

2011年東京オペラシティ「B→C」シリーズ、2012年NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、2014年NHK-Eテレ「スコラ 坂本龍一 音楽の学校─電子音楽編」などに出演。2017年、メシアンの歌劇《アッシジの聖フランチェスコ》全曲日本初演では第2オンド・マルトノを担当した(シルヴァン・カンブルラン指揮、読売日本交響楽団)。N響とは、2018年8月の「N響ほっとコンサート」以来の共演となる。今回は、デュトワのタクトのもと、メシアンが愛好した独特の浮遊感のある響きを印象深く聴かせてくれるだろう。

[柴辻純子/音楽評論家]

# 東京オペラシンガーズ(女声合唱)

東京オペラシンガーズは、故小澤征爾による「世界水準の合唱を」という要請で組織され、以来33年、東京を中心に着実に活動を続けている若手から中堅の声楽家による合唱団。結成直後から「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」(現セイジ・オザワ松本フェスティバル)で活動し、小澤およびサイモン・ラトル指揮のウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、リッカルド・ムーティ指揮のシカゴ交響楽団をはじめ演奏史の記憶に残る海外著名オーケストラや歌劇場の来日公演で共演。声質、声量ともに充実した合唱で魅了してきた。2005年より「東京・春・音楽祭」への参加を続けており、2025年は《パルシファル》《蝶々夫人》《こうもり》《ミサ・ソレムニス》などに出演。9月にはムーティ指揮ヴェルディ《シモン・ボッカネグラ》に登場した。N響とは定期公演や「東京・春・音楽祭」でたびたび共演しており、最近では2025年5月定期公演のマーラー《交響曲第3番》に出演している。今回の定期公演ではデュトワのタクトによる洗練されたメシアン、ホルスト作品の演奏に、華を添えてくれることだろう。

[伊藤制子/音楽学·音楽評論家]

8 & 9. NOV. 2025

本日のプログラムは、指揮者シャルル・デュトワが最も得意とするレパートリーの中から、メシアンの《神の現存の3つの小典礼》と、ホルストの《組曲「惑星」》という大曲の二本立て。ほぼ30年の時を経て生まれたこの2つの20世紀作品には、共通点よりもむしろ補完的な特徴が多く見られる。メシアンの宗教色、そして弦楽器中心の編成、神秘的な音色のオンド・マルトノやピアノのソロ。ホルストは占星術からの影響、木管・金管・打楽器の活躍が目立つ。なお、どちらにも女声合唱があるが、メシアンの場合は主役として扱われ、ホルストでは一部分に脇役として登場するに過ぎない。人間の古くからの大きな関心事である宗教や天体が、20世紀の作曲家と出会い、異なる2つの素晴らしい管弦楽曲に成就した。

#### メシアン

# 神の現存の3つの小典礼

20世紀の大作曲家で宗教の影響を最も色濃く受けた創作をおこなった作曲家と言えば、まずオリヴィエ・メシアン(1908~1992)の名が思い浮かぶ。敬虔なカトリック信者だった彼は、その大部分の作品で聖書を素材にしている。ドビュッシーやラヴェルの世代のフランス音楽、またストラヴィンスキーなど世紀初頭のさまざまな作品に影響を受けつつ、1940年代になってからメシアンは、ヨハネの黙示録に基づく《世の終わりのための四重奏曲》、神秘主義的な題材に基づく2台ピアノのための《アーメンの幻影》や、ピアノ・ソロのための《みどりごイエスにそそぐ二十のまなざし》といった大作を矢継ぎ早に生み出し、その創作力の高まりの上にこの作品は書かれた。編成はピアノとオンド・マルトノのソロ、弦楽合奏と打楽器、女声合唱である。メシアンの創作におけるピアノの重用は、弟子のひとりでありのちに結婚したイヴォンヌ・ロリオの存在が大きい。また、この作品はピアノ以外にもオンド・マルトノ、チェレスタなどの鍵盤楽器、ヴィブラフォーンなどの鍵盤打楽器などが使われ、バリのガムランを模したメシアンの独特な管弦楽法の先駆けとなった。

すでに1931年から彼はパリのサン・トリニテ教会のオルガニストを務めていたが、その 前衛的な響きによる即興演奏は、保守的なカトリック教会の会衆内でしばしば物議を醸 していた。メシアンは『わが音楽語法』という著書に自らの音楽語法をまとめ上げ、使用 する独自の旋法やリズムの取り扱いを詳しく述べていたが、この作品はそこに書かれて いる「移調の限られた旋法」が使われている。旋律とバスとがユニゾンで動くメシアン独 特の和声、そしてそれが複数重なった時にもたらされる極彩色。また第2楽章などで現 れる付加価値を伴うリズムが、既存の音価よりさらに短いそれを挿入し、不安定で興味 深い持続を作品に与えている。通常は保守的な典礼の音楽に対して、この作品の新し い音響感覚、そして信仰告白のようなメシアン自身のテクストを巡って、初演は大変なスキャンダルの的となった。

第1楽章〈内的「会話」のアンティフォナ〉、第2楽章〈「言葉」のセクエンツィア、神の賛歌〉、第3楽章〈愛による「遍在」のプサモルディア〉と題され、作曲者によれば、各々神の別の存在を表現しているという。

| 作曲年代 | 1943~1944年  |
|------|---|
| 初演   | 1945年4月21日、ロジェ・デゾミエール指揮、イヴォンヌ・ロリオのピアノ独奏、ジネット・マルトノ |
|      | のオンド・マルトノ独奏、イヴォンヌ・グヴェルネ合唱団、パリ音楽院管弦楽団、パリ音楽院ホール     |
| 楽器編成 | <br>チャイニーズ・シンバル、銅羅、マラカス、ヴィブラフォーン、チェレスタ、弦楽、女声合唱、ピア |
|      | ノ・ソロ、オンド・マルトノ・ソロ                                  |

#### ホルスト

# 組曲「惑星」作品32

イギリスの作曲家、グスターヴ・ホルスト(1874~1934)の代表作で、1914~1916年の作品。7つの楽章からなる組曲で、太陽系の8つの惑星の中で、地球を除いた7つが扱われている。これはホルストが当時占星学を、またそれとローマ神話との関連について詳しく研究し、構想したことによっている。いずれにせよ、この《惑星》が作曲されるまでに、これだけ体系的に天体をテーマに想像力を働かせた作品はなかったように思われる。ホルストが各惑星に持ったアイデアが多様な音楽的発想と主題系を生み出し、それがオーケストラの扱いに秀でていたホルストの想像力を、この点でさらに刺激したのではなかろうか。特にさまざまな楽器群の特徴を捉えた優れた楽器法の起源は、ワーグナーやリヒャルト・シュトラウスに求められる。多くのイギリスの作曲家と同じく、ホルストもまた彼らの音楽を偏愛していた。しかしイギリスでは20世紀の初頭にナショナリズムとしての民謡の復興運動が起こり、彼はこの運動にも多大な関心を寄せていた。このことは、この作品のいくつかの主題の親しみやすさにも大いに影響を与えている。そしてデュカスやラヴェル、さらにストラヴィンスキーをはじめとする同時代の大陸の音楽を知るようになって、次第に過去の影響から抜け出し、個性的で彼独自のスタイルを確立する。この《惑星》にもその影響が見られる。

第1曲〈戦争の神、火星〉、第2曲〈平和の神、金星〉、第3曲〈翼を持った使いの神、水星〉、第4曲〈快楽の神、木星〉、第5曲〈老年の神、土星〉、第6曲〈魔術の神、天王星〉、第7曲〈神秘の神、海王星〉から成る。ただしホルスト自身は「標題音楽ではない」とし、副タイトルは広い意味で解釈してほしいと釘を刺している。実際のところ、全体は純粋な管弦楽組曲として書かれており、7曲の中には多くの魅力的な主題が連続して

現れる楽曲もあるが、古典音楽における展開技法に学んだホルストなりの堅固な形式構成が各々に生かされている。全体を見ると、緩徐楽章にあたる第2・5曲と、スケルツォ風の第3・6曲が、組曲中最も著名な第4曲〈木星〉を中心にシンメトリーに配置されている。さらに、5拍子の勇壮でエネルギッシュな第1曲〈火星〉と瞑想的で神秘的な第7曲〈海王星〉と、特徴が最も際立って対照的な2つの楽章が、以上の5曲を取り囲む構成となっている。

最後の第7曲には、女声合唱が歌詞を持たないヴォカリーズで(聴衆に見えないように、という指示がある)加わっている。大管弦楽に合唱のヴォカリーズが一部加わることは1899年に完成したドビュッシー《夜想曲》の〈海の精〉や、1912年に初演されたラヴェルのバレエ音楽《ダフニスとクロエ》の中間部分(間奏曲、ただし混声四部)などに前例があり、こうしたアイデアには当時のフランス音楽の影響があるかもしれない。なお、第4曲の中間部に現れる主題(言わば全体の中心に位置する)は、のちにイングランド国教会の聖歌となった。

| 作曲年代 | 1914~1916年  |
|------|---|
| 初演   | <br>[非公式初演] 1918年9月29日、エードリアン・ボールト指揮、ニュー・クィーンズ・ホール管弦楽団、 |
|      | ロンドン [公式初演]1920年11月15日、アルバート・コーツ指揮、ロンドン交響楽団、ロンドン        |
| 楽器編成 | フルート4(ピッコロ2、アルト・フルート1)、オーボエ3(バス・オーボエ1)、イングリッシュ・ホルン1、ク   |
|      |   |
|      | トロンボーン3、テューバ1、テノール・テューバ1、ティンパニ2、大太鼓、シンバル、小太鼓、           |
|      | トライアングル、タンブリン、銅羅、グロッケンシュピール、シロフォン、鐘、ハープ2、チェレス           |
|      | タ1、オルガン1、弦楽、女声合唱(オフステージ)                                |
|      |   |

# メシアン 神の現存の3つの小典礼 歌詞対訳

Messiaen: Trois petites liturgies de la Présence Divine

訳◎藤田茂 | Translation: Shigeru Fujita

#### I

# Antienne de la Conversation intérieure [Dieu présent en nous...]

Mon Jésus, mon silence,
Restez en moi.
Mon Jésus, mon royaume de silence,
Parlez en moi.
Mon Jésus, nuit d'arc-en-ciel et de
silence,
Priez en moi.
Soleil de sang, d'oiseaux,
Mon arc-en-ciel d'amour,
Désert d'amour,
Chantez, lancez l'auréole d'amour,
Mon Amour.

Ce oui qui chante comme un écho de lumière,

Mon Dieu.

Mélodie rouge et mauve en louange du Père,

D'un baiser votre main dépasse le tableau,

Paysage divin, renverse-toi dans l'eau. Louange de la Gloire à mes ailes de terre, Mon Dimanche, ma Paix, mon Toujours de lumière,

## I

## 内的「会話」のアンティフォナ 「我らの内に現存する神……」

我がイエス、我が沈黙よ、 我が内に留まり給へ。 我がイエス、我が沈黙の御国よ、 我が内で語り給へ。 我がイエス、虹と沈黙の夜よ、

我が内にて祈り給へ。 血の太陽、鳥たちの太陽よ、 我が愛の虹、 愛の荒野よ、 歌ひ給へ、放ち給へ、愛の光輪を、 我が愛よ。 我が神よ。

(以下2回繰り返して、Iのはじめに戻る) この「然り」、歌ふは光のこだまの如し、

父を讃ふる赤と紫の調べ、

くちづけひとつにて、御手は絵の枠を越え、

神の景よ、水に己を翻したまへ。 我が地の翼に翔る栄光の賛美、 我が主日、我が平和、我が光の常世、 Que le ciel parle en moi, rire, ange nouveau,

Ne me réveillez pas: c'est le temps de l'oiseau!

## Π

# Séquence du Verbe, Cantique Divin [Dieu présent en lui-même...]

#### [Refrain]

Il est parti le Bien-Aimé, C'est pour nous! Il est monté le Bien-Aimé, C'est pour nous! Il a prié le Bien-Aimé, C'est pour nous!

#### [Couplet 1]

Il a parlé, il a chanté, Le Verbe était en Dieu! Il a parlé, il a chanté, Et le Verbe était Dieu! Louange du Père, Substance du Père, Empreinte et rejaillissement toujours, Dans l'Amour, Verbe d'Amour!

#### [Refrain]

#### [Couplet 2]

Par lui le Père dit: c'est moi,
Parole de mon sein!
Par lui le Père dit: c'est moi,
Le Verbe est dans mon sein!
Le Verbe est la louange,
Modèle en bleu pour anges,
Trompette bleue qui prolonge le jour,
Par Amour,
Chant de l'Amour!

天、我が内にて語れ、笑い給へ、新たな御使よ、

我が眠りを覚ますことなかれ、今は鳥の時なれば!

## Π

# 「言葉」のセクエンツィア、神の賛歌 「御自身の内に現存する神……」

## [ルフラン]

(ルノラン) 御子の去りしは、 我らがためなり! 御子の昇りしは、 我らがためなり! 御子の祈りしは、 我らがためなり!

## [クープレ1]

御子は語りき、御子は歌いき、 言は神と共に在りき! 御子は語りき、御子は歌いき、 言は神なりき! 御父を讃へ、 御父と同体にして、 刻印受け、常にほとばしるもの、 愛のうちに、愛の言よ!

#### [ルフラン]

#### [クープレ2]

御子を通し、御父は言ひ給ふ、そは我なりと、 我が懐の御言よ! 御子を通し、御父は言ひ給ふ、そは我なりと、 言はわが懐にあり! 言は賛美にして、 御使のための青の模範、 青の喇叭、昼を延ばすもの、 愛によりて、 愛の歌よ!

#### [Refrain]

[Couplet 3]

Il était riche et bienheureux, Il a donné son ciel! Il était riche et bienheureux, Pour compléter son ciel! Le Fils, c'est la Présence, L'Esprit, c'est la Présence! Les adoptés dans la grâce toujours,

[Refrain]

[Couplet 1]

Pour l'Amour,

Enfants d'Amour!

[Refrain]

[Couplet 4]

Il est vivant, il est présent,
Et Lui se dit en Lui!
Il est vivant, il est présent,
Et Lui se voit en Lui!
Présent au sang de l'âme,
Etoile aspirant l'âme,
Présent partout, miroir ailé des jours,
Par Amour,
Le Dieu d'Amour!

[Refrain]

#### Ш

Psalmodie de l'Ubiquité par amour [Dieu présent en toutes choses....]

Tout entier en tous lieux, Tout entier en chaque lieu, Donnant l'être à chaque lieu, A tout ce qui occupe un lieu,

Le successif vous est simultané,

#### [ルフラン]

[クープレ3]

御子、富める者にて幸ひなりき、

御子、その天を与へたり!

御子、富める者にて幸ひなりき、

その天を完全ならしむるため!

子は現存なり、

聖霊は現存なり!

とこしえの恩寵にありて養子とされたる者らよ、

愛のために、

愛の子らよ!

[ルフラン]

「クープレ1〕

[ルフラン]

「クープレ4]

御子は生き給ひ、御子は荐す、

御自ら御身において語り給ふ!

御子は生き給ひ、御子は存す、

御自ら御身において御覧じ給ふ!

魂の血にまします

魂を慕う星

何処にも存す 日々を映す翼ある鏡

愛によりて、

愛の神よ!

[ルフラン]

#### Ш

愛による「遍在」のプサモルディア

「万物に現存する神……」

全き姿にて、全ての処に、 全き姿にて、各々の処に、 各々の処に存在与へ、 全て処を占むるものに、

連続なるものも後には同時なり、

Dans ces espaces et ces temps que vous avez créés,

Satellites de votre Douceur.

Posez-vous comme un sceau sur mon coeur.

Temps de l'homme et de la planète, Temps de la montagne et de l'insecte, Bouquet de rire pour le merle et l'alouette, Eventail de lune au fuchsia, A la balsamine, au bégonia;

De la profondeur une ride surgit, La montagne saute comme une brebis Et devient un grand océan. Présent, vous êtes présent.

Imprimez votre nom dans mon sang.

Dans le mouvement d'Arcturus, présent, Dans l'arc-en-ciel d'une aile après l'autre, (Écharpe aveugle autour de Saturne), Dans la race cachée de mes cellules, présent,

Dans le sang qui répare ses rives,

Dans vos Saints par la grâce, présent (Interprétations de votre Verbe, Pierres précieuses au mur de la Fraîcheur.)

Posez-vous comme un sceau sur mon

Un cœur pur est votre repos, Lis en arc-en-ciel du troupeau, Vous vous cachez sous votre Hostie, Frère silencieux dans la Fleur-Eucharistie,

Pour que je demeure en vous comme une aile dans le soleil, Vers la résurrection du dernier jour. 汝の造られし天地と時において、

汝の柔和を取り巻きたるもの。

印の如く汝を我が心に据え給へ。

人の時、惑星の時、 山の時、虫の時、 笑いの花束、つぐみとひばりのために、 月の扇、フクシアに、 ホウセンカに、ベゴニアに。

深き淵より畝り生じ、 山は羊の如く飛び上がり 大洋となる。 存す、汝存す。

御名を我が血に刻み給へ。

アルクトゥルス\*1の運行に、汝存す、相つぎ羽ばたく虹の内に、 (土星を囲む見えざる帯) 我が細胞の隠されし血統の内に、汝存す、

その岸を修むる血のなかに、

恩寵により聖徒となされたものの内に、汝存す、 (御言の解釈、 清新の壁の宝石。)

印の如く汝を我が心に据え給へ。

清き心は汝の憩いなり、 群れにかかる百合の虹、 汝はそのホスチア\*2の下に隠れ給ふ、 聖体の花にすまふ沈黙の同胞、

我、汝のうちに留まらんと願う、太陽のなかの翼 のごとく、 終わりの日の復活に向かひて。 Il est plus fort que la mort, votre Amour.

Mettez votre caresse tout autour.

Violet-jaune, vision,
Voile-blanc, subtilité,
Orangé-bleu, force et joie,
Flèche-azur, agilité,
Donnez-moi le rouge et le vert de votre
amour,

Feuille-flamme-or, clarté. Plus de langage, plus de mots, Plus de prophètes ni de science (C'est l'Amen de l'espérance,

Silence mélodieux de l'Eternité.)

Mais la robe lavée dans le sang de l'Agneau,

Mais la pierre de neige avec un nom nouveau,

Les éventails, la cloche et l'ordre des clartés,

Et l'échelle en arc-en-ciel de la Vérité, Mais la porte qui parle et le soleil qui s'ouvre,

L'auréole tête de rechange qui délivre, Et l'encre d'or ineffaçable sur le livre; Mais le face-à-face et l'Amour.

Vous qui parlez en nous,
Vous qui vous taisez en nous,
Et gardez le silence dans votre Amour,
Vous êtes près,
Vous êtes loin,
Vous êtes la lumière et les ténèbres,
Vous êtes si compliqué et si simple,
Vous êtes infiniment simple.
L'arc-en-ciel de l'Amour, c'est vous,
L'unique oiseau de l'Eternité, c'est vous!
Elles s'alignent lentement, les cloches de
la profondeur.

Posez-vous comme un sceau sur mon coeur.

死よりも強きは、御愛なり。

御いたわりをあまねく巡らせ給へ。

黄紫は、幻視、

白絹は、精妙、

青橙は、力と喜び、

蒼矢は、敏捷、

我に与え給へ、御愛の赤と緑を、

黄金の炎の葉、明澄を。 言語も詞ももはやなく、 予言も智ももはやなし (そは希望のアーメンなれば、 永遠の調べ満ちたる沈黙。) されと子羊の血に洗われし衣あり、

されど新しき名を刻まれし純白の石あり、

扇、鐘、明澄の秩序あり、

真理の虹の梯子あり、 されど語る扉と口を開く太陽あり、

救ひもたらす替えの頭の後光、 書に記された消しえぬ黄金の文字あり。 されと見合わせる顔と顔あり、愛あり。★

汝、我らの内で語り給う、 汝、我らの内で黙され給う、 汝の愛において沈黙を守り給へ、 汝は近し、 汝は遠し、 汝は光にして闇、 汝はかくも入り組みて、かつ、純一なり、 汝は限りなく純一なり。 愛の虹、そは汝なり、 永遠の唯一の鳥、そは汝なり、 緩やかに列をなすは、深淵の鐘。

印の如く汝を我が心に据え給へ。 (Ⅲのはじめから★まで繰り返し、その後◆へ) Vous qui parlez en nous, Vous qui vous taisez en nous, Et gardez le silence dans votre Amour, Enfoncez votre image dans la durée de mes jours. 汝、我らの内で語り給う、 汝、我らの内で黙され給う、 汝の愛において沈黙を守り給へ、 汝の御姿を、我が齢のうちに刻み給へ。

- \*1 うしかい座の1等星。空に赤く輝く導きの星。
- \*2 ミサにおいて聖別され、聖体(キリストの体)となるパン。

## はじめてのクラシック

Gustav Holst (1874–1934) ホル

INTRODUCTION TO CLASSICAL MUSIC イラスト:IKE/文:松井治伸

ホルストが創作の糧にしたのは、母国イギリスの民謡でした。女 学校で音楽を教えていた彼は、学校に防音装置付きの部室を 作ってもらったお礼に、弦楽合奏のための《セント・ポール組曲》を 作曲します。その中に、イギリスの古い民謡〈グリーンスリーヴズ〉 が出てくるのです。《組曲「惑星」》の〈木星〉のメロディは歌詞をつ けて歌われるほど有名ですが、よく聴くと、どこか民謡風です。宇 宙のパノラマのような音楽に、イギリス民謡風のメロディが登場す る。占星術に凝って書かれた、当時異色のこの作品にも、ホルス トは母国の音楽のエッセンスを生かしていました。



#### **PROGRAM**

# 第2050回

# サントリーホール 11/20木 7:00pm

11/21 **金** 7:00pm

指揮

ラファエル・パヤーレ

ピアノ

エマニュエル・アックス

コンサートマスター 長原幸太

# シューマン 「マンフレッド | 序曲 [13']

# モーツァルト

# ピアノ協奏曲 第25番 ハ長調 K. 503

[30]

I アレグロ・マエストーソ

Ⅱ アンダンテ

Ⅲ アレグレット

—休憩(20分)—

# R. シュトラウス 交響詩「英雄の生涯 |作品40[45]

- I 英雄
- Ⅱ 英雄の敵
- Ⅲ 英雄の伴侶
- Ⅳ 英雄の戦い
- V 英雄の業績
- VI 英雄の引退と死

※演奏時間は目安です。

# インターネットアンケートにご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでア ンケートを行っています。みなさまの貴重なご意見を参考にさせてい ただきたく、ぜひお声をお寄せください。ご協力お願いいたします。

詳しくは55ページをご覧ください

こちらの QR コードから

アンケートページへアクセスできます



https://www.nhkso.or.jp/ enquete.html

# ラファエル・パヤーレ(指揮)



ラファエル・パヤーレは1980年、ベネズエラ生まれ。同国の音楽 教育システム「エル・システマ」を通じてホルンと出会い、シモン・ボリ バル交響楽団の首席ホルン奏者を11年間にわたって務めたあと、ロ リン・マゼールやクシシュトフ・ペンデレツキの薫陶を受けて指揮者へ の道を歩む。2015年にはマゼールの代役としてウィーン・フィルハー モニー管弦楽団を指揮している。北アイルランドのアルスター管弦

楽団の首席指揮者・音楽監督(現・桂冠指揮者)を経て、現在、サンディエゴ交響楽団音楽監督。 さらに2022/2023シーズンからは名門モントリオール交響楽団の音楽監督にも就任。長期に わたって楽団を率いたシャルル・デュトワ、ケント・ナガノのあとを継いで重責を担っている。

これまでにボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、バイエルン放送 交響楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ロンドン交響楽団など、世界の名だた るオーケストラに客演している。

N響定期には2020年2月Cプログラムで初登場。ショスタコーヴィチの《交響曲第5番》で 鮮烈な演奏を披露してくれた。今回はR.シュトラウスの《交響詩「英雄の生涯」》を中心とした プログラム。近年、パヤーレは同曲をモントリオール交響楽団と録音したばかり。得意のレ パートリーなのだろう。N響にとっても数々の名演を重ねてきた曲だけに期待が高まる。

「飯尾洋一/音楽ジャーナリスト」

# エマニュエル・アックス(ピアノ)



現代アメリカを代表するピアニストのひとり、エマニュアル・アック スの N響定期公演登場はじつに2002年6月以来となる。ウィーン古 典派、ドイツ・ロマン派やショパンなど王道のレパートリーを得意とす るいっぽう、ジョン・アダムズやペンデレツキの新作など同時代音楽 にも積極的に取り組む。このたびN響のモーツァルトのハ長調でも、 人間味に溢れる円熟のピアノが聴けるだろう。

1961年以来ニューヨークを拠点に国際的に活躍するアックスは1949年、ユダヤ系ポーラ ンド人の両親のもと、ソヴィエト連邦下、現ウクライナのリヴィウに生まれた。ワルシャワ、カ ナダのウィニペグを経て、一家でニューヨークに定住。ジュリアード音楽院でミェチスワフ・ム ンツに師事。1974年の第1回アルトゥール・ルビンシュタイン国際ピアノコンクールに優勝し て大きく注目を集めた。ヨーヨー・マ、スターン、ラレード、カヴァコスをはじめ弦の名手から の信望も篤く、室内楽の名ピアニストとしても長らく愛されてきた。9月Aプログラム登場のブ ロンフマンとはラフマニノフ、ブラームスのデュオの名盤もある。

[青澤隆明/音楽評論家]

20 & 21. NOV. 2025

18世紀後半において、あらゆるジャンルに強みを発揮したモーツァルト。そのモーツァルトを崇拝していたリヒャルト・シュトラウスもまた、専門化・分業化が進む19世紀末から20世紀にかけての世相に逆らうように、さまざまなジャンルで傑作を遭している。こうしてみると、シューマンもまた、モーツァルトやシュトラウスと同じタイプの音楽家たらんとし、それを目指して活動していた、と言えなくはないだろう。文学作品に精通していたシューマンとシュトラウスの共通点にも思いを馳せることができるプログラムでもある。

#### シューマン

# 「マンフレッド」序曲

ピアノ曲、交響曲、歌曲、室内楽曲にさまざまな傑作を遺してきたローベルト・シューマン(1810~1856)が、満を持してオペラ《ゲノヴェーヴァ》に取り組みはじめたのは、1847年のこと。文学に深い理解を持つシューマンは、ローベルト・ライニックの台本のできばえに不満を示し、自身で書き改めている。《ゲノヴェーヴァ》制作に並行し、1848年には文学を音楽と結びつける試みが続いている。それが大規模な合唱曲《ファウストからの情景》、そして、19世紀における偽善的な世相を暴こうと試みたジョージ・ゴードン・バイロンの手になる劇詩『マンフレッド』(1817)への付随音楽であった。シューマンはフランツ・リストに対し、「これからの劇作品はオペラやジングシュピール(歌芝居)、あるいはメロドラマ(シナリオが朗読される音楽劇)のようなものではなく、『音楽付きの劇的な詩』で表現されるべきである」と書き送っており、これからの舞台作品では「語り」が重要な要素になると考えていた節がある。

中世のアルプスを舞台に、厳世的で夢見がちなマンフレッドがかつての恋人アスタルテと黄泉の国で再会し、救済されるという筋書きには、『ファウスト』との類似性も多く感じられよう。全曲の半分近くを占める序曲は、序奏とコーダを伴う大規模なソナタ形式で構成される。第1ヴァイオリンが活躍する主題の陰で、さまざまな副次的旋律が現れては消えるところなど、管弦楽の扱いに熟達したシューマンの対位法的手法が興味深い。

| 作曲年代 | 1848年8月~1849年(序曲は1848年に完成)                            |
|------|---|
| 初演   | [序曲] 1852年3月14日、ライプツィヒ、作曲者自身の指揮 [劇全体] 1852年6月13日、ワイマー |
|      | ル、フランツ・リスト指揮  |
| 楽器編成 |   |
|      | ンパニ、弦楽  |

# ピアノ協奏曲 第25番 ハ長調 K. 503

ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756~1791)が試みた、オペラの休演期間中である四旬節(復活祭の46日前水曜日[灰の水曜日]から復活祭の前日[聖土曜日])に、定期会員を募って自身のピアノ協奏曲を演奏しようという企画は、演奏会の歴史にとって画期的なできごとであった(今日のオーケストラにおける定期会員制度の先駆けでもある)。1782~1786年に作曲された多くのピアノ協奏曲は、いずれも練習なしのぶっつけ本番で(練習があったとしても1回だけで)上演されたと言われている。父レオポルトが遺した手紙をひもとくと、演奏の質に対する絶賛と同時に、息子が真夜中まで演奏に駆り出され、多くの収入を得ていたことが窺われる。ケッヘル番号503番が与えられたピアノ協奏曲は、モーツァルトが協奏曲の成功に甘んじることなく、徐々に新たな作品への歩みを始めようとする時期、1786年12月に予定されていた待降節予約演奏会シリーズのために作曲・演奏されたと考えられている。

直前に作曲された、穏やかな気品を湛える《第23番》(K. 488)、数少ない短調作品でありロマン派的相貌を呈する《第24番》(K. 491)に比べれば、《第25番》(K. 503)には、むしろ次の時代を見据えた工夫が各所に見られよう。第1楽章における、ハ長調の主和音、そしてその属7和音を高らかに鳴らす冒頭部分は後の《コシ・ファン・トゥッテ》(K. 588、1790年)のそれを予感させ(調も同じ)、明朗快活な、それでいて堂々たる音楽の世界へと聴き手を一瞬で引きずり込む。ところが、同じハ長調で提示されるはずの第2主題は、聴き手の予想を裏切るハ短調。とはいえ最初の一節だけで、すぐにハ長調へと戻る。前作の「ハ短調」《第24番》(K. 491)で迸らせた、どこか心によぎる暗い陰を表現しようとしたのだろうか。提示部と再現部のみで簡潔にまとめられた第2楽章を差し挟み、同じ主題が何度も回帰するロンド形式の第3楽章が続く。ここでも主題に挟まれたエピソードは短調のせつない旋律に彩られている。

| 作曲年代 | 1786年12月  |
|------|---|
| 初演   | 不明 (1787年、プラハでの演奏旅行時か)                          |
| 楽器編成 | フルート1、オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽、ピアノ・ソロ |

#### R. シュトラウス

# 交響詩「英雄の生涯」作品40

「自画像」的作品として、そして純粋な交響詩として構想されたかに見えるリヒャルト・シュトラウス(1864~1949)の《英雄の生涯》ではあるが、作曲家はもともと本作を交響曲

として構想していた。そもそも、《英雄の生涯》という題名が決まるまでには、さまざまな 余曲折があった。はじめの構想にあった「英雄と世界(世間) Helden und Welt」という 題名は、コジマ・ワーグナーから1891年に贈られた、哲学者ハインリヒ・フォン・シュタインの同名の書に影響を受けたとおぼしい。

シュトラウスが交響曲の作曲に取りかかっている、という噂は、1898年8月の『一般音楽新聞』に「英雄的な性格を有した4楽章の交響曲」と紹介されたことで広まった。作曲家の周囲は、もしかするとシュトラウスが交響的な交響詩ではなく、本当の交響曲を書くのではないか、ベートーヴェンやブラームス、ブルックナーのような交響曲を作るようになるのではないか、と思っていた節が窺える。「いまやベートーヴェンの《「エロイカ」交響曲》は人気がなく、めったに演奏されなくなったので、それに代わる曲を書いている。《英雄の生涯》という題名で、葬送行進曲こそないが、変ホ長調で、多くのホルンを用いる」という当人の(交響詩とも交響曲とも断定しない曖昧な)発言は、このような世論を受けてなされたものでもあった。

前作《ドン・キホーテ》で主人公に仮託したみずからの姿は、本作において、ベートーヴェン以来「英雄」を描く際に用いられる変ホ長調の勇壮なテーマで始まる「あるひとりの英雄」へと形を変える。続けて演奏される6つの部分から成り、I〈英雄〉、II〈英雄の敵〉、III〈英雄の伴侶〉が、それぞれソナタ形式における第1主題、スケルツォ的な移行部、第2主題を提示する箇所と位置づけられるだろう。英雄とその敵が戦う様子を描いたIV〈英雄の戦い〉が展開部、V〈英雄の業績〉、VI〈英雄の引退と死〉が、それぞれ再現部、結尾(コーダ)を成す、と解釈することは可能ではある。単一楽章の曲でありながら、いくつかの楽章によって構成される交響曲とも解釈しうる構成は、リストが提唱した交響詩の理想にも添うものであり、異なる構成原理によって本作が作られたことを窺わせる。

初稿の終結部ではホルン独奏(英雄)とヴァイオリン独奏(英雄の伴侶)が互いを慰め合うように終わっていたが、後に管楽器のファンファーレへと改訂された。かなり形の崩れたソナタ形式、そして(派手に改訂されたとはいえ)落ち着いた雰囲気で終わっていく終結部など、ベートーヴェン的な意味における「交響曲」の理念からは遠い部分もある。とはいえ、それ以降のふたつのオーケストラ作品、《家庭交響曲》と《アルプス交響曲》には堂々と「交響曲」と名付けるに至ったシュトラウスの心理的変化のきっかけが、この《英雄の生涯》にあったことは疑いない。

| 作曲年代 | 1897~1898年12月27日                                      |
|------|---|
| 初演   | 1899年3月3日、フランクフルト博物館演奏会、作曲家自身の指揮                      |
| 楽器編成 | フルート3、ピッコロ1、オーボエ4(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット2、Esクラリネット1、バス・ |
|      | クラリネット1、ファゴット3、コントラファゴット1、ホルン8、トランペット5 (舞台外にトランペット3)、 |
|      | トロンボーン3、テノール・テューバ1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、小太鼓、中太        |
|      |   |
|      |   |

## はじめてのクラシック

INTRODUCTION TO CLASSICAL MUSIC イラスト: IKE/文:松井治伸



# ドイツ・ロマン派の夢見る文学青年 ローベルト・シューマン

Robert Schumann (1810-1856)

シューマンは文学青年でした。父親が出版業を営んでいたこともあり、ゲーテやシラーなど文学に親しむようになります。また、作曲活動のみならず音楽雑誌も創刊し、音楽評論に健筆を振るいました。今回の《マンフレッド》の原作者バイロンも、シューマンが愛読した文学者のひとりです。原作の劇詩は、悩める放浪の主人公マンフレッドがアルプスの山中を舞台に、忘却や死について魔女や精霊と問答するという内容で、《「マンフレッド」序曲》からは、マンフレッドの抱える葛藤が伝わってきます。文学と音楽が出会うことで生まれたシューマンの名作です。



PROGRAM



# 第2049回

# NHKホール 11/14<sup>全</sup> 7:00pm

11/15 ± 2:00pm

指揮

シャルル・デュトワ | プロフィールはp. 11

合唱

二期会合唱団\*(合唱指揮:三澤洋史)

コンサートマスター

長原幸太

#### ラヴェル生誕150年

ラヴェル 亡き王女のためのパヴァーヌ[6']

# ラヴェル 組曲「クープランの墓」[17']

I 前奏曲

Ⅱ フォルラーヌ

Ⅲ メヌエット

Ⅳ リゴードン

──休憩(20分)──

## ラヴェル

バレエ音楽「ダフニスとクロエ」(全曲)\*

[56']

第1部

第2部

第3部

※ 演奏時間は目安です。

# インターネットアンケートにご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。 みなさまの貴重なご意見を参考にさせていただきたく、ぜひお声をお寄せください。 ご協力お願いいたします。

詳しくは55ページをご覧ください

こちらの QR コードから アンケートページへアクセスできます



https://www.nhkso.or.jp/ enquete.html

# 二期会合唱団(合唱)

日本で最初のプロフェッショナルのオペラ合唱団。1952年に旗揚げされた声楽家団体「二期会」の第2回オペラ公演《マルタ》(1953)において結成され、それ以後、東京二期会オペラのすべての合唱を担当している。

合唱団のメンバーは、2700名を超える二期会会員・準会員から公演ごとに組織され、高水準の歌唱力、オペラ出演で鍛えられた演技力、合唱団としての高いアンサンブル能力と豊かな声量によって、日本を代表する合唱団として各方面から高い信頼を得ている。

オペラ公演以外にも、オーケストラ公演や青少年のための音楽鑑賞教室などに多数出演。N響定期公演への出演回数も多く、ウラディーミル・アシュケナージ指揮のモーツァルト《レクイエム》(2005)、アンドレ・プレヴィン指揮のブラームス《ドイツ・レクイエム》(2011)、ネルロ・サンティの指揮では、《ボエーム》(2007)、《アイーダ》(2010)、《シモン・ボッカネグラ》(2013)で共演。シャルル・デュトワとは、ストラヴィンスキー《夜鳴きうぐいす》とラヴェル《こどもと魔法》(2012)以来の共演となる。

[柴辻純子/音楽評論家]

## Program Notes 井上さつき

モーリス・ラヴェル(1875~1937)の生誕150年にあたる今年にふさわしいオール・ラヴェル・プログラムである。特筆すべきはメインの《ダフニスとクロエ》が本来の合唱付きで演奏されること。この合唱は歌詞をもたず、いわば楽器のひとつとして扱われている。ラヴェルはディアギレフの求めに応じて合唱抜きの管弦楽版を作ったものの、合唱が作品の重要な構成要素だと考え、主要な上演においては合唱を加えるよう求めていた。ラヴェルが思い描いた音の世界を存分に味わいたい。

#### ラヴェル

# 亡き王女のためのパヴァーヌ

原曲は1899年、ラヴェルがパリ音楽院在学中に作曲したピアノ曲で、芸術愛好家として有名なポリニャック大公妃に捧げられている。典雅な旋律と斬新な和音が印象的なこの作品は、作曲者自身が意外に感じるほどの好評を得た。1910年にラヴェル自身で管弦楽編曲され、以来、オーケストラ曲としても広く親しまれている。

パヴァーヌとはスペイン起源の宮廷舞曲で、ラヴェルはこの種の様式化された舞曲を

好んで用いた。「亡き王女のための」という題名はいわくありげだが、フランス語の響きに惹かれて命名したらしい。ラヴェルは1925年6月にパリのエコール・ノルマル音楽院で開かれた公開レッスンで「題名に必要以上の重要性を与えないように」と警告し、「これは亡くなった王女の葬送の哀歌ではなく、その昔、ベラスケスが描いたような、スペインの宮廷で、王女が踊ったようなパヴァーヌを喚起するものです」と述べた。

管弦楽編曲版は小規模なオーケストラのために書かれ、薄く透けるようなオーケストレーションがなされ、哀愁を帯びた典雅な雰囲気がただよう。冒頭、ホルン独奏によって、パヴァーヌ主題が提示される。弦楽器は最初から最後まで弱音器がつけられ、ヴェールのかかったような音色を奏で、ピチカートが、ギターの爪弾きのような効果を出している。

楽曲はロンド風の形式をとっている。パヴァーヌ主題のあいだに、2つのエピソード主題がはさまれ、エピソード主題はそれぞれ変化を加えられながら繰り返される。

| 作曲年代  | [原曲]1899年 [管弦楽編曲]1910年                             |
|---|--|
| 初演 [原曲] 1902年4月5日、フランスのパリ、プレイエル・ホール (国民音楽協会) にて、リカル |  |
|   | スのピアノ [管弦楽編曲版] 1911年2月27日、イギリスのマンチェスターでのジェントルメンズ・コ |
|   | ンサートにて、ヘンリー・ウッド指揮                                  |
| 楽器編成  | フルート2、オーボエ1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、ハープ1、弦楽            |

#### ラヴェル

# 組曲「クープランの墓」

原曲はラヴェルが1914年から1917年にかけて作曲したピアノ組曲である。フランスの古典舞曲の形式に基づき、〈前奏曲〉〈フーガ〉〈フォルラーヌ〉〈リゴードン〉〈メヌエット〉そして〈トッカータ〉の全6曲となっている。この組曲は1914年7月に〈フォルラーヌ〉から書きはじめられた。しかし、そこで第1次世界大戦が始まる。8月1日フランスで総動員令が出され、3日にはドイツがフランスに宣戦布告。ラヴェルは志願してトラック輸送兵となり、1916年激戦地ヴェルダンに赴く。その後、健康を害して一時帰休となり、静養中の1917年11月にこの作品をノルマンディーの知人の屋敷で完成させた。当初は「フランス組曲」と題されていたが、のちに「クープランの墓」と名づけられ、6曲それぞれが大戦で戦死した友人、知人たちの思い出に捧げられた。題名のクープランはヴェルサイユ楽派の巨匠フランソワ・クープランを指しているが、ラヴェル自身はこの作品について、クープランに対する個人的な賛辞というよりは18世紀フランス音楽へのオマージュであると述べている。

ピアノ組曲は1919年に初演された。同年、ラヴェルは曲集から4曲を選び、管弦楽用

に編曲した。その際、ラヴェルは曲順を入れ替えて、〈前奏曲〉〈フォルラーヌ〉〈メヌエット〉 〈リゴードン〉という並びにした。このように並び順を変えたことで、曲は活気あるハ長調の〈リゴードン〉によって、華やかに締めくくられることになった。管弦楽化により、作品に鮮やかな色彩がほどこされ、新しい魅力が生まれている。管弦楽版の初演は1920年に行われた。

第1曲〈前奏曲〉フランスのクラヴサン(チェンバロ)音楽を思い起こさせる無窮動風の音楽。

第2曲〈フォルラーヌ〉フォルラーヌは北イタリア起源の舞曲で、フランスの宮廷で好んで用いられた。ラヴェルはクープランの室内楽曲《王宮の合奏曲集》第4番の〈フォルラーヌ〉を編曲して研究し、その要素である付点リズムを活用して、洗練された味わいのある1曲に仕上げている。

第3曲〈メヌエット〉優美で典雅なメヌエットである。中間部のミュゼットは素朴な民謡 風。

**第4曲〈リゴードン**〉リゴードンは南フランス起源の舞曲。躍動的な主部と、穏やかで 牧歌的な中間部が対照的である。

| 作曲年代 | [原曲]1914~1917年 [管弦楽編曲]1919年                           |  |
|------|---|--|
| 初演   | [管弦楽編曲版] 1920年2月28日、コンセール・パドルーの演奏会にて、ルネ・バトン指揮         |  |
| 楽器編成 | フルート2(ピッコロ1)、オーボエ2(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、 |  |
|      | トランペット1、ハープ1、弦楽                                       |  |

#### ラヴェル

# バレエ音楽「ダフニスとクロエ」(全曲)

《ダフニスとクロエ》は、ラヴェルがバレエ・リュス(ロシア・バレエ団)を率いるセルゲイ・ディアギレフ(1872~1929)の依頼を受けて作曲したバレエ音楽。ロシア出身の辣腕プロデューサー、ディアギレフが主宰したバレエ・リュスの舞台は、踊り手、振付、音楽、美術すべてにわたって、当代一流の芸術家たちを集めたことで知られる。「天才を見つける天才」といわれたディアギレフはストラヴィンスキーをはじめとする気鋭の作曲家たちに次々に新作を依頼したが、ラヴェルもそのひとりだった。1909年、ラヴェルはバレエ・ダンサー兼振付師のミハイル・フォーキンが3世紀頃のギリシアの作家ロンゴスの叙情詩を基に書いた台本によるバレエ《ダフニスとクロエ》に着手した。しかし作曲は難航し、初演は1912年にようやく行われた。

全体は1幕3部からなる。

第1部 パンの神(牧神パン)とニンフの祭壇の前: 若い男女が祭壇に供え物をして

礼拝していると、羊飼いのダフニスとクロエが登場する。牛飼いのドルコンがクロエに言い寄り、ダフニスは嫉妬する。ダフニスとドルコンは踊りで勝負し、勝った方がクロエの接吻を受けることにする。ドルコンのぎこちない踊りに対し、優しく軽やかに踊るダフニス。彼はクロエから約束の熱い接吻を受けて恍惚となる。しかし、その後、海賊が来襲し、クロエはさらわれてしまう。それを知って絶望するダフニス。そこに3人のニンフが現れて倒れているダフニスに気づき、彼を蘇生させ、パンの神に祈らせる。するとパンの神が姿を現わす。〈夜想曲〉に続いて、ア・カペラの合唱による〈間奏曲〉が始まる。

第2部 海賊ブリュアクシスの陣営:ダイナミックな〈戦いの踊り〉が始まる。海賊の首領の前に連れて来られたクロエは、踊りながら、脱出の機会をうかがうが失敗し、あわやというところで、突然パンの神の巨大な幻影が現れ、海賊たちは逃げ去ってしまう。

第3部 第1部と同じ祭壇の前:〈夜明け〉の音楽の後、ダフニスとクロエの感動的な再会となる。老羊飼いが、パンの神はかつて愛したシリンクスの思い出ゆえに、クロエを助けたのだと説明する。そこで、ダフニスとクロエはパンの神とシリンクスの恋をまねた〈無言劇〉を演じる。祭壇の前で、2人は愛を誓い、パンの神とニンフを讃えて〈全員の踊り〉が熱狂的に踊られる。

聴きどころは多いが、特に有名なのは第3部の〈夜明け〉の部分で、静かな情景から、 しだいに明るくなっていく様子が精妙なオーケストレーションによって表現されるところ。 さまざまな鳥の鳴き声が喚起され、やがてゆったりとした主題が現れ、再会を果たした 恋人たちの姿を描き、波のように動く管弦楽の伴奏は合唱と溶け合う。また、〈無言劇〉 ではパンの神が奏でる笛の音をフルートが表現するが、このパッセージは、近代のフルート独奏のもっとも有名な例のひとつである。

ラヴェルはこのバレエにもとづいて2つの組曲を編んだ。第2組曲が特にポピュラーだが、全曲版もオーケストラ・コンサートやバレエ公演のレパートリーとして定着している。

| 作曲年代 | 1909~1912年   |
|------|--|
| 初演   | 1912年6月8日、シャトレ劇場にて、ピエール・モントゥー指揮。美術と衣装はレオン・バクスト、    |
|      | 振付はミハイル・フォーキン。配役はダフニスがヴァスラフ・ニジンスキー、クロエがタマーラ・カル     |
|      | サヴィナなど   |
| 楽器編成 | フルート3(ピッコロ2)、アルト・フルート1、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、 |
|      | Es クラリネット1、バス・クラリネット1、ファゴット3、コントラファゴット1、ホルン4、トランペッ |
|      | ト4、トロンボーン3、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、小太鼓、中太鼓、トライア       |
|      |  |
|      |  |



Maurice Ravel (1875-1937)

ラヴェルはダンディ。写真の中の彼は、髪をきれいにとかし、スーツをおしゃれに着こ なしています。 自宅の調度品も凝っていました。 部屋の壁には装飾模様が施され、 日本の浮世絵、アラビアのコーヒーセット、ゼンマイ仕掛けで歌う鳥の置物などに囲 まれて暮らしていました。そうした「美しいもの |を求める彼の鋭敏な感覚は、作品に も反映されています。《亡き王女のためのパヴァーヌ》の夢のような世界は、一度聴 いたら忘れられません。繊細な音の重なり。モダンでありながら懐かしさを感じさせ る響き。ラヴェルの音楽は、磨き上げられた美術工芸品のようです。

# 2025年12月定期公演のプログラムについて

## 公演企画担当者から

#### 鮮やかに浮かび上がる情景——《人魚姫》

ファビオ・ルイージの好きな《英雄の生涯》は発表当時、「交響詩の究極の完成形」と評されたが、2人の野心的な作曲家が、これを乗り越えようと試みた。その成果が、シェーンベルク《ペレアスとメリザンド》、そして[Aプログラム]のツェムリンスキー《人魚姫》である。2曲は20世紀初頭のウィーンで同時に初演された。昨年の《ペレアス》に続き、ルイージが《英雄の生涯》から生まれた"双子の作品"を取り上げる。

アンデルセンの有名な童話を題材にしたこの曲は、スコアが散逸し、長く幻の作品だったが、1984年の蘇嶺以来、各地で盛んに演奏されている。事実、整った構成に鮮やかな情景描写を盛り込んだ、とても魅力的な音楽だ。今回は初演前にカットされた「海の魔女」の場面を含めてお送りする。声と引き換えに人間の姿を得る人魚姫の葛藤が、曲の展開に奥行きを与える。

前半には、ギリシャ出身のレオニダス・カヴァコスを4年ぶりに迎える。哲学者のようなたたずまいで、常に何か思索するかのようにヴァイオリンを奏でるカヴァコス。技巧の確かさといった次元に留まらない幽遠の境地に、私たちを誘ってくれることだろう。

ショスタコーヴィチ《ヴァイオリン協奏曲第 1番》は、没後50年にあたる今年、特に聴く機会が多かったが、現代屈指の名手による演奏は、その白眉と呼ぶべきものになりそうだ。

#### 世界初演と名曲の 新しさ再発見

[Bプログラム]では、世界中から委嘱の依頼が絶えない人気作曲家、藤倉大の新作をお届けする。《オーシャン・ブレイカー》は「砕ける波」の意味だが、ここでは波状の雲を指すらしい。音の浮遊感・流動性を追求してきた藤倉らしい着眼点である。波状の雲が刻々と形を変えるように、音のエネルギーが、楽器から楽器へと移行する。完成したスコアを見たルイージから、すぐに肯定的な反応が返ってきた。世界初演の瞬間が待ち遠しい。

19世紀ロマン派の時代に活躍したサン・サーンスは、保守の権化のように見られがちだが、近現代への扉を開いた功績も見逃してはなるまい。《交響曲第3番「オルガンつき」》では、定石を打ち破る自由な転調が繰り広げられる。オルガンやピアノ連弾など、多彩な音色をブレンドしつつ、透明なテクスチュアを保っているのも特筆すべき点だ。藤倉作品と並べることで、聴きなじんだ名曲の新しさを再発見できるのではないか。オルガン独奏は、過去に

も同曲でN響と共演している近藤岳が担う。

サン・サーンス同様、フランクも19世紀の パリで教会オルガニストとして活躍した。《交響 的変奏曲》では、ソロ楽器のピアノが終始、内 省的にオーケストラと対話する。38年ぶりの演 奏を、2000年生まれの新星、トム・ボローと の初共演で送る。

#### 消すことができないもの

[Cプログラム] では、第19回ショパン国 際ピアノコンクールの優勝者をソリストに迎え る。100年近い歴史を持つこのコンクールは、 世界有数の知名度を誇り、その優勝者は、国 際的な注目を集める存在へと躍り出る。N響 との共演は、本格的なキャリアの出発点にな るだろう。今年はどんな才能と出会えるのか楽 しみである。

ニルセン 《交響曲第4番》の 「不滅 (The Inextinguishable) は、直訳すれば「消すことがで きないもの」という意味になる。それはニルセン にとって、困難な状況下でも止まることのない 牛のエネルギーであり、そのダイレクトな表現手 段が「音楽」なのだという。終盤に現れる2組の ティンパニが曲のハイライトだが、これは生命を 脅かす外からの脅威なのか、それとも内から 湧き上がる生の衝動なのか。どちらの解釈も 可能だろうが、コンクール覇者のみずみずしい ショパンを聴いたあとでは、汲めども尽きぬ生 命力の象徴として、響いてくるような気がする。 音楽も、それに身を捧げる者も、決して「消すこ とができないもの |であるに違いない。

「西川彰一/NHK交響楽団 芸術主幹]

ショスタコーヴィチ/ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 作品77 6:00pm ツェムリンスキー/交響詩「人魚姫 |

日 指揮:ファビオ・ルイーン 2:00pm ヴァイオリン:レオニダス・カヴァコス 指揮:ファビオ・ルイージ

NHKホール

※12月定期公演Aプログラムは11月 に開催いたします。

7:00pm 7:00nm

サントリーホール

NHKホール

藤倉 大/管弦楽のためのオーシャン・ブレイカー ~ピエール・ブーレーズの思い出に~(2025)

[NHK交響楽団委嘱作品/世界初演]

フランク/交響的変奏曲\*

サン・サーンス / 交響曲 第3番 ハ短調 作品78 オルガンつき 指揮:ファビオ・ルイージ ピアノ:トム・ボロー\* オルガン:近藤 岳

ショパン/ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11 または 第2番 ヘ短調 作品21 ニルセン/交響曲 第4番 作品29「不滅 |

指揮:ファビオ・ルイージ

ピアノ:第19回ショパン国際ピアノコンクール優勝者





### チケットのご案内(定期公演 2025年9月~2026年6月)

#### 定期会員券

毎回同じ座席をご用意。1回券と比べて1公演あたり10~44%お得です!(一般料金の場合。ユースチケットでは最大57%お 得です。割引率は公演や券種によって異なります)

| 発売開始日<br>(10:00amからの受付) | 年間会員券、シーズン会員券(Autumn) | 2025年7月6日[日] (定期会員先行) / 2025年7月13日[日] (一般) |  |
|-------------------------|-----------------------|--|--|
|                         | シーズン会員券(Winter)       | 2025年10月14日[火](定期会員先行)/2025年10月17日[金](一般)  |  |
|                         | シーズン会員券(Spring)       | 2026年2月10日[火](定期会員先行)/2026年2月14日[土](一般)    |  |

#### 料金(税込)

| 年間会員券 (9回) |         | S               | Α               | В               | С               | D               |
|------------|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| Aプログラム     | 一般      | ¥76,500(¥8,500) | ¥65,025(¥7,225) | ¥49,725(¥5,525) | ¥41,310(¥4,590) | ¥32,895(¥3,655) |
| Cプログラム     | ユースチケット | ¥38,250(¥4,250) | ¥30,600(¥3,400) | ¥23,715(¥2,635) | ¥19,503(¥2,167) | ¥11,475(¥1,275) |
| Bプログラム     | 一般      | ¥91,800(¥10,200 | ¥76,500(¥8,500) | ¥61,200(¥6,800) | ¥49,725(¥5,525) | ¥42,075(¥4,675) |
|            | ユースチケット | ¥45,900(¥5,100) | ¥38,250(¥4,250) | ¥30,600(¥3,400) | ¥24,858(¥2,762) | ¥21,033(¥2,337) |

| シーズン会員券(3回)      |         | S               | A               | В               | С               | D               |
|------------------|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| Aプログラム<br>Cプログラム | 一般      | ¥26,850(¥8,950) | ¥22,824(¥7,608) | ¥17,454(¥5,818) | ¥14,499(¥4,833) | ¥11,547(¥3,849) |
|                  | ユースチケット | ¥13,425(¥4,475) | ¥10,740(¥3,580) | ¥8,325(¥2,775)  | ¥6,849(¥2,283)  | ¥4,029(¥1,343)  |

<sup>()</sup>内は1公演あたりの単価

#### 1回券

公演ごとにチケットをお買い求めいただけます。料金は公演によって異なります。各公演の情報でご覧ください。

| 発売開始日<br>(10:00amからの受付) | 9·10·11月 | 2025年7月23日[水](定期会員先行)/2025年7月27日[日](一般)       |
|-------------------------|----------|---|
|                         | 12・1・2月  | 2025年10月22日[水] (定期会員先行) / 2025年10月26日[日] (一般) |
|                         | 4・5・6月   | 2026年2月19日[木] (定期会員先行) / 2026年2月23日[月·祝] (一般) |

#### ユースチケット

29歳以下の方へのお得なチケットです。全席種が一般料金の半額以下、1公演1000円~で定期公演をお楽しみいただけま す。1回券と定期会員券ともにご利用いただけます。料金は各公演の情報でご覧ください。

※ユースチケットはWEBチケットN響およびN響ガイドのみのお取り扱いとなります。

※初回ご利用時に年齢確認のための「ユース登録」が必要となります。詳しくはN響ホームページをご覧ください。

#### WEBチケットN響 https://nhkso.pia.jp お申し込み



N響ガイド | TEL 0570-02-9502

営業時間:10:00am~5:00pm 定休日:土·日·祝日

- ●東京都内での主催公演開催日は曜日に関わらず10:00am~開演時刻まで営業
- ●発売初日の土・日・祝日は10:00am~3:00pmの営業
- ●電話受付のみの営業

※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。









Please follow us on N響ニュースレター 場新情報をメールでお届けします。 WEBチケット N響の 「利用登録」からご登録ください。

# 2025-26定期公演プログラム

| 2025     | Α          | 第2051回                          | ロマンとメルヘンにあふれる《人魚姫》の世界                               | 一般                     | ユースチケット              |
|----------|------------|---------------------------------|---|------------------------|----------------------|
|          | $\Gamma$   | 11/29 ± 6:00pm                  | ショスタコーヴィチ/ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 作品77                    | S ¥11,000              |                      |
| 12       |            | · · · · =                       | ツェムリンスキー/交響詩「人魚姫」                                   | A ¥9,500<br>B ¥7,600   | A ¥4,500<br>B ¥3,500 |
|          |            | 11/30日 2:00pm                   |   | C ¥6,000               | C ¥2,800             |
|          |            | ※12月定期公演Aプログラムは<br>11月に開催いたします。 | 指揮:ファビオ・ルイージ  | D¥5,000                | D¥1,800              |
|          |            | NHKホール                          | ヴァイオリン:レオニダス・カヴァコス                                  | E ¥3,000               | E ¥1,400             |
|          |            | 第2052回                          | オーケストラと大オルガンが名ホールで絢爛に双鳴するひととき                       | 一般                     | ユースチケット              |
|          | В          |                                 |   | S ¥12,000              |                      |
|          |            | <b>12/4</b> 木 7:00pm            | 藤倉 大/管弦楽のためのオーシャン・ブレイカー                             | A¥10,000               | A ¥5,000             |
|          |            | 12/5 全 7:00pm                   | 〜ピエール・ブーレーズの思い出に〜(2025)<br>[NHK交響楽団委嘱作品/世界初演]       | B ¥8,000               | B ¥4,000             |
|          |            | ,                               | フランク/交響的変奏曲*  | C ¥6,500               | C ¥3,250             |
|          |            |                                 | サン・サーンス/交響曲 第3番 ハ短調 作品78 オルガンつき                     | D ¥5,500               | D ¥2,750             |
|          |            | サントリーホール                        | 指揮:ファビオ・ルイージ ピアノ:トム・ボロー* オルガン:近藤 岳                  |                        |                      |
|          |            |                                 |   | 一般                     | ユースチケット              |
|          | C          | 第2053回                          | ニルセン最高峰の交響曲をルイージ入魂の指揮で味わう                           |                        | S ¥5,500             |
|          |            | <b>12/12</b> 金 7:00pm           | ショパン/ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11                            | A ¥9,500               | A ¥4,500             |
|          |            | 12/13 ± 2:00pm                  | または第2番 ヘ短調 作品21                                     | B ¥7,600               | B ¥3,500             |
|          |            | 12/10=1:00pm                    | ニルセン/交響曲 第4番 作品29「不滅」                               | C ¥6,000               | C ¥2,800             |
|          |            | ******                          | 指揮:ファビオ・ルイージ  | D ¥5,000<br>E ¥3,000   | D¥1,800<br>E¥1,400   |
| <u> </u> |            | NHKホール                          | ピアノ:第19回ショパン国際ピアノコンクール優勝者                           |                        |                      |
| 2026     | Α          | 第2054回                          | ソヒエフ、満を持してN響でマーラーを初披露                               | 一般                     | ユースチケット              |
|          | <b>'</b> ' | 1/17±6:00pm                     | マーラー/交響曲 第6番 イ短調「悲劇的」                               | S ¥11,000<br>A ¥9,500  | S ¥5,500<br>A ¥4,500 |
| 01       |            |                                 |   | B ¥7,600               | B ¥3,500             |
| <b>.</b> |            | <b>1/18</b> 目2:00pm             |   | C ¥6,000               | C ¥2,800             |
|          |            |                                 |   | D¥5,000                | D¥1,800              |
|          |            | NHKホール                          | 指揮:トゥガン・ソヒエフ  | E ¥3,000               | E ¥1,400             |
|          | В          | 第2056回                          | お家芸のプロコフィエフ《第5番》を13年振りにN響で指揮                        | 一般                     | ユースチケット              |
|          | D          | 1/29木7:00pm                     | ムソルグスキー(ショスタコーヴィチ編)/                                |                        | S ¥6,000             |
|          |            |                                 | 歌劇「ホヴァンシチナ」―前奏曲「モスクワ川の夜明け」                          | A ¥10,000<br>B ¥8,000  | A ¥5,000<br>B ¥4,000 |
|          |            | <b>1/30</b> 金 7:00pm            | ショスタコーヴィチ/ピアノ協奏曲 第2番 へ長調 作品102                      | C ¥6,500               | C ¥3,250             |
|          |            |                                 | プロコフィエフ/交響曲 第5番 変ロ長調 作品100                          | D¥5,500                | D¥2,750              |
|          |            | サントリーホール                        | 指揮:トゥガン・ソヒエフ ピアノ:松田華音                               |                        |                      |
|          |            | 第2055回                          | 夢幻と高揚に誘う――フランス・ロシアのナラティブな作品たち                       | 一般                     | ユースチケット              |
|          | C          |                                 | ドビュッシー/牧神の午後への前奏曲                                   |                        | S ¥5,500             |
|          |            | <b>1/23</b> 全 7:00pm            | デュティユー/チェロ協奏曲「遥かなる遠い国へ」                             | A ¥9,500               | A ¥4,500             |
|          |            | 1/24 ± 2:00pm                   | リムスキー・コルサコフ/組曲「サルタン皇帝の物語」作品57                       | B ¥7,600<br>C ¥6,000   | B ¥3,500<br>C ¥2,800 |
|          |            | , —                             | ストラヴィンスキー/バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)                        | D¥5,000                | D¥1,800              |
|          |            | NHKホール                          | 指揮:トゥガン・ソヒエフ チェロ:上野通明                               | E ¥3,000               | E ¥1,400             |
| ·        |            |                                 |   | 一般                     | ユースチケット              |
| 2026     | Α          | 第2057回                          | 名門歌劇場で存在感を放つ ジョルダンのワーグナー                            |                        | S ¥5,000             |
| 02       |            | <b>2</b> / <b>7</b> ± 6:00pm    | シューマン/交響曲 第3番 変ホ長調 作品97「ライン」                        | A ¥8,500               | A ¥4,000             |
| UZ       |            | 2/8日2:00pm                      | ワーグナー/楽劇「神々のたそがれ」                                   | B ¥6,500               | B ¥3,100             |
|          |            | Z/ 6 [1] 2.00pm                 | ─「ジークフリートのラインの旅」「ジークフリートの葬送行進曲」<br>「ブリュンヒルデの自己犠牲  * | C ¥5,400               | C ¥2,550             |
|          |            |                                 | ノリュンヒルテの自己機社」^                                      | D¥4,300                | D ¥1,500<br>E ¥1,000 |
|          |            | NHKホール                          | 指揮:フィリップ・ジョルダン ソプラノ:タマラ・ウィルソン*                      | E ¥2,200               | E +1,000             |
|          | В          | 第2059回                          | 待望の再登場! フルシャのドヴォルザーク&ブラームス                          | 一般                     | ユースチケット              |
|          | D          | 2/19木7:00pm                     | ドヴォルザーク/ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品53                          | S ¥12,000              |                      |
|          |            | I — / <u>—</u>                  | ブラームス/セレナード 第1番 二長調 作品11                            | A ¥10,000              |                      |
|          |            | <b>2/20</b> 金 7:00pm            |   | B ¥8,000<br>C ¥6,500   | B ¥4,000<br>C ¥3,250 |
|          |            | サントリーホール                        | 指揮:ヤクブ・フルシャ<br>ヴァイオリン:ヨゼフ・シュパチェク                    | D ¥5,500               | D ¥2,750             |
|          |            |                                 |   | _ ar                   | 7_74                 |
|          | C          | 第2058回                          | 創立100年に問う N響設立者・近衛の《展覧会の絵》                          | <u>一般</u><br>S ¥10,000 | ユースチケット<br>S ¥5.000  |
|          |            | <b>2/13</b> 全 7:00pm            | N響100年特別企画 邦人作曲家シリーズ                                | A ¥8,500               | A ¥4,000             |
|          |            | 2/14 ± 2:00pm                   | コダーイ/ハンガリー民謡「くじゃく」による変奏曲                            | B ¥6,500               | B ¥3,100             |
|          |            | <b>∠</b> / 14 ⊥ 2.00pm          | フンメル/トランペット協奏曲 ホ長調                                  | C ¥5,400               | C ¥2,550             |
|          |            |                                 | ムソルグスキー(近衛秀麿編)/組曲「展覧会の絵」                            | D¥4,300                | D¥1,500              |
|          |            | NHKホール                          | 指揮:ゲルゲイ・マダラシュ トランペット:菊本和昭(N響首席トランペット奏者)             | E ¥2,200               | E ¥1,000             |
|          |            |                                 |   |                        |                      |

| Α±                 |      | ール<br>5:00pm 開演6:00pm<br>:00pm 開演2:00pm             | サントリーホール  |  |   |
|--------------------|------|---|---|--|---|
| <sup>2026</sup> 04 | Α    | 第2060回<br>4/11 ± 6:00pm<br>4/12 目 2:00pm            | ブルックナーの絶筆に 孤高の中に屹立する精神を見る ハイドン/チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Hob. VIIb-1 ブルックナー/交響曲 第9番 二短調 指揮:ファビオ・ルイージ チェロ:ヤン・フォーグラー   | 一般<br>S ¥11,000<br>A ¥9,500<br>B ¥7,600<br>C ¥6,000<br>D ¥5,000<br>E ¥3,000                          | ユースチケット<br>S ¥5,500<br>A ¥4,500<br>B ¥3,500<br>C ¥2,800<br>D ¥1,800<br>E ¥1,400 |
|                    | В    | 第2061回<br>4/16本7:00pm<br>4/17金7:00pm                | モーツァルトとマーラーに通底する絶対美の深淵に触れる<br>モーツァルト/クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622<br>マーラー/交響曲 第5番 嬰ハ短調  | 一般<br>S ¥12,000<br>A ¥10,000<br>B ¥8,000<br>C ¥6,500   |   |
|                    | С    | サントリーホール<br>第2062回<br>4/24 金7:00pm<br>4/25 土 2:00pm | 指揮:ファビオ・ルイージ クラリネット:松本健司(N響首席クラリネット奏者) 下野がナビゲートする20世紀日本名曲の旅 N響100年特別企画 邦人作曲家シリース 外山雄三/管弦楽のためのディヴェルティメント プロコフィエフ/ビアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26                                   | <u>P¥5,500</u><br><u>−般</u><br><u>S¥10,000</u><br><u>A¥8,500</u><br><u>B¥6,500</u><br><u>C¥5,400</u> | D¥2,750<br>ユースチケット<br>S¥5,000<br>A¥4,000<br>B¥3,100<br>C¥2,550                  |
| 2026               | A    | NHKホール<br>第2064回                                    | 伊福部昭/交響譚詩 ブリテン/歌劇「ビーター・グライムズ」―「4つの海の間奏曲」作品33a 指揮:下野竜也 ビアノ:反田恭平 ドイツ音楽の深い、洞察者と奏でるブラームス・プログラム  | D¥4,300<br>E¥2,200<br>一般<br>S¥10.000   | D¥1,500<br>E¥1,000<br>ユースチケット<br>S¥5,000  |
| 05                 |      | 5/23±6:00pm<br>5/24目2:00pm<br>NHKホール                | ブラームス/ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲<br>イ短調 作品102<br>ブラームス(シェーンベルク編)/ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 作品25<br>指揮:ミヒャエル・ザンデルリンク<br>ヴァイオリン:クリスティアン・テツラフ チェロ:ターニャ・テツラフ                               | A ¥8,500<br>B ¥6,500<br>C ¥5,400<br>D ¥4,300<br>E ¥2,200   | A ¥4,000<br>B ¥3,100<br>C ¥2,550<br>D ¥1,500<br>E ¥1,000                        |
|                    | В    | 第2063回<br>5/14本7:00pm<br>5/15 童 7:00pm              | 「ヤマカズ21」が振る元祖ヤマカズ そして1930年代日独作品の諸相<br>N等100年特別企画 邦人作曲家シリーズ<br>山田一雄/小交響詩「若者のうたへる歌」<br>ハルトマン/葬送協奏曲*<br>須賀田礒太郎/交響的序曲 作品6<br>ヒンデミット/交響曲「画家マチス」<br>指揮:山田和樹 ヴァイオリン:キム・スーヤン* | 一般<br>S¥12,000<br>A¥10,000<br>B¥8,000<br>C¥6,500<br>D¥5,500  |   |
|                    | С    | 第2065回<br>5/29 金7:00pm<br>5/30 ± 2:00pm<br>NHKホール   | 旧ソ連・ラトビア出身の気鋭が解き明かす<br>謎多きショスタコーヴィチ(第4番)の真価<br>ヴァスクス/NHK交響楽団ほか国際共同委嘱作品<br>[タイトル未定/日本初演]<br>ショスタコーヴィチ/交響曲 第4番 ハ短調 作品43<br>指揮:アンドリス・ポーガ                                 |  | ユースチケット<br>S ¥5,000<br>A ¥4,000<br>B ¥3,100<br>C ¥2,550<br>D ¥1,500<br>E ¥1,000 |
| 2026               | Α    | 第2067回<br>6/13 ± 6:00pm<br>6/14 目 2:00pm            | ニューヨーク・フィルを率いたズヴェーデン 特望のN響初登場<br>ワーグナー/楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲<br>モーツァルト/ビアノ協奏曲 第17番ト長調 K. 453<br>バルトーク/管弦楽のための協奏曲<br>指揮:ヤーブ・ヴァン・ズヴェーデン<br>ビアノ:コンラッド・タオ              | <u>−般</u> S ¥11,000 A ¥9,500 B ¥7,600 C ¥6,000 D ¥5,000 E ¥3,000                                     | ユースチケット<br>S ¥5,500<br>A ¥4,500<br>B ¥3,500<br>C ¥2,800<br>D ¥1,800<br>E ¥1,400 |
|                    | В    | 第206回<br>6/4木7:00pm<br>6/5金7:00pm                   | ドゥネーヴが編む「夏」と「海」をめぐるフランス名曲選オネゲル/交響詩「夏の牧歌」 ベルリオーズ/歌曲集「夏の夜」作品7イベール/寄港地 ドビュッシー/交響詩「海」 指揮:ステファヌ・ドゥネーヴ メゾ・ソプラノ:ガエル・アルケーズ  | 一般<br>S ¥12,000<br>A ¥10,000<br>B ¥8,000<br>C ¥6,500<br>D ¥5,500                                     | A ¥5,000<br>B ¥4,000<br>C ¥3,250  |
|                    | С    | 第2063回<br>6/19金7:00pm<br>6/20±2:00pm<br>NHKホール      | 尾高のリリシズムと相性抜群の北国の名作たち<br>HIMARI、N警定期に初登場<br>シベリウス/アンダンテ・フェスティーヴォ<br>シベリウス/ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47<br>ラフマニノフ/交響曲 第3番 イ短調 作品44<br>指揮:尾高忠明 ヴァイオリン:HIMARI                      | 一般<br>S ¥10,000<br>A ¥8,500<br>B ¥6,500<br>C ¥5,400<br>D ¥4,300<br>E ¥2,200                          | A ¥4,000<br>B ¥3,100<br>C ¥2,550<br>D ¥1,500                                    |
| ※全後の壮況             | によって | では、 出演者や曲目等が変更に                                     | なる場合や、公演が中止となる場合があります。 あらかじめご了承ください。  | (料金はすべて  | (税込)  |

# 速報 2026-27定期公演プログラム(2026年9月~2027年6月)

| 2026               | A | 第2069回<br>9/12±6:00pm<br>9/13日2:00pm<br>NHKホール       | N雲100年特別企画<br>フランツ・シュミット/オラトリオ「7つの封印の書」<br>指揮:ファビオ・ルイージ<br>ヨハネ(テノール):ミヒャエル・ラウレンツ 神の声(バス):ダーヴィト・シュテフェンス<br>ソプラノ:迫田美帆 メゾ・ソプラノ:藤井麻美 テノール:伊藤達人 バス:加藤宏隆<br>合唱:新国立劇場合唱団 |
|--------------------|---|--|---|
|                    | В | 第2070回<br>9/17本7:00pm<br>9/18金7:00pm                 | ウェーバー   歌劇「オペロン」序曲<br>ブラームス / ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77<br>シューマン / 交響曲 第4番 二短調 作品120(改訂版)<br>指揮:ファビオ・ルイージ  |
|                    |   | サントリーホール   | ヴァイオリン:アウグスティン・ハーデリヒ  |
|                    | С | 第2071回<br>9/25                                       | N雲100年特別企画 ベートーヴェン交響曲全曲演奏1<br>ベートーヴェン/ 交響曲 第1番 ハ長調 作品21<br>ベートーヴェン/ 交響曲 第3番 変ホ長調 作品55「英雄」   |
|                    |   | NHKホール   | 指揮:ファビオ・ルイージ  |
| <sup>2026</sup> 10 | A | 第2072回<br>10/17 ± 6:00pm<br>10/18 目 2:00pm           | ブルックナー/交響曲 第5番 変ロ長調   |
|                    |   | NHKホール   | 指揮:ヘルベルト・ブロムシュテット   |
|                    | В |  | 10月Bプログラムは特別公演開催のため休止いたします。<br>2026-27シーズンのBプログラムは9月、11月、12月の全3回です。<br>同シーズン同プログラムの定期会員のみなさまは<br>2027-28シーズン(2027年9月~2028年6月、全9回予定)にご継続いただけます。                    |
|                    | С | 第2073回<br>10/23 全 7:00pm<br>10/24 ± 2:00pm           | N雲100年特別企画 ベートーヴェン交響曲全曲演奏2<br>ベートーヴェン / 「エグモント」序曲<br>ベートーヴェン / 交響曲 第8番 へ長調 作品93<br>ベートーヴェン / 交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」   |
|                    |   | NHKホール   | 指揮:クリストフ・エッシェンバッハ   |
| 2026<br><b>11</b>  | Α | 第2074回<br>11/7±6:00pm<br>11/8目2:00pm                 | プロコフィエフ/ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品19<br>ショスタコーヴィチ/交響曲 第8番 ハ短調 作品65  |
|                    |   | AU UZ ± II   | 指揮:トゥガン・ソヒエフ<br>ヴァイオリン:神尾真由子  |
|                    | В | NHKホール<br>第2076回<br>11/19 本 7:00pm<br>11/20 金 7:00pm | ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18<br>チャイコフスキー/バレエ音楽「くるみ割り人形」作品71(抜粋)   |
|                    |   | サントリーホール   | 指揮:トゥガン・ソヒエフ<br>ピアノ:アレクサンドル・カントロフ   |
|                    | С | 第2075回   | N雲100年特別企画 ペートーヴェン交響曲全曲演奏3<br>ペートーヴェン/ 序曲[コリオラン]<br>ベートーヴェン/ 交響曲 第2番 二長調 作品36<br>ベートーヴェン/ 交響曲 第6番 ヘ長調 作品68[田園]  |
|                    |   | NHKホール   | 指揮:トゥガン・ソヒエフ  |



# 速報 2026-27定期公演プログラム(2026年9月~2027年6月)

| 04                 | A<br>B | 第2084回<br>4/10 ± 6:00pm<br>4/11 目 2:00pm<br>NHKホール<br>第2085回<br>4/23 童 7:00pm<br>4/24 ± 2:00pm | メンデルスゾーン / ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 R. シュトラウス / アルブス交響曲 作品64 指揮:ファビオ・ルイージ ヴァイオリン:ジェームズ・エーネス 2027年1月、2月、4月、5月、6月のBプログラムは サントリーホールの改修工事に伴い休止いたします。 2026-27シーズンのBプログラムは9月、11月、12月の全3回です。 同シーズン同プログラムの定期会員のみなさまは 2027-28シーズン(2027年9月~2028年6月、全9回予定)にご継続いただけます。   |
|--------------------|--------|--|--|
| 05                 | A<br>B | 第2086回<br>5/8 ± 6:00pm<br>5/9 目 2:00pm<br>NHKホール<br>第2087回<br>5/21 童 7:00pm<br>5/22 ± 2:00pm   | グリーグ/ビアノ協奏曲 イ短調 作品16<br>ステンハンマル/交響曲 第2番ト短調 作品34<br>指揮:パーヴォ・ヤルヴィ<br>ピアノ:デニス・コジュヒン<br>2027年1月、2月、4月、5月、6月のBプログラムは<br>サントリーホールの改修工事に伴い休止いたします。<br>2026-27シーズンのBプログラムは9月、11月、12月の全3回です。<br>同シーズン同プログラムの定期会員のみなさまは<br>2027-28シーズン(2027年9月-2028年6月、全9回予定)にご継続いただけます。<br>ペートヴェン没後200年 ピアノ協奏曲全曲演奏4<br>リュリ/バレエ音楽「町人貴族」(抜粋)<br>ペートーヴェン/ビアノ協奏曲 第4番ト長調 作品58<br>R. シュトラウス/組曲「町人貴族」作品60<br>指揮:ケント・ナガノ<br>ピアノ:ティル・フェルナー |
| <sup>2027</sup> 06 | A<br>B | 第2088回<br>6/5 ± 6:00pm<br>6/6 目 2:00pm<br>NHKホール<br>第2089回<br>6/18 童 7:00pm<br>6/19 ± 2:00pm   | モーツァルト/交響曲 第35番 二長調 K. 385「ハフナー」 ブルックナー/交響曲 第3番 二短調「ワーグナー」 指揮:トゥガン・ソヒエフ  2027年1月、2月、4月、5月、6月の B プログラムは サントリーホールの改修工事に伴い休止いたします。 2026-27シーズンの B プログラムは9月、11月、12月の全3回です。 同シーズン同プログラムの定期会員のみなさまは 2027-28シーズン(2027年9月~2028年6月、全9回予定)にご継続いただけます。  ベートーヴェン没後200年 ビアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」 R. シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」作品40  指揮:トーマス・グッガイス ビアノ:キリル・ゲルシュタイン  |

※今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更になる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※料金、発売日等チケットの詳細は2026年3月末に発表予定です。

# 速報 2026-27 特別公演(一部)

2026-27シーズンで定期公演 Bプログラム (サントリーホール) が

開催されない月(2026年10月/2027年1月~2月/2027年4月~6月)に行う、

特別公演のラインアップをご紹介します。

# 2026/10

巨匠たちによるブラームス交響曲全曲演奏 東京芸術劇場

10/30 全 7:00pm

ブラームス/交響曲 第2番 二長調 作品73 ブラームス/交響曲 第4番 ホ短調 作品98

指揮:ヘルベルト・ブロムシュテット

10/31 ± 4:00pm

ブラームス/交響曲 第3番 へ長調 作品90 ブラームス/交響曲 第1番 ハ短調 作品68

指揮:クリストフ・エッシェンバッハ

# 2027/01

ルイージ指揮 N響ニューイヤーコンサート NHKホール

1/10日3:00pm 1/11月祝3:00pm ワーグナー/楽劇「ワルキューレ」─ジークムントの愛の歌「冬の嵐は過ぎ去り」◆

ワーグナー/楽劇「ワルキューレ」--「きみこそは春」\*

ワーグナー/歌劇「ローエングリン」─聖杯の物語「はるかな国に」◆

ワーグナー/歌劇「タンホイザー |-- 「おごそかなこの広間よ |\*

ワーグナー/楽劇「トリスタンとイゾルデ」─「愛の夜よ、とばりを降ろせ」\*◆

J. シュトラウス II世 / 喜歌劇「こうもり」――序曲、チャールダーシュ「ふるさとの調べよ」\*

レハール/喜歌劇「ほほえみの国」─「きみはわが心のすべて」◆

レハール/喜歌劇「メリー・ウィドー」―「ヴィリアの歌」\*

カールマーン/喜歌劇「伯爵夫人マリーツァ」─「ウィーンによろしく」◆

」、シュトラウス ||世/皇帝円舞曲 作品437

レハール/喜歌劇「ほほえみの国 |─「私たちの心に誰が愛を沈めたのか |\*◆

指揮:ファビオ・ルイージ ソプラノ:カミラ・ニールンド\*

テノール:クラウス・フロリアン・フォークト◆

# 2027/02 | 初演300年記 NHKホール

初演300年記念 コープマンの《マタイ受難曲》 NHK ホール

2/20 土 開演時刻未定 2/21 日 開演時刻未定

バッハ/マタイ受難曲 BWV244

指揮:トン・コープマン

福音史家(テノール):ティルマン・リヒディイエス(バス・バリトン):クラウス・メルテンス合唱:アムステルダム・バロック合唱団児童合唱:東京少年少女合唱隊

# 速報 2026-27 特別公演(一部)

最高峰の指揮者のタクトで、バレエ音楽の名作やN響メンバーのソロを織り交ぜながらお贈りします。

※セット券(曜日ごとの通し券)の発売を予定しています。

4/15 木 7:00pm 4/16 全 7:00pm フランツ・シュミット/歌劇「ノートルダム」―「間奏曲と謝肉祭の音楽」

ヒンデミット/バレエ組曲「気高い幻想」

R. シュトラウス / 交響詩「ドン・キホーテ」作品35\*

指揮:ファビオ・ルイージ チェロ:辻本 玲\*

5/13<sup>未</sup>7:00pm 5/14<sup>金</sup>7:00pm ドビュッシー/牧神の午後への前奏曲

ランサン/ハープと管弦楽のための田園協奏曲

タイユフェール/小組曲

ラヴェル/バレエ組曲「ダフニスとクロエ」第1番、第2番

指揮:沖澤のどか ハープ:早川りさこ

6/10 本 7:00pm 6/11 金 7:00pm プロコフィエフ/古典交響曲 作品25

モーツァルト/4つの管楽器と管弦楽のための協奏交響曲 変ホ長調 K. 297b

ストラヴィンスキー/バレエ音楽「春の祭典」

指揮:トゥガン・ソヒエフオーボエ:中村周平クラリネット:松本健司ファゴット:宇賀神広宣ホルン:今井仁志

※今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更になる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。
※各公演の料金、発売日等チケットの詳細は、決まり次第N響ホームページ等でお知らせいたします。

#### 特別公演

#### 12/8月7:00pm 放送100年 N響×アニメ「青のオーケストラ」スペシャル・コンサート

NHK ホール

指揮:キンボー・イシイ

ヴァイオリン:東 亮汰\*(劇中で青野 一の演奏を担当) 山田友里恵\*(劇中で秋音律子の演奏を担当)

ゲスト: 土屋神葉(佐伯直役) 神谷浩史(佐久間優介役) 司会: 林田理沙 アナウンサー

クリスマス・メドレー(もろびとこぞりて~アヴェ・マリア~ハレルヤ・コーラス/萩森英明編)

ドヴォルザーク/交響曲 第9番 ホ短調 作品95 [新世界から ] ―第4楽章

チャイコフスキー/バレエ組曲「くるみ割り人形」作品71a—「花のワルツ」

バッハ/2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1043から\*◆

メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64-第1楽章から\*

サン・サーンス/歌劇「サムソンとデリラ | ....「バッカナール |

芥川也寸志/交響管弦楽のための音楽

料金(税込):一般 | S席9.000円 A席8.000円 B席6.000円 C席5.000円

ユースチケット(29歳以下) | S席4.500円 A席4.000円 B席3.000円 C席2.500円

チケット発売日:10月10日(金)10:00am

※ N響定期会員の先行販売および割引はございません

主催:NHK、NHK交響楽団

協力:小学館

12/20± 4:00pm

12/23火7:00pm

12/24 × 7:00pm

12/21回2:00pm ベートーヴェン「第9」演奏会

NHKホール

指揮:レナード・スラットキン

ソプラノ:中村恵理 メゾ・ソプラノ:藤村実穂子 テノール:福井 敬 バリトン:甲斐栄次郎 合唱:新国立劇場合唱団 ベートーヴェン/交響曲 第9番 二短調 作品125 [合唱つき]

料金(税込):一般 | S席17,000円 A席13,500円 B席10,000円 C席7,500円 D席5,000円

ユースチケット(29歳以下) | S席8,500円 A席6,750円 B席5,000円 C席3,750円 D席2,500円

※定期会員は一般料金の10%割引

チケット発売日: N響定期会員先行 | 9月19日(金) 10:00am

一般 | 9月23日(火·祝)10:00am

※12月23日はNHK / NHK厚生文化事業団主催のチャリティコンサートです。プログラムは他の日程と同一です。お問合せ:NHK厚生文 化事業団 TEL(03)3476-5955

主催:NHK・NHK交響楽団/NHK・NHK厚生文化事業団(23日公演のみ)

協替:みずほ証券株式会社/はごろもフーズ株式会社/株式会社明雷舎

#### 12/26 全 7:00pm かんぽ生命 presents N響第九 Special Concert

サントリーホール

指揮:レナード・スラットキン

ソプラノ:中村恵理 メゾ・ソプラノ:藤村実穂子 テノール:福井 敬 バリトン:甲斐栄次郎

合唱:新国立劇場合唱団 オルガン:近藤 岳\*

バッハ/前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552\*

ベートーヴェン/交響曲 第9番 二短調 作品125 [合唱つき]

料金(税込):一般 | S席20,000円 A席16,500円 B席13,000円 C席9,000円

ユースチケット(29歳以下) | S席10,000円 A席8,200円 B席6,500円 C席4,500円

※定期会員は一般料金の10%割引

チケット発売日: N響定期会員先行 | 9月19日(金) 10:00am

一般 | 9月23日(火·祝)10:00am

主催/NHK交響楽団 特別協賛/株式会社かんぽ生命保険

#### 2/27 全7:00pm N響 ドラゴンクエスト・コンサート

東京芸術劇場

指揮:下野竜也

※公演の詳細は11月上旬に発表予定です。

※他会場でも別日程で開催予定です。

#### 3/5 本 7:00pm N響大河ドラマ&名曲コンサート〈特別編〉

NHK ホール

指揮:沖澤のどか

※公演の詳細は11月下旬に発表予定です。

WEBチケットN響

https://nhkso.pia.jp



お申し込み

N響ガイド | TEL 0570-02-9502

営業時間: 10:00am~5:00pm 定休日: 土・日・祝日 ●東京都内での主催公演開催日は曜日に関わらず10:00am~開演時刻まで営業

●発売初日の土・日・祝日は10:00am ~3:00pm の営業

●電話受付のみの営業

※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。

#### 各地の公演

#### 11/23 回 3:30pm NHK交響楽団 豊田公演

#### 豊田市民文化会館

指揮:ラファエル・パヤーレ ピアノ:エマニュエル・アックス

シューマン/「マンフレッド」序曲

モーツァルト/ピアノ協奏曲 第25番 ハ長調 K. 503

R. シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」作品40

主催: (公財)豊田市文化振興財団/豊田市 お問合せ:豊田市コンサートホール・能楽堂 TEL (0565) 35-8200

#### 12/16 火 7:00pm | 映像の世紀コンサート

サントリーホール

#### 指揮:下野竜也 音楽・ピアノ:加古 隆 ナレーション:山根基世

加古 隆/パリは燃えているか、時の刻印、シネマトグラフ、はるかなる王宮、神のパッサカリア、最後の海戦、 未来世紀、大いなるもの東方より、マネーは踊る、狂気の影、黒い霧、ザ・サード・ワールド、睡蓮のアトリエ、 愛と憎しみの果てに

主催:エイベックス・クラシックス お問合せ:チケットスペース TEL(03)3234-9999

#### 2/2月7:00pm 都民音楽フェスティバル オーケストラ・シリーズ No. 57 NHK交響楽団

#### 東京芸術劇場

#### 指揮:横山 奏 フルート:工藤重典

モーツァルト/歌劇「イドメネオ」序曲

モーツァルト/フルート協奏曲 第1番ト長調 K. 313

チャイコフスキー/バレエ音楽「白鳥の湖」作品20(抜粋)

主催: (公社)日本演奏連盟 お問合せ: TEL(03)3539-5131

#### 2/22 15:00pm NHK交響楽団演奏会 倉敷公演

#### 倉敷市民会館

指揮:ヤクブ・フルシャ ヴァイオリン:ヨゼフ・シュパチェク

ドヴォルザーク/ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品53

ブラームス/セレナード第1番 二長調 作品11

主催:NHK岡山放送局/NHK交響楽団 お問合せ:ハローダイヤル TEL(050)5541-8600

#### 2/23 月祝 4:00pm NHK交響楽団 特別演奏会

#### 福岡シンフォニーホール

#### 出演者・曲目は2月22日と同じ

主催: (公財)アクロス福岡 お問合せ:アクロス福岡チケットセンター TEL(092)725-9112

#### 3/6 全 7:00pm N響大河ドラマ&名曲コンサート supported by SGC

#### ソニックシティ大ホール

#### 指揮:沖澤のどか 司会:田添菜穂子

「第1部 | 大河ドラマ編]

風林火山(2007/千住明)

秀吉(1996/小六禮次郎)

元禄繚乱(1999/池辺晋一郎)

竜馬がゆく(1968/間宮芳生)

利家とまつ~加賀百万石物語~(2002/渡辺俊幸)

ほか

[第2部 | 「大河」にちなんだクラシック名曲選]

ワーグナー/楽劇「神々のたそがれ」―「夜明けとジークフリートのラインの旅」

イヴァノヴィチ/ワルツ「ドナウ川のさざ波」

スメタナ/交響詩「モルダウ」

主催・お問合せ:サンライズプロモーション東京 TEL(0570)00-3337

#### 3/7 = 2:00pm N響大河ドラマ&名曲コンサート supported by SGC

#### 所沢市民文化センター アークホール

#### 出演者・曲目は3月6日と同じ

主催・お問合せ:サンライズプロモーション東京 TEL(0570)00-3337

#### 3/8 3:30pm N響大河ドラマ&名曲コンサート

#### キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)

#### 出演者・曲目は3月6日と同じ

主催:キッセイ文化ホール((一財)長野県文化振興事業団) お問合せ:キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館) TEL(0263)34-7100

#### 3/15 回2:00pm | 第13回 NHK交響楽団 いわき定期演奏会

いわき芸術文化交流館アリオス アルパイン大ホール

指揮:沖澤のどか ソプラノ:松井亜希 メゾ・ソプラノ:小泉詠子 テノール:清水徹太郎 バリトン:加耒 徹 合唱:いわき市民レクイエム合唱団

モーツァルト/アダージョとフーガ ハ短調 K. 546

プロコフィエフ/古典交響曲 作品25

モーツァルト/レクイエム K. 626

主催:いわき芸術文化交流館アリオス お問合せ:アリオスチケットセンター TEL(0246)22-5800

#### オーチャード定期

#### 横浜みなとみらいホール 大ホール

#### 1/11 3:30pm

指揮:トゥガン・ソヒエフ

ベートーヴェン/交響曲 第7番 イ長調 作品92

ロッシーニ/歌劇「どろぼうかささぎ」序曲

バーバー/弦楽のためのアダージョ

ワーグナー/楽劇「ワルキューレ」―「ワルキューレの騎行」

ヨハン・シュトラウス II世/ワルツ「美しく青きドナウ」作品314

主催・お問合せ:Bunkamura TEL(03)3477-3244

# 特別支援•特別協力•賛助会員

#### Corporate Membership

#### 特別支援

岩谷産業株式会社 三菱地所株式会社 株式会社 みずほ銀行 公益財団法人 渋谷育英会 東日本旅客鉄道株式会社 NTT東日本株式会社 東京海上ホールディングス株式会社 代表取締役社長 | 間島 寬 執行役社長 | 中島 篤 頭取 | 加藤勝彦 理事長 | 小丸成洋 代表取締役社長 | 喜勢陽一 代表取締役社長 | 澁谷直樹 取締役社長 / ループCEO | 小池昌洋

代表取締役社長 | 石原恒和

特別協力

BMWジャパン 全日本空輸株式会社 ヤマハ株式会社 ぴあ株式会社

株式会社ポケモン

代表取締役社長 | 長谷川正敏 代表取締役社長 | 井上慎一 代表執行役社長 | 山浦 敦 代表取締役社長 | 矢内 廣

#### 賛助会員

- ・常陸宮
- ・(株)アートレイ 代表取締役 | 小森活美
- ・(株)アイシン 取締役社長 | 吉田守孝
- (株)アインホールディングス 代表取締役社長 | 大谷喜一
- · 葵設備工事(株) 代表取締役社長 | 安藤正明
- ・(株)あ佳音 代表取締役社長 | 遠山信之
- AXLBIT(株)
   代表取締役 | 長谷川章博
- アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO | 勝木敦志
- ·(株)朝日工業社 代表取締役社長 | 高須康有
- ・朝日信用金庫 理事長 | 伊藤康博

- ・有限責任 あずさ監査法人 理事長 | 山田裕行
- アットホーム(株)代表取締役社長 | 鶴森康史
- イーソリューションズ(株)代表取締役社長 | 佐々木経世
- ・EY新日本有限責任監査法人 理事長 | 松村洋季
- ・(株)井口一世 代表取締役 | 井口一世
- ・池上通信機(株) 代表取締役社長 | 清森洋祐
- (一財)ITOH代表理事 | 伊東忠俊
- ・井村屋グループ(株) 取締役社長 | 大西安樹
- ・ (南)IL VIOLINO MAGICO 代表取締役 | 山下智之
- ·岩田地崎建設(株) 代表取締役社長 | 岩田圭剛

- (株)インターネットイニシアティブ 代表取締役会長 | 鈴木幸一
- 内 聖美
- 内山貴史
- ・SMBC日興証券(株) 代表取締役社長 | 吉岡秀二
- ・(株) NHK アート 代表取締役社長 | 石原 勉
- ・NHK営業サービス(株) 代表取締役社長 | 手島一宏
- (株) NHK エデュケーショナル 代表取締役社長 | 有吉伸人
- (株) NHK エンタープライズ 代表取締役社長 | 有吉伸人
- (学)NHK学園理事長 | 荒木美弥子
- (株) NHK グローバルメディアサービス 代表取締役社長 | 神田真介

- ·(株)NHK出版 代表取締役社長 | 江口貴之
- (株) NHK テクノロジーズ 代表取締役社長 | 山口太一
- (株) NHK ビジネスクリエイト 代表取締役社長 | 栫 健一郎
- ・(株) NHK プロモーション 代表取締役社長 | 見邨俊一
- ・(株) NTTドコモ 代表取締役社長 | 前田義晃
- (株) NTTファシリティーズ 代表取締役社長 | 川口 晋
- ・ENEOS ホールディングス(株) 代表取締役 社長執行役員 | 宮田知秀
- ・ 荏原冷熱システム(株) 代表取締役 | 加藤恭一
- MN インターファッション(株) 代表取締役社長 | 吉本一心
- (株)エレトク 代表取締役 | 間部惠造
- ・大崎電気工業(株) 代表取締役会長 | 渡辺佳英
- ・(株)大塚商会 代表取締役社長 | 大塚裕司
- ・大塚ホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO | 井上 眞
- ·(株)大林組 代表取締役社長 | 佐藤俊美
- オールニッポンへリコプター(株) 代表取締役社長 | 寺田 博
- ・岡崎悦子
- 岡崎耕治
- ・小田急電鉄(株) 取締役社長 | 鈴木 滋
- ・隂山建設(株) 代表取締役 | 隂山正弘
- ・鹿島建設(株) 代表取締役社長 | 天野裕正
- ・(株)加藤電気工業所 代表取締役 | 加藤浩章
- ·(株)金子製作所 代表取締役 | 金子晴房
- カルチュア・エンタテインメント グループ(株)代表取締役 社長執行役員 | 中西一雄
- ・(株)関電工 取締役社長 | 田母神博文

- ・(株)かんぽ生命保険 取締役兼代表執行役社長 | 谷垣邦夫
- キッコーマン(株)代表取締役社長CEO | 中野祥三郎
- 木下彰子
- ・(株)教育芸術社 代表取締役 | 市川かおり
- (株)共栄サービス 代表取締役 | 半沢治久
- ·(株)共同通信会館 代表取締役専務 | 小渕敏郎
- ·(一社)共同通信社 社長 | 沢井俊光
- キリンホールディングス(株)代表取締役会長 CEO | 磯崎功典
- · (学)国立音楽大学 理事長 | 重盛次正
- · 京王電鉄(株) 代表取締役社長 社長執行役員 都村智史
- · 京成電鉄(株) 代表取締役社長 社長執行役員 天野貴夫
- KDDI(株)
   代表取締役社長CEO | 松田浩路
- ・ (医)社団 恒仁会 理事長 | 伊藤恒道
- ・(株)構造計画研究所ホールディングス 代表執行役 | 服部正太
- (株)コーポレ仆ディレクション 代表取締役 | 小川達大
- コグニティブリサーチラボ(株) 代表取締役 | 苫米地英人
- · 小林弘侑
- ・佐川印刷(株) 代表取締役会長 | 木下宗昭
- 佐藤弘康
- ・サフラン電機(株) 代表取締役 | 藤崎貴之
- (株)サンセイ 代表取締役 | 冨田佳佑
- サントリーホールディングス(株) 代表取締役社長 | 鳥井信宏
- (株)ジェイ・ウィル・コーポレーション 代表取締役社長 | 佐藤雅典
- ・JCOM(株) 代表取締役社長 | 岩木陽一
- (株)シグマクシス・ホールディングス 代表取締役社長 | 太田 寛

- ・(株)ジャパン・アーツ 代表取締役社長 | 二瓶純一
- ·(株)集英社 代表取締役社長 | 林 秀明
- ·(株)小学館 代表取締役社長 | 相賀信宏
- · (株)商工組合中央金庫 代表取締役社長 | 関根正裕
- · 庄司勇次朗·惠子
- ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
- ・(株)白川プロ 代表取締役 | 白川亜弥
- · (有)新赤坂健康管理協会 代表取締役社長 | 小池 学
- ・信越化学工業(株) 代表取締役社長 | 斉藤恭彦
- 新角卓也
- ·新菱冷熱工業(株) 代表取締役社長 | 加賀美 猛
- (株)スカパー JSAT ホールディングス 代表取締役社長 | 米倉英一
- ・(株)菅原 代表取締役会長 | 古江訓雄
- 鈴木誠一郎
- ・住友商事(株) 代表取締役 社長執行役員 CEO 上野真吾
- ・住友電気工業(株) 社長 | 井上 治
- セイコーグループ(株)代表取締役会長兼グループ CEO 兼グループ CCO | 服部真二
- ·聖徳大学 理事長·学長 | 川並弘純
- ・西武鉄道㈱ 代表取締役社長 | 小川周一郎
- · 清和綜合建物(株) 代表取締役社長 | 大串桂一郎
- ・関彰商事(株) 代表取締役会長 | 関 正夫
- ・(株)セノン 代表取締役社長 | 澤本 泉
- (株)ソニー・ミュージックエンタテインメント 代表取締役社長グループCEO | 村松俊亮

- 損害保険ジャパン(株) 取締役社長 | 石川耕治
- 第一三共(株) 代表取締役会長 | 眞鍋 淳
- ·第一生命保険(株) 代表取締役社長 | 隅野俊亮
- 大成建設(株) 代表取締役社長|相川善郎
- 大日コーポレーション(株) 代表取締役社長兼グループCEO 鈴木忠明
- · 高砂熱学工業㈱ 代表取締役社長|小島和人
- ・(株)ダク 代表取締役|福田浩二
- •(株)竹中工務店 取締役執行役員社長 | 佐々木正人
- ・(株)竹中土木 取締役社長 | 竹中祥悟
- 田中貴金属工業(株) 代表取締役社長執行役員 田中浩一朗
- · 田原 昇
- ・(株)ダブルスタンダード 代表取締役|清水康裕
- チャンネル銀河(株) 代表取締役社長|前田鎮男
- ・中央日本土地建物グループ(株) 代表取締役社長 | 三宅 潔
- 中外製薬(株) 代表取締役社長 | 奥田 修
- (株)電涌 代表取締役 社長執行役員 | 佐野 傑
- ・(株)テンポプリモ 代表取締役 中村聡武
- 東海東京フィナンシャル・ホールディ ングス(株) 代表取締役会長|石田建昭
- 東海旅客鉄道(株) 代表取締役社長 | 丹羽俊介
- 東急(株) 取締役社長 社長執行役員 | 堀江正博
- (株)東急コミュニティー 代表取締役社長 | 木村 昌平
- ㈱東急文化村 代表取締役 | 嶋田 創
- (株)東京交通会館 取締役社長 | 細包憲志

- 東信地所(株) 代表取締役 | 堀川利浦
- 東武鉄道(株) 取締役社長 | 都筑 豊
- · 桐朋学園大学 学長 | 辰巳明子
- (株)東北新社 代表取締役社長 | 小坂恵一
- 東北電力(株) 代表取締役社長 | 石山一弘
- · 鳥取末広座(株) 代表取締役|西川八重子
- (一財)TOPPAN三幸会 代表理事 | 金子眞吾
- トヨタ自動車(株) 代表取締役社長 | 佐藤恒治
- 内外施設工業グループホールディン グス(株) 代表取締役社長 | 林 克昌
- 中銀グループ 代表|渡辺蔵人
- 日鉄興和不動産(株) 代表取締役社長 | 三輪正浩
- 日東紡績(株) 取締役 代表執行役会長 | 辻 裕一
- ・(株)日本アーティスト 代表取締役 | 幡野菜穂子
- 日本ガイシ(株) 取締役社長 | 小林 茂
- (株)日本カストディ銀行 代表取締役社長 | 土屋正裕
- · (株)日本国際放送 代表取締役社長 | 前田浩志
- ・ 日本たばこ産業(株) 代表取締役社長 | 寺島 正 道
- 日本通運(株) 代表取締役社長 | 竹添進二郎
- 日本電気(株) 取締役 代表執行役社長兼 CEO 森田隆之
- 日本BCP(株) 代表取締役社長 | 角谷育則
- ·(-財)日本放送協会共済会 理事長 | 竹添腎-
- 日本みらいホールディングス(株) 代表取締役社長 | 安嶋 明
- 日本郵政(株) 取締役兼代表執行役社長 | 根岸一行

- ・(株)ニトリホールディングス 代表取締役会長兼CEO | 似鳥昭雄
- (株)ニフコ 代表取締役社長|柴尾雅春
- 野田浩一
- 野村ホールディングス(株) 代表執行役社長 | 奥田健太郎
- ・パナソニック ホールディングス(株) 代表取締役 社長執行役員 グループ CEO 楠見雄規
- (株)原田武夫国際戦略情報研究所 代表取締役 | 原田武夫
- (有)パルフェ 代表取締役|伊藤良彦
- ぴあ(株) 代表取締役社長 | 矢内 庿
- ・(株)ビー・ジー・エム 代表取締役 | 山川慎一郎
- (株)フォトロン 代表取締役 | 瀧水 隆
- 福田三千男
- 富十涌(株) 代表取締役社長|時田隆仁
- 古川宣一
- ペプチドリーム(株) 代表取締役社長CEO リード・パトリック
- ・(株)朋栄ホールディングス 代表取締役 | 清原 克明
- (株)放送衛星システム 代表取締役社長 | 角 英夫
- · 份財放送文化基金 理事長 | 濱田純一
- ホクト(株) 代表取締役|水野雅義
- ポラリス・キャピタル・グループ(株) 代表取締役社長 | 木村雄治
- · 前田工繊(株) 代表取締役社長|前田尚宏
- ・牧 寛之
- · 町田優子
- 松本満里子
- 丸紅株) 代表取締役社長|大本晶之
- 溝江建設(株) 代表取締役 | 溝江 弘

- · 三井住友海上火災保険(株) 代表取締役 | 舩曵真一郎
- ·(株)三井住友銀行 頭取 | 福留朗裕
- · 三井住友信託銀行(株) 取締役社長 | 大山一也
- ·三菱商事(株) 代表取締役社長 | 中西勝也
- ・(株)緑山スタジオ・シティ 代表取締役社長 | 近藤明人
- ・三橋産業(株) 代表取締役会長 | 三橋洋之
- 三橋洋之
- 三原穂積
- ・(株)ミロク情報サービス 代表取締役社長 | 是枝周樹
- · (学)武蔵野音楽学園 武蔵野音楽大学 理事長 | 福井直昭
- ・明治ホールディングス(株) 代表取締役社長CEO | 松田克也

- · (株)明電舎 代表取締役 執行役員社長 | 井上晃夫
- ・メットライフ生命保険(株) 代表執行役会長社長最高経営責任者 ディルク・オステイン
- ・(株)目の眼 社主 | 櫻井 恵
- (株)森エンジニアリング 代表取締役 | 森豊洋
- 森ビル(株)代表取締役社長 | 辻 慎吾
- ・森平舞台機構(株) 代表取締役 | 森 健輔
- ・山田産業(株) 代表取締役 | 山田裕幸
- (株)ヤマハミュージックジャパン 代表取締役社長 | 松岡祐治
- ユニオンツール(株)代表取締役会長 | 片山貴雄
- 米澤文彦
- · (株)読売広告社 代表取締役社長 | 菊地英之

- ·(株)読売旅行 代表取締役社長 | 岩上秀憲
- ・リコージャパン(株)代表取締役 社長執行役員 CEO | 笠井 徹
- ・料亭 三長 代表 | 髙橋千善
- ・(株)リンレイ 代表取締役社長 | 鈴木信也
- (有)ルナ・エンタープライズ 代表取締役 | 白鳥正美
- ・ローム(株)代表取締役社長 社長執行役員 | 東 克己
- ・YKアクロス(株) 代表取締役社長 | 田渕浩記
- YCC(株)代表取締役社長 | 中山武之
- ・(株)ワールド航空サービス 代表取締役社長 | 菊間陽介

(五十音順、敬称略)

# NHK交響楽団への ご寄付について

NHK交響楽団は多くの方々の貴重なご寄付に支えられて、積極的な演奏活動を展開しております。定期公演の充実をはじめ、著名な指揮者・演奏家の招聘、意欲あふれる特別演奏会の実現、海外公演の実施など、今後も音楽文化の向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

#### 「賛助会員」入会のご案内

NHK交響楽団は賛助会員制度を設け、上記の方々にご支援をいただいており、当団の経営基盤を支える大きな柱となっております。会員制度の内容は次の通りです。

- 1. 会費: 一口50万円(年間)
- 2. 期間: 入会は随時、年会費をお支払いいただいたときから1年間
- 3. 入会の特典:「フィルハーモニー』、「年間パンフレット」、「『第9』演奏会プログラム」等にご芳名を記載させていただきます。

N響主催公演のご鑑賞や会場リハーサル見学の 機会を設けます。

#### 遺贈のご案内

資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々のご便 宜をお図りするために、NHK交響楽団では信託銀行 が提案する「遺言信託制度」をご紹介しております(三 井住友信託銀行と提携)。相続財産目録の作成から遺 産分割手続の実施まで、煩雑な相続手続を信託銀行 が有償で代行いたします。まずはN響寄付担当係へ ご相談ください。

■当団は「公益財団法人」として認定されています。

当団は芸術の普及向上を行うことを主目的とする法人として「公益財団法人」の認定を受けているため、当団に対する寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

お問い合わせ 公益財団法

公益財団法人 NHK 交響楽団 「寄付扣当係 |

TFI:03-5793-8120

#### 曲目解説執筆者·歌詞対訳者

#### 井上さつき(いのうえ さつき)

愛知県立芸術大学名誉教授。東京藝術大学大学院修了。論文博士。パリ・ソルボンヌ大学修士課程修了。著書に『音楽を展示する――パリ万博1855-1900』「ラヴェル(作曲家・人と作品シリーズ)」『ピアノの近代史――技術革新、世界市場、日本の発展』『フランス・フルート奏者列伝――ヴェルサイユの音楽家たちからモイーズまで』『万博からみた音楽史』、共著に『フランス音楽史』ほか。

#### 野平一郎(のだいら いちろう)

作曲家、ピアニスト。東京藝術大学、同大学院を修了後、パリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとして、内外の主要オーケストラにソリストとして出演する一方、室内楽奏者としても活躍。古典から現代まで、そのレパートリーは幅広い。これまでに発表した作品は140曲以上に及ぶ。現在、東京音楽大学学長、東京文化会館音楽監督。2012年紫綬褒章受章、2018年日本芸術院賞受賞。

#### 広瀬大介(ひろせ だいすけ)

青山学院大学教授。日本リヒャルト・シュトラウス協会常務理事・事務局長。著書に『知っておきたい! 近代ヨーロッパ史とクラシック音楽』『リヒャルト・シュトラウス/楽劇 ばらの騎士』『エレクトラ』『サロメ』(オペラ対訳×分析ハンドブック)など。各種音楽媒体での評論活動のほか、NHKラジオへの出演、オペラ公演・映像の字幕・対訳等への寄稿多数。

#### 藤田茂(ふじた しげる)

東京音楽大学教授。フランス政府給費留学生としてソルボンヌ大学に学び、東京藝術大学音楽研究科博士後期課程を修了。フランス近現代音楽を中心に研究し、国内外の学術雑誌への寄稿や国際会議の運営に携わる。メシアンやデュティユーに関する専門的論文の執筆に加え、国内外のオーケストラ公演の曲目解説も定期的に寄稿している。訳書にヒル&シメオネ『伝記オリヴィエ・メシアン:音楽に生きた信仰者』。

(五十音順、敬称略)

#### Information

退団

ヴァイオリン 横山俊朗(よこやま としろう) 2025年10月31日付で退団。

# N響の出演番組

定期公演や特別公演の模様が放送されるほか、 大河ドラマのテーマ音楽や「名曲アルバム」の演奏なども行っています。 NHKの番組を通じてN響の演奏をお楽しみください。

クラシック音楽館(N響定期公演ほか) Eテレ 日曜9:00~11:00pm

ベストオブクラシック FM 7:35~9:15pm

※2025年度から放送時間が変更になりました。

**N響演奏会** ■ **L曜4:00~5:50pm**(不定期)

**クラシックTV**(クラシック全般の話題を取り上げます) **Eテレ** 木曜9:00~9:30pm 月曜2:00~2:30pm(再放送)

これらの番組は放送終了後もNHK ONE(新NHKプラス)や「らじる★らじる」で1週間何度でもご視聴いただけます。 出演番組について、詳しくはNHKやN響のホームページをご覧ください。

# みなさまの声をお聞かせください!

#### インターネットアンケートにご協力ください

ご鑑賞いただいた公演のご感想や、N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。 ご協力をお願いいたします。

#### アクセス方法

STEP



スマートフォンで右の QRコードを読み取る。 またはURLを入力 https://www.nhkso.or.jp/ enquete.html



STEP



開いたリンク先からアンケートサイトに入る

STEP

3



アンケートに答えて(約5分)、 「送信 を押して完了!

ほかにもご意見・ご感想がありましたらお寄せください。

定期公演会場の主催者受付にお持ちいただくか、

〒108-0074東京都港区高輪2-16-49 NHK交響楽団 フィルハーモニー編集までお送りください。

| ふりがな | 年齢  | 歳 |
|------|-----|---|
| お名前  | TEL |   |

個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、必要な場合、ご記入者様への連絡のみに使用し、 他の目的に使用いたしません。

# NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

Chief Conductor: Fabio Luisi

Music Director Emeritus: Charles Dutoit

Honorary Conductor Laureate: Herbert Blomstedt

Conductor Laureate: Vladimir Ashkenazy

Honorary Conductor: Paavo Järvi

Permanent Conductors: Tadaaki Otaka, Tatsuya Shimono

First Concertmaster: Sunao Goko, Kota Nagahara

Guest Concertmaster: Yosuke Kawasaki

#### 1st Violins

- Shirabe Aoki
- Ayumu Iizuka O Kyoko Une
- Yuki Oshika
- O Ryota Kuratomi
- Ko Goto Tamaki Kobayashi Toshihiro Takai Taiga Tojo
  - Yuki Naoi Yumiko Nakamura
- Takao Furihata Hiroyuki Matsuda O Haruhiko Mimata
- Nana Miyagawa
- Tsutomu Yamagishi○ Koichi Yokomizo

#### 2nd Violins

- O Rintaro Omiya
- Masahiro Morita
   Maiko Saito
- O Keiko Shimada
- O Atsushi Shirai
- O Akiko Tanaka Kirara Tsuboi Yosuke Niwa Kazuhiko Hirano Yoko Funaki Kenji Matano Ryuto Murao Masaya Yazu Yoshikazu Yamada
- Masamichi Yokoshima
   Yuka Yoneda
- \* Reika Shimizu
- \* Yui Yuhara

#### Violas

- O Ryo Sasaki
- Satoshi Ono Shigetaka Obata
- \* Eri Kuribayashi
- ☐ Gentaro Sakaguchi Mayumi Taniguchi Hiroto Tobisawa
- Hironori Nakamura Naoyuki Matsui Rachel Yui Mikuni
- # Yuya Minorikawa
- O Ryo Muramatsu

#### Cellos

- © Rei Tsujimoto
- Ryoichi Fujimori Hiroya Ichi Yukinori Kobatake
- O Miho Naka
- O Ken'ichi Nishiyama Shunsuke Fujimura Koichi Fujimori Hiroshi Miyasaka Yuki Murai Yusuke Yabe
- O Shunsuke Yamanouchi Masako Watanabe

#### Contrabasses

- O Shu Yoshida
- Masanori Ichikawa Eiji Inagawa○ Iun Okamoto
- Takashi Konno
- Shinji Nishiyama
   Tatsuro Honma
   Yoko Yanai

#### Flutes

- Masayuki Kai
- # Junji Nakamura

#### Oboes

- Yumi Yoshimura Shoko Ikeda Izumi Tsuboike
- \* Shuhei Nakamura Hitoshi Wakui

#### Clarinets

- © Kei Ito
- © Kenji Matsumoto
- Hiroki Domen
   Takashi Yamane

#### Bassoons

- O Hironori Ugajin
- © Kazusa Mizutani \* Shusuke Quchi
- Yuki Sato Itaru Morita

#### Horns

© Hitoshi Imai Naoki Ishiyama Yasushi Katsumata Hiroshi Kigawa Yudai Shoji Kazuko Nomiyama

#### Trumpets

- © Kazuaki Kikumoto
- Tomoyuki Hasegawa Tomoki Ando Kotaro Fujii

#### Eiji Yamamoto

#### Trombones

- Hikaru Koga
- Mikio NittaKo IkegamiHiroyuki Kurogane

#### Tuba

Yukihiro Ikeda

#### Timpani

- O Shoichi Kubo
- ☆ Toru Uematsu

#### Percussion

Tatsuya Ishikawa Hidemi Kuroda Satoshi Takeshima

#### Harp

Risako Hayakawa

#### Stage Manager

Masaya Tokunaga

#### Librarians

Akane Oki Hideyo Kimura

(◎ Principal, ☆ Acting Principal, ○ Vice Principal, □ Acting Vice Principal, ♯ Inspector, \*Intern)

#### **PROGRAM**



### Concert No. 2048

# **NHK Hall**

# November

8(Sat) 6:00pm

9(Sun) 2:00pm

| conductor      | Charles Dutoit  |
|----------------|---|
| piano          | Yu Kosuge*  |
| ondes martenot | Motoko Oya*   |
| female chorus  | Tokyo Opera Singers (Akihiro Nishiguchi, chorus master) |
| concertmaster  | Sunao Goko  |
|                |   |

# Olivier Messiaen Trois petites liturgies de la Présence Divine (Three Little Liturgies of the Divine Presence)\* [37']

- I Antienne de la Conversation intérieure
  [Dieu présent en nous...] (Antiphon of the Interior
  Conversation [God Present in Us])
- II Séquence du Verbe, Cantique Divin [Dieu présent en lui-même...] (Sequence of the Word, Divine Canticle [God Present in Himself...])
- III Psalmodie de l'Ubiquité par amour [Dieu présent en toutes choses...] (Psalmody of the Ubiquity of Love [God Present in All Things...])

- intermission (20 minutes) -

# Gustav Holst *The Planets*, suite Op. 32 [54']

- I Mars, the Bringer of War
- II Venus, the Bringer of Peace
- III Mercury, the Winged Messenger
- IV Jupiter, the Bringer of Jollity
- V Saturne, the Bringer of Old Age
- VI Uranus, the Magician
- VII Neptune, the Mystic
- All performance durations are approximate.

#### **Artist Profiles**

# Charles Dutoit, conductor



Charles Dutoit has captivated audiences throughout the world for over six decades with his charismatic, elegant, passionate and idiomatic interpretations. He is Music Director Emeritus of the NHK Symphony Orchestra after having served as its Principal Conductor (1996–1998) and Music Director (1998–2003).

Born in Lausanne in 1936, he commenced his career as a violinist,

before participating in the conducting masterclasses given by Herbert von Karajan at the Lucerne Festival. He furthered his studies by attending the legendary Ernest Ansermet's rehearsals in Geneva. Under Ansermet's influence, he was able to cultivate his apprenticeship of the Ballets Russes composers: Stravinsky, Ravel and Debussy. In 1959, he made his professional conducting debut with the Orchestre de Chambre de Lausanne and Martha Argerich as soloist. During his first trip to the United States, he met Pierre Monteux and Charles Munch at the Tanglewood Music School.

Former Artistic Director and Principal Conductor of the Royal Philharmonic Orchestra, he enjoyed an artistic collaboration with The Philadelphia Orchestra for thirty-two years. He was Music Director of the Orchestre symphonique de Montréal for twenty-five years and held the same position with L'Orchestre National de France for ten years. His interest in mentoring young artists has led to positions as Music Director of the Pacific Music Festival in Sapporo and the Verbier Festival Orchestra.

His latest collaboration with the NHK Symphony Orchestra took place in October 2024 when he performed the program around Stravinsky's *Rite of Spring* for the NHK Music Festival. This time is his first appearance at the orchestra's subscription concerts in eight years with two programs featuring Messiaen and Holst as well as celebrating the 150th Anniversary of Ravel's birth.

# Yu Kosuge, piano



Born in 1983, Berlin-based Japanese pianist Yu Kosuge continues to develop a distinguished international career with her superlative technique, sensitivity of touch, and profound understanding of the music she plays. After her official concert debut at age 9, she moved to Europe in 1993 to study in Hannover and Salzburg, and received great support and inspiration from András Schiff. She made her recital debut at New York's

Carnegie Hall in 2005 and at the Salzburger Festspiel the following year. In 2010, she substituted for Ivo Pogorelich at the same festival performing with the CAMERATA Salzburg led by Philippe Herreweghe.

She regularly performs with many leading orchestras including the NDR Elbphilharmonie Orchester, hr-Sinfonieorchester Frankfurt, Konzerthausorchester Berlin, Orchestre Philharmonique de Radio France and BBC Symphony Orchestra alongside renowned conductors including Seiji Ozawa, Lawrence Foster, Sakari Oramo, Osmo Vänskä, Vasily Petrenko and Dennis Russell Davies.

At her most recent collaborations with the NHK Symphony Orchestra in 2022, she served as the soloist at Ravel's concerto in G and Beethoven's *Emperor Concerto*. Experienced at modern and contemporary works as well, she will play a pivotal role this time at Messiaen's grand cantata *Trois petites liturgies de la Présence Divine* with Charles Dutoit conducting the NHK Symphony Orchestra.

# Motoko Oya, ondes martenot



Born in the UK, Japanese ondist Motoko Oya was fascinated by the sound of the ondes Martenot while studying at the Tokyo University of the Arts' Musicology Department. She has since approached, as a performer and researcher, this electronic keyboard instrument invented by Maurice Martenot (1898–1980) in France. During her studies at Conservatoire de Paris, she participated in a world tour of the Orchestre du Conservatoire

National Supérieur de Musique de Paris led by Zsolt Nagy playing Messiaen's *Trois petites liturgies de la Présence Divine*, the piece she will perform with the NHK Symphony Orchestra at the coming concert. She graduated from the Conservatoire de Paris's Ondes Martenot department as a top student and obtained her doctoral degree in 2012 from the Tokyo University of the Arts with her research on M. Martenot.

She studied ondes Martenot under Takashi Harada and Valérie Hartmann-Claverie, and musicology under Takashi Funayama and Fuyuko Fukunaka. Her performing fields range in genres: she was an ondist at the Japanese premiere of the complete version of Messiaen's opera *Saint François d'Assise* in 2017, and she participated in the recording of Ryuichi Sakamoto's soundtrack for the American movie *The Revenant* in 2016.

This is her first collaboration with the NHK Symphony Orchestra since August 2018.

# Tokyo Opera Singers, female chorus

Tokyo Opera Singers was formed in 1992 with mid-career and young vocalists active in Tokyo in response to Seiji Ozawa's request to establish a world-level chorus in Japan for a production of Wagner's opera *Der fliegende Holländer* (*The Flying Dutchman*). Since the year of the founding, the chorus has performed almost every year at the Saito Kinen Festival Matsumoto (today Seiji Ozawa Matsumoto Festival), while working with visiting opera companies and orchestras including the Wiener Philharmoniker (under Simon Rattle and Seiji Ozawa), the Chicago Symphony Orchestra (Riccardo Muti) and the Bayerische Staatsoper (Wolfgang Sawallisch). The chorus has also appeared at the Spring Festival in Tokyo often under the baton of Riccardo Muti, the Edinburgh International Festival (1999), the China Shanghai International Arts Festival (2018), "Meet in Beijing" International Arts Festival (2020) and others.

Since its debut with the NHK Symphony Orchestra in 2009, the chorus has regularly worked with the orchestra. Most recently, its female chorus shared the stage with Fabio Luisi and the orchestra for Mahler's Symphony No. 3 in April 2025. At the coming concert, the female chorus will join Charles Dutoit conducting the orchestra for Messiaen's grand cantata of which the lyrics were written by the French composer himself as well as Holst's suit *The Planets* which is rarely played complete.

Olivier Messiaen (1908-1992)

# Trois petites liturgies de la Présence Divine (Three Little Liturgies of the Divine Presence)

Born into a literary family in Avignon, France at the dawn of the 20th century, Messiaen is certainly one of the most unique composers in history. Distancing himself from the neo-classical mainstream, he assimilated influence from Claude Debussy (1862–1918) but also Igor Stravinsky (1882–1971) and Béla Bartók (1881–1945) to create a highly individual music language. Messiaen's compositions are characterized above all by the deep devotion to Catholicism, the incorporation of noted birdsongs he revered, and a sound color particular to him who had complex synesthesia (musical notes, chords and keys made him see certain colors). His great interest in Indian music also contributed to rhythmical innovations found in his works.

Trois petites liturgies de la Présence Divine (Three Little Liturgies of the Divine Presence), composed in 1943–1944 during World War II, shares the solo instruments—piano and ondes Martenot—with Messiaen's representative work *Turangalîla-Symphonie* (1946–1948). The virtuosic piano writing in both pieces is inspired by his future wife and exceptional pianist Yvonne Loriod. As for the ondes Martenot, Messiaen was fascinated by the unearthly tone color of this electronic keyboard instrument invented in 1928 by Maurice Martenot. Written by Messiaen himself, the text of the *Three Little Liturgies* based on Solomon's "Song of Songs" and others is sung by a female chorus.

I Antienne de la Conversation intérieure (Antiphon of the Interior Conversation), in ABA form, describes God's presence in us. Opened with birdsongs on piano, this movement concludes in A major, a key of serene, naïve joy for the composer. II Séquence du Verbe, Cantique Divin (Sequence of the Word, Divine Canticle), in strophic form, praises God's presence in Himself ("He is alive, he is present, and He speaks to Himself in Himself!"). III Psalmodie de l'Ubiquité par amour (Psalmody of the Ubiquity of Love), in ABA form, is about God's presence in all things. The chorus chants mentioning different times of man, planet, mountain and insect, sings, "You are close, you are distant, you are the light and darkness, you are so complex and so simple (...). The rainbow of Love, that is you, the only bird of Eternity, that is you!"

#### Gustav Holst (1874–1934)

# The Planets, suite Op. 32

Holst is one of the most important English composers active around the turn of the 19th and 20th centuries alongside his close friend Ralph Vaughan Williams, the same age. And the former's fame depends to a large extent on his orchestral suite *The Planets*, a blockbuster hit in music history since its success at the private premiere in 1918 in London followed by public partial premieres in 1919 and then the complete first public performance

in 1920.

Born into a musical family in Cheltenham, England, Holst was first trained as a pianist (his grandfather was composer and harp teacher, and his father was organist and pianist). He began to play the trombone for the cure of asthma and compose as well in his early teens, and a neuritis in his right arm would soon shut the door on his career as a professional pianist. From his school days at the Royal College of Music until 1903, the young composer earned his living mainly as an orchestral trombone player (incidentally, he performed under the baton of Richard Strauss), thus learning by experience what orchestration is. Also, worthy of special mention is that, as with Messiaen, Holst was deeply absorbed by Hindu culture and philosophy. He even studied Sanskrit and left us several settings of Sanskrit texts' translations as represented by the chamber opera *Savitri* (1908).

The Planets, composed in 1914–1916 and orchestrated in 1917, has been rarely performed completely due to its colossal instrumentation including an organ and even human voices. The presence of a wordless female chorus at the finale immediately reminds us of Claude Debussy's orchestral suite *Nocturnes* (1899) that Holst listened to in London under the baton of the composer in 1909.

The seven movements of *The Planets* correspond to seven planets of the Solar System except for the Earth, as the composer's source of inspiration was astrology rather than astronomy. I *Mars, the Bringer of War*, dissonant and belligerent, starts with an ostinato (persistently repeated phrase) in quintuple meter on harps, timpani and strings with the col legno technique of striking the strings with the bow's wood. II *Venus, the Bringer of Peace* is an unwarlike slow movement, and III *Mercury, the Winged Messenger* is a scherzo of which the bitonal start (in E and B-flat majors) is mercurial and elusive. IV *Jupiter, the Bringer of Jollity* is in C major. After the dance-like third theme, the Andante section lets us hear the majestic fourth theme, the best-known moment of *The Planets*. V *Saturne, the Bringer of Old Age* is a processional, while VI *Uranus, the Magician* is a Paul-Dukasstyle scherzo. VII *Neptune, the Mystic* is, again, in quintuple meter. The bitonal start (this time in E and G-sharp minors) and the fading-out conclusion with the chorus alone evoke the mysteriousness of this most distant planet from the Earth.

#### Kumiko Nishi

English-French-Japanese translator based in the USA. Holds a MA in musicology from the University of Lyon II, France and a BA from the Tokyo University of the Arts (Geidai).

#### PROGRAM

# B

## Concert No. 2050

# **Suntory Hall**

November 20(Thu) 7:00pm 21(Fri) 7:00pm

| conductor     | Rafael Payare |
|---------------|---------------|
| piano         | Emanuel Ax    |
| concertmaster | Kota Nagahara |

# Robert Schumann *Manfred,* incidental music Op. 115 — Overture [13']

#### Wolfgang Amadeus Mozart Piano Concerto No. 25 C Major K. 503 [30']

- I Allegro maestoso
- II Andante
- III Allegretto
- intermission (20 minutes) -

#### Richard Strauss *Ein Heldenleben*, symphonic poem Op. 40 (*A Hero's Life*) [45']

- Der Held (The Hero)
- II Des Helden Widersacher (The Hero's Adversaries)
- III Des Helden Gefährtin (The Hero's Companion)
- IV Des Helden Walstatt (The Hero at Battle)
- V Des Helden Friedenswerke (The Hero's Works of Peace)
- VI Des Helden Weltflucht und Vollendung (The Hero's Retreat from the World and Completion)
- All performance durations are approximate.

#### **Artist Profiles**

## Rafael Payare, conductor



With his innate musicianship, charismatic energy, gift for communication and irresistibly joyous spirit, Rafael Payare is "electrifying in front of an orchestra" (Los Angeles Times). Currently, he is Music Director of the Orchestre symphonique de Montréal and the San Diego Symphony, Principal Conductor of Virginia's Castleton Festival and Conductor Laureate of Northern Ireland's Ulster Orchestra.

Born in Venezuela in 1980, he first discovered classical music at age 14, when he began playing horn with the country's El Sistema program. From 2001 to 2012 he served as Principal

Horn of the Simón Bolívar Symphony Orchestra, taking part in tours and recordings with Gustavo Dudamel and other eminent conductors including Claudio Abbado, Lorin Maazel, Simon Rattle, and Giuseppe Sinopoli, who first inspired him to conduct himself. Receiving conducting training from El Sistema founder José Antonio Abreu and subsequent mentors Maazel and Krzysztof Penderecki, he went on to lead all of Venezuela's major orchestras.

The first prize winner at the Denmark's Malko Competition for Young Conductors in 2012, he has made debuts and forged long-standing relationships with many of the world's preeminent orchestras, opera houses and festivals, including the Wiener Philharmoniker, Gewandhausorchester Leipzig, Staatskapelle Berlin, London Symphony Orchestra, Boston Symphony Orchestra, Chicago Symphony Orchestra, Los Angeles Philharmonic, Royal Opera House, Staatsoper Berlin, BBC Proms and the Edinburgh International Festival.

He made his NHK Symphony Orchestra debut in the summer of 2017 before his first appearance as its subscription concert in 2020 with an all Shostakovich program. For their coming collaboration, he will give an Austro-German program featuring Mozart, Schumann and Richard Strauss, alongside the pianist Emanuel Ax who served as the soloist at Payare's sensational New York Philharmonic debut in 2022.

# Emanuel Ax, piano



Born in 1949 to Polish parents in what is today Lviv, Ukraine, Emanuel Ax moved to Winnipeg, Canada with his family when he was a young boy. He made his New York debut in the Young Concert Artists Series, and in 1974 won the Arthur Rubinstein International Piano Master Competition in Tel Aviv. In 1975 he won the Michaels Award of Young Concert Artists, followed four years later by the Avery Fisher Prize.

One of the most sought-after soloists, he has shared the stage with the world's foremost orchestras. An enthusiastic chamber musician as well, his trio with Leonidas Kavakos and Yo-Yo Ma launched an ambitious, multi-year project to record all the Beethoven trios and symphonies arranged for trio.

He has received Grammy Awards for the second and third volumes of his cycle of Haydn's piano sonatas, and for a series of recordings with Yo-Yo Ma of the Beethoven and Brahms sonatas for cello and piano. His last visit to Japan was in November 2015 but these concerts will be his first appearance with the NHK Symphony Orchestra since June 2002, when he performed Brahms's Piano Concerto No. 2 under the baton of Charles Dutoit, then the orchestra's Music Director.

#### **Program Notes**

Robert Schumann (1810-1856)

# Manfred, incidental music Op. 115 — Overture

The German composer Schumann, although opting to be a musician, took after his

bookseller-author father in literary aptitude. Not surprisingly, his compositions owe a great deal to literature, the fine examples being *Papillons* and *Kreisleriana* for piano respectively inspired by Romantic writers Jean Paul and E. T. A. Hoffmann, not forgetting *Scenes from Goethe's Faust* for voices and orchestra.

The incidental music *Manfred* was penned in 1848 during the Dresden years (1844–1850) of Schumann who had recovered from a serious nervous breakdown. His Piano Concerto (1845), Symphony No. 2 (1846) and only finished opera *Genoveva* (1848) also date from this fruitfully creative period.

The dramatic poem *Manfred* (1817) by the English poet Lord Byron, very likely inspired by Goethe's *Faust* (Part One: 1808 / Part Two: 1832), is said to have influenced Nietzsche's concept of "Übermensch (Superman)." Set in the medieval Alps, the poem features the Faustian title role who feels terribly guilty about having driven his lover to her death. Aspiring to forget the sinful past, Manfred summons spirits with his supernatural power but they are unable to grant him oblivion.

Schumann's Overture captures torments and sorrows covering the overall story concluded by Manfred's death. Three-chord blows open the slow introduction. Trumpets eventually announce the start of the main Allegro section in sonata form, of which the first theme with syncopated rhythms (displacement of accents) is especially passionate and dramatic.

#### Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)

# Piano Concerto No. 25 C Major K. 503

Highly gifted but short-lived, Mozart is known first and foremost for his divinely inspired works of timeless beauty. On top of that, he blazed a trail for the new lifestyle of composers of coming generations when he went freelance in 1781 after serving the Salzburg court. During the last decade of his life before his death in 1791, he, now based in Vienna, earned his daily bread by composing, performing concerts, giving private lessons and having his works published.

Concerto for piano solo was the most important genre for Mozart to shine in the city's music scene both as a composer and pianist (since he was a wunderkind, piano was the instrument he excelled at the most). Incidentally, he left us about fifty concertos, almost half of which are written for solo piano. For himself to serve as the soloist, he wrote in Vienna as many as six numbered piano concertos (No. 14 [K. 449] – No. 19 [K. 459]) only in 1784 and six more (No. 20 [K. 466] – No. 25 [K. 503]) in 1785–1786 to stylistically perfect the Classical piano concerto. They will be followed sporadically by No. 26 *Coronation* (K. 537, 1788) and No. 27 (K. 595, 1791).

Completed in December 1786, No. 25 in C major (K. 503) thus crowns this series of piano concertos penned in quick succession. Its stark tonal contrast with the previous Piano Concerto No. 24 in C minor is noticed at times, while its grand powerfulness and the key is often linked to Mozart's last symphony No. 41 in C major *Jupiter* (1788). The majestic character of No. 25's opening movement in sonata form is immediately confirmed at the outset by the orchestra giving the forceful, fanfare-like first theme. The slow movement in F major with the two contrastive themes, lets the piano sing gracefully as if improvising. The finale

is a rondo sonata without cadenza. The danceable recurrent theme given at the start evokes the ballet music Gavotte, that Mozart wrote for his opera *Idomeneo* (1781).

#### Richard Strauss (1864-1949)

## Ein Heldenleben, symphonic poem Op. 40 (A Hero's Life)

While Mozart is frequently likened to the celestial due to his heavenly fine compositions, the composer whose music is tied to the notion of the hero most tightly is surely Beethoven (1770–1827). He even named his third symphony (1803) *Eroica* (*Heroic*) reusing a theme from his *Die Geschöpfe des Prometheus* (*The Creatures of Prometheus*), a ballet about the heroic Greek god. Beethoven himself embodies the hero as well for he fought against deafness – a vital blow to a musician – to create revolutionary and philanthropic works.

In the Romantic period, R. Strauss who was already a big name both as a composer and conductor followed Beethoven's footsteps. The Bavarian composer created what brilliantly closed his achievements in the genre of the symphonic poem, choosing the same subject, heroism, the same home key (E-flat major) and the same central instrument (horns) as Beethoven's *Eroica*. After this mighty work entitled *Ein Heldenleben (A Hero's Life)* (1898), Strauss would never compose a symphonic poem to forge a new path as an opera composer (according to him, *Symphonia Domestica* [1903] and *Eine Alpensinfonie* [An Alpine Symphony] [1915] are, though programmatic, not categorized as symphonic poems).

Strauss equivocated on the identification of "a hero." However, it is generally believed that *Ein Heldenleben* is autobiographical, except that it was too early for the then-thirty-four-year composer to "look back" at his latter life as he would live to eighty-five. The work consists of six sections (performed seamlessly without pause) with titles, although Strauss didn't allow them to be printed on the published scores.

I Der Held (The Hero) begins with horns and low strings announcing the high-spirited passionate theme of the hero. II Des Helden Widersacher (The Hero's Adversaries), a sort of scherzo, ridicules critics who lashed out against the hero, then III Des Helden Gefährtin (The Hero's Companion), a slow section, lets the violin solo depict Pauline, Strauss' variable but lovable wife. A trumpet fanfare opens IV Des Helden Walstatt (The Hero at Battle) where the "companion (Pauline)" theme supports the hero's fight against his hostile critics. The spectacular victory of the couple is followed by V Des Helden Friedenswerke (The Hero's Works of Peace) where Strauss "auto-quotes" about ten of his previous pieces including the symphonic poems Don Juan, Thus Spoke Zarathustra, Till Eulenspiegel's Merry Pranks, Macbeth and Don Quixote. With an opening English horn solo, VI Des Helden Weltflucht und Vollendung (The Hero's Retreat from the World and Completion) invites us to a pastoral setting the old hero retreats to, where he thinks back on what he has done. The music comes to a calm climax with the horn solo and the violin solo melodies staying together, prior to the stately brass closing.

#### Kumiko Nishi

For a profile of Kumiko Nishi, see p. 61

#### **PROGRAM**



# Concert No. 2049

# **NHK Hall**

# November

**14**(Fri) 7:00pm **15**(Sat) 2:00pm

| conductor | Charles Dutoit   for a profile of Charles Dutoit, see p. 57 |
|-----------|---|
| chorus    | Nikikai Chorus Group*(Hirofumi Misawa, chorus master)       |

#### The 150th Anniversary of Maurice Ravel's Birth

Kota Nagahara

# Maurice Ravel Pavane pour une Infante défunte (Pavane for a Dead Princess) [6']

# Maurice Ravel Le tombeau de Couperin, suite (The Grave of Couperin) [17']

I Prélude

concertmaster

- II Forlane
- III Menuet
- IV Rigaudon
- intermission (20 minutes) -

### Maurice Ravel Daphnis et Chloé, ballet (Daphnis and Chloe)\* [56']

- 1<sup>re</sup> Partie
- 2<sup>e</sup> Partie
- 3<sup>e</sup> Partie

<sup>-</sup> All performance durations are approximate.

# 14 & 15. NOV. 2

# Nikikai Chorus Group, chorus

The Nikikai is an organization of singers formed in 1952 with sixteen vocalists for further promotion and development of the operatic and vocal culture of Japan. It has over 2,700 vocal members today as the country's largest vocal institution.

The Nikikai Chorus Group, established within the Nikikai in 1953, has played an essential role at the Nikikai's operatic performances in a variety of repertoires of different languages, including Mozart's Così fan tutte and Le nozze di Figaro, Richard Strauss's Die Frau ohne Schatten, Bizet's Carmen, Wagner's Tannhäuser and Parsifal, Handel's Deidamia, Verdi's La Traviata and Don Carlo, and Puccini's Madama Butterfly. The chorus has also appeared at its own concerts as well as major orchestras' concerts under the baton of esteemed conductors including Charles Dutoit, Gerd Albrecht, Vladimir Ashkenazy, André Previn and Eliahu Inbal.

This is the chorus's first collaboration with the NHK Symphony Orchestra since November 2013 when they performed Verdi's opera *Simon Boccanegra* (concert version) under the baton of the late Nello Santi on the 200th anniversary of the composer's birth. This time, the chorus will celebrate the 150th anniversary of Ravel's birth with the orchestra led by Charles Dutoit who is known as a leading specialist of the composer.

#### **Program Notes**

#### Maurice Ravel (1875-1937)

# Pavane pour une Infante défunte (Pavane for a Dead Princess)

The year 2025 marks the 150th anniversary since the birth of the French composer Ravel whose constant clarity, minuteness and sophistication earned him a byname "Swiss Watchmaker" (his engineer father was Swiss). A keen student of Gabriel Fauré (1845–1924) at the Conservatoire de Paris, Ravel was self-admittedly influenced by Emmanuel Chabrier (1841–1894), Claude Debussy (1862–1918) and Erik Satie (1866–1925) handing down the French tradition to next generations including Olivier Messiaen (see also p. 60).

Pavane pour une Infante défunte was first composed for piano solo in 1899 when Ravel was still trained by Fauré, before the former arranged it for a small orchestra in 1910. Pavane, a slow-moving processional dance, was in vogue at European courts during the 16th and 17th centuries. One theory holds that its majestic nature is related to the name derived from the Spanish word "pavón" for peacock.

Ravel's poetic title, likely chosen as it has a nice ring to it in French ("Infante défunte" meaning "defunct infanta"), refers to a pavane once danced by a little princess at the Spanish court. He could have been inspired by a painting of the 17th-century Spanish court painter Diego Velázquez. The composer chose a simple rondo form (ABACA) for this elegant piece full of nostalgia opened by the French horn solo giving the main tune in G major. The inner sections B and C in minor keys introduce new melodies on an oboe and a flute respectively.

# 14 & 15. NOV. 2025

## Le tombeau de Couperin, suite (The Grave of Couperin)

France's humiliating defeat in the war against Prussia in 1871 caused a rise in patriotic sentiment among French composers, developing their admiration for French Baroque music. Four decades later when World War I broke out, Ravel at age 39, as with Debussy in his final years, renewed fascination for the nation's glorious musical heritage as represented by François Couperin (1668–1733) and Jean-Philippe Rameau (1683–1764).

Ravel first composed *Le tombeau de Couperin* as a piano suite in 1914–1917 during the war, living turbulent days: he, with a surge in patriotism, joined the transport corps as a truck driver and fell ill. Then he lost his beloved mother in January 1917 before completing *Le tombeau* in November.

"Tombeau" (meaning tomb) was for French Baroque composers a musical form to eulogize a notable deceased person. Compared to requiem (Catholic Mass for the dead), they could communicate more freely their personal message through this secular form. Ravel pays tribute to Couperin and French Baroque music in his *tombeau* modeled after Baroque dance suites, and dedicates each of the six movements to his friend(s) who died in World War I.

In 1919, Ravel prepared the orchestral version omitting two highly pianistic movements (Fugue and Toccata) and changing the order of the rest. I Prélude in 12/16 time is opened by an oboe, the key instrument of the entire suite, pouring sixteenth notes out. Here we hear graceful ornaments recalling harpsichord pieces by Couperin and his French contemporaries. Marked by danceable dotted rhythms, II Forlane is especially well-endowed with modern harmonic elements including major seventh chords. Not surprisingly, Ravel had once studied Forlane from Couperin's Concerts royaux (Royal Concerts) No. 4 for chamber orchestra making its piano transcription. The central section of III Menuet in ABA form is a musette, a pastoral dance with low sustained notes evoking musettes (French bagpipes). IV Rigaudon is also in ABA form. The outer section in C major, a lively duple-time dance originally from southern France, makes a sharp contrast with the slower central section in C minor where an oboe unfolds a melancholic folky tune.

#### Maurice Ravel

# Daphnis et Chloé, ballet (Daphnis and Chloe)

Russian impresario Sergei Diaghilev (1872–1929) and his ballet company, Ballets Russes, created a lively sensation in Paris in the early 20th century. Their big smashes were *Fire-bird*, *Petrushka* and *The Rite of Spring* in collaboration with Igor Stravinsky (1882–1971). Ravel was also among the artists involved in Diaghilev's cutting-edge projects to leave us an important orchestral repertoire, i.e. the ballet score *Daphnis et Chloé* (*Daphnis and Chloe*).

The ballet was premiered in 1912. The scenario, divided in three parts, is an adaptation of an idyllic love story by the ancient Greek author Longus. It is based on the Greek legend of young Daphnis and Chloe, both brought up on the island of Lesbos. Although the set designed by Léon Bakst for the premiere was influenced by Hellenism, Ravel's music turned away from any archaic idiom, thus representing "the Greece of my dreams

close to that imagined by the French painters of the 18th century" (his own words). And the "Magician of Orchestration" meticulously and inventively brings out every instrument's infinite potential to make the score sound gorgeous and evocative, utilizing even a wordless mixed chorus.

Part I is set in a meadow in a sacred wood on a fine spring afternoon. *Introduction et danse religieuse (Introduction and Religious Dance*) lets a group of young people bow before an altar of Nymphs. Daphnis and Chloé enter, and Chloé gets jealous of girls dancing around Daphnis. Now the cowherd Dorcon tries to kiss Chloé, making Daphnis vexed.

Toward the end of *Danse générale* (General Dance), a dance duel between Daphnis and Dorcon is proposed with a kiss from Chloé as the winner's prize. Danse grotesque de Dorcon (Dorcon's Grotesque Dance) and Danse légère et gracieuse de Daphnis (Daphnis's Light and Graceful Dance) result in Daphnis's victory. Then the shepherdess Lycéion seduces Daphnis at Danse de Lycéion (Lyceion's Dance) during which Pirates burst into to abduct Chloé. Daphnis falls unconscious in despair. Mysterious, Nocturne lets Nymphs dance so Daphnis is revived and invoke the god Pan.

Placid *Interlude* with the chorus leads to **Part II** set in the Pirates' camp on a seacoast. Barbaric *Danse guerrière* (*Battle Dance*) is followed by *Danse suppliante de Chloé* (*Chloe's Dance of Supplication*) where she tries to escape in vain. Suddenly, a strange atmosphere covers the place and an aeoliphone (wind machine) is heard. Pan appears, puts Pirates in horror to rout, and frees Chloé.

Part III begins with Lever du jour (Daybreak) depicting the grotto of Nymphs in the meadow at dawn. Daphnis and Chloé are reunited. At Pantomime, Daphnis as Pan and Chloé as the nymph Syrinx mime. The flowing and elegant flute solo suggests the panpipes (or syrinx), Pan's attribute. Then the two embrace each other. Celebrating the young couple, Danse générale is the euphoric denouement of the ballet.

#### Kumiko Nishi

# The Subscription Concerts Program 2025–26

| November 29 (Sat) 6:00pm 30 (Sun) 2:00pm Program A of the December subscription concerts will be held in November. NHK Hall Concert No. 2052 December 4 (Thu) 7:00pm 5 (Fri) 7:00pm Suntory Hall | Shostakovich Violin Concerto No. 1 A Minor Op. 77 Zemlinsky Die Seejungfrau, fantasy (The Mermaid)  Fabio Luisi, conductor Leonidas Kavakos, violin  Fujikura Ocean Breaker for Orchestra—in memoriam Pierre Boulez (2025) [Commission Work for NHK Symphony Orchestra / World Premiere]  Franck Variations symphoniques for Piano and Orchestra (Symphonic Variations)* Saint-Saëns Symphony No. 3 C Minor Op. 78, Symphonie avec orgue (Organ Symphony)  Fabio Luisi, conductor Tom Borrow, piano* Takeshi Kondo, organ | Ordinary S 11,000 A 9,500 B 7,600 C 6,000 D 5,000 E 3,000 Ordinary S 12,000 A 10,000 B 8,000 C 6,500 D 5,500 | \$ 5,500<br>A 4,500<br>B 3,500<br>C 2,800<br>D 1,800<br>E 1,400<br>Youth<br>\$ 6,000<br>A 5,000<br>B 4,000   |
|--|---|--|--|
| Concert No. 2053  December 12 (Fri) 7:00pm 13 (Sat) 2:00pm NHK Hall  | Chopin Piano Concerto No. 1 E Minor Op. 11 or No. 2 F Minor Op. 21  Nielsen Symphony No. 4 Op. 29, <i>The Inextinguishable</i> Fabio Luisi, conductor The Winner of the 19th International Chopin Piano Competition, piano  | Ordinary S 11,000 A 9,500 B 7,600 C 6,000 D 5,000 E 3,000  |  |
| January<br>17 (Sat) 6:00pm<br>18 (Sun) 2:00pm  | Mahler Symphony No. 6 A Minor, Tragische (Tragic)  Tugan Sokhiev, conductor   | Ordinary S 11,000 A 9,500 B 7,600 C 6,000 D 5,000 E 3,000  | S 5,500<br>A 4,500<br>B 3,500<br>C 2,800   |
| January<br>29 (Thu) 7:00pm<br>30 (Fri) 7:00pm<br>Suntory Hall  | Mussorgsky / Shostakovich Khovanshchina, opera —Dawn over the Moscow River, prelude Shostakovich Piano Concerto No. 2 F Major Op. 102 Prokofiev Symphony No. 5 B-flat Major Op. 100 Tugan Sokhiev, conductor Kanon Matsuda, piano   | Ordinary<br>S 12,000<br>A 10,000<br>B 8,000<br>C 6,500<br>D 5,500  | S 6,000<br>A 5,000<br>B 4,000<br>C 3,250   |
| Concert No. 2055  January 23 (Fri) 7:00pm 24 (Sat) 2:00pm  NHK Hall  |   | Ordinary S 11,000 A 9,500 B 7,600 C 6,000 D 5,000 E 3,000  | S 5,500<br>A 4,500<br>B 3,500<br>C 2,800   |
| Concert No. 2057 February 7 (Sat) 6:00pm 8 (Sun) 2:00pm  | Schumann Symphony No. 3 E-flat Major Op. 97, Rheinische (Rhenish) Wagner Götterdämmerung, opera—Siegfrieds Rheinfahrt, Siegfrieds Tod und Trauermarsch, Brünnhildes Schlussgesang: Starke Scheite schichtet mir dort* (Twilight of the Gods—Siegfried's Rhine Journey, Siegfried's Funeral March, Brünnhilde's Immolation) Philippe Jordan, conductor Tamara Wilson, soprano*   | S 10,000<br>A 8,500<br>B 6,500<br>C 5,400<br>D 4,300<br>E 2,200  | S 5,000<br>A 4,000<br>B 3,100<br>C 2,550   |
| February 19 (Thu) 7:00pm 20 (Fri) 7:00pm Suntory Hall  | Dvořák Violin Concerto A Minor Op. 53<br>Brahms Serenade No. 1 D Major Op. 11<br>Jakub Hrůša, conductor<br>Josef Špaček, violin   | Ordinary S 12,000 A 10,000 B 8,000 C 6,500 D 5,500   | S 6,000<br>A 5,000<br>B 4,000  |
| Concert No. 2058  February 13 (Fri) 7:00pm 14 (Sat) 2:00pm   | NHKSO 100th Anniversary: Japanese Composers Series  Kodály Variations on a Hungarian Folksong The Peacock  Hummel Trumpet Concerto E Major  Mussorgsky / Konoe Pictures at an Exhibition, suite  Gergely Madaras, conductor   |  |  |
|  | November  | Commission With Full   | November   29   Sat   600pm   30   Sat   600pm   30   Sat   600pm   30   Sat   600pm   5   500pm   5 |

| A Sat.                       |         | n (doors open at 5:00pm)<br>m (doors open at 1:00pm)                        | B Suntory Hall Thu. 7:00pm (doors open at 6:20pm) Fri. 7:00pm (doors open at 6:20pm) Fri. 7:00pm (doors open at 6:20pm)   |   |  |
|------------------------------|---------|---|---|---|--|
| <sup>2026</sup><br><b>04</b> | Α       | Concert No. 2060<br>April<br>11 (Sat) 6:00pm<br>12 (Sun) 2:00pm<br>NHK Hall | Haydn Cello Concerto No. 1 C Major Hob. VIIb-1 Bruckner Symphony No. 9 D Minor  Fabio Luisi, conductor Jan Vogler, cello  | Ordinary S 11,000 A 9,500 B 7,600 C 6,000 D 5,000 E 3,000 | S 5,500<br>A 4,500   |
|                              | В       | April 16 (Thu) 7:00pm 17 (Fri) 7:00pm Suntory Hall                          | Mozart Clarinet Concerto A Major K. 622 Mahler Symphony No. 5 C-sharp Minor  Fabio Luisi, conductor Kenji Matsumoto (Principal Clarinet, NHKSO), clarinet   | Ordinary S 12,000 A 10,000 B 8,000 C 6,500 D 5,500        | S 6,000<br>A 5,000   |
|                              | С       | April 24 (Fri) 7:00pm 25 (Sat) 2:00pm                                       | NHKSO 100th Anniversary: Japanese Composers Series  Toyama Divertimento for Orchestra  Prokofiev Piano Concerto No. 3 C Major Op. 26  Ifukube Ballata Sinfonica (Symphonic Ballad)  Britten Peter Grimes, opera—Four Sea Interludes Op. 33a   | B 6,500<br>C 5,400<br>D 4,300                             | S 5,000<br>A 4,000<br>B 3,100                                  |
| <sup>2026</sup> 05           | Α       | NHK Hall  Concert No. 2064  May 23 (Sat) 6:00pm 24 (Sun) 2:00pm  NHK Hall   | Tatsuya Shimono, conductor Kyohei Sorita, piano  Brahms Double Concerto for Violin and Cello, A Minor Op. 102  Brahms / Schönberg Piano Quartet No. 1 G Minor Op. 25  Michael Sanderling, conductor Christian Tetzlaff, violin Tanja Tetzlaff, cello  | D 4,300<br>E 2,200  | S 5,000<br>A 4,000<br>B 3,100<br>C 2,550<br>D 1,500<br>E 1,000 |
|                              | В       | Concert No. 2063  May 14 (Thu) 7:00pm 15 (Fri) 7:00pm  Suntory Hall         | NHKSO 100th Anniversary: Japanese Composers Series  Kazuo Yamada Also sang ein Jüngling, small symphonic poem (Thus Sang a Young Man)  Hartmann Concerto funebre (Funereal Concerto)*  Sugata Symphonic Overture Op. 6  Hindemith Mathis der Maler, symphony (Matthias the Painter)  Kazuki Yamada, conductor Suyoen Kim, violin* | Ordinary S 12,000 A 10,000 B 8,000 C 6,500 D 5,500        | S 6,000<br>A 5,000<br>B 4,000<br>C 3,250                       |
|                              | С       | Concert No. 2065  May 29 (Fri) 7:00pm 30 (Sat) 2:00pm  NHK Hall             | Vasks Commission Work for NHK Symphony Orchestra [Japan Premiere] Shostakovich Symphony No. 4 C Minor Op. 43  Andris Poga, conductor  |   | S 5,000<br>A 4,000<br>B 3,100<br>C 2,550<br>D 1,500            |
| 2026                         | Α       | Concert No. 2067  June 13 (Sat) 6:00pm 14 (Sun) 2:00pm  NHK Hall            | Wagner Die Meistersinger von Nürnberg—Vorspiel<br>(The Mastersingers of Nuremberg—Prelude)<br>Mozart Piano Concerto No. 17 G Major K. 453<br>Bartók Concerto for Orchestra<br>Jaap van Zweden, conductor<br>Conrad Tao, piano   | C 6,000   | S 5,500<br>A 4,500<br>B 3,500                                  |
|                              | В       | Concert No. 2066  June 4 (Thu) 7:00pm 5 (Fri) 7:00pm  Suntory Hall          | Honegger Pastorale d'été, symphonic poem (Summer Pastoral) Berlioz Les nuits d'été, songs Op. 7 (Summer Nights) Iber Escales (Ports of Call) Debussy La mer, three symphonic sketches (The Sea) Stéphane Denève, conductor Gaëlle Arquez, mezzo soprano   | Ordinary S 12,000 A 10,000 B 8,000 C 6,500 D 5,500        | S 6,000<br>A 5,000<br>B 4,000<br>C 3,250                       |
|                              | С       | Concert No. 2068  June 19 (Fri) 7:00pm 20 (Sat) 2:00pm                      | Sibelius Andante festivo Sibelius Violin Concerto D Minor Op. 47 Rakhmaninov Symphony No. 3 A Minor Op. 44  Tadaaki Otaka, conductor  | Ordinary S 10,000 A 8,500 B 6,500 C 5,400 D 4,300         | S 5,000<br>A 4,000<br>B 3,100<br>C 2,550<br>D 1,500            |
| All performer                | s and p | NHK Hall<br>programs are subject to c                                       | HIMARI, violin hange or cancellation depending on the circumstances.  | E 2,200<br>(tax include                                   |  |

#### N響関連のお知らせ

WEB連載 「NHK交響楽団のあゆみ」は こちらから



2026年の「N響100年」に向けて、ホームページで「NHK交響楽団のあゆみ」を連載中です。執筆は、『王道楽土の交響楽』「日本のピアノ100年」などの著書でも知られる、音楽評論家・編集者の岩野裕一氏。終戦後の「NHK交響楽団」への改称から、創立100年となる2026年までのN響の歴史を追いかけます。https://www.nhkso.or.jp/news/HistoricalOverview contents.html

### 伝えるチカラ



- ◎ 公共メディアNHKを社会へ
- ◎社会貢献事業で、次世代の未来を応援!

#### NHK財団は、

子法人の「NHK交響楽団」と共に、 社会貢献事業を進めていきます。





NHK財団の最新情報はこちらから

# NHK こども 音楽クラブ

「NHK こども音楽クラブ」は、 NHK と NHK交響楽団で 実施している出前授業。 全国各地の学校を訪ね ミニコンサートを行っています。

間近で聴く演奏に 目を輝かせる子どもたち そして、素顔のN響メンバーに 出会えるコンサートです。 出前授業の動画が ホームページで ご覧いただけます



https://www.nhk.or.jp/event/ kodomo-ongaku/ 音楽は人々を元気づけ、ひとときの安らぎを 与えてくれます。N響はコンサートホールを飛 び出して、さまざまな場所、さまざまな人たち に美しい音色をお届けし、広く社会に貢献し ていきます。

#### 子どもたちの未来を育む

"N響が学校にやってきた"をキャッチフレーズに NHKと共催して、楽員たちが全国の小中学校 を訪ねてミニコンサートを開く「NHKこども音楽クラブ」、子どもと大人が夏休みに名曲を楽しめる「N 響ほっとコンサート」、N響練習所のある東京都港 区の保育園児を招いてN響メンバーがじかに音楽の楽しさを伝える「N響といっしょ! 音を楽しむ!!」などを開催しています。音楽や音楽家に身近に接してもらうことで豊かな心を育む取り組みに、これからも力を入れていきます。

#### 優れた音楽家を育てる

1950年代、指揮を実践的に学ぶ場として設けたのが「指揮研究員」の制度です。有望な若手指揮者をオーケストラの現場に迎え入れ、国内外の巨匠たちとの音楽づくりに携わる機会を提供。日本のクラシック音楽界を担う人材を数多く輩出しています。また2003年に創設された「N響アカデミー」では、オーディションで選抜された受講生が、楽員からのレッスン、リハーサルや公演の参加などを通じてトレーニングを積んでいます。修了生はN響をはじめ国内外のオーケストラで活躍しています。

#### 指揮研究員

井手 奏、佐久山修太

#### N響アカデミー在籍者

ヴァイオリン: 下野園ひな子、遠井彩花、中井楓梨 コントラバス: 桑原孝太朗 クラリネット: 白井宏典 打楽器: 菊池幸太郎 (2025年11月1日現在)

#### 地域の人たちとつながる

全国のさまざまな団体、自治体から要請を受けて、ク

# N響の社会貢献

ラシック音楽の普及や文化振興のお手伝いをしています。幼稚園、飲食店、ショッピングセンターで演奏したり、生徒たちにレッスンをするなど、地元に密着した活動を行っています。最近は各地の放送局のイベントに参加して演奏する機会も増えています。NHKのテレビとラジオで日曜のお昼に放送される『NHKのと自慢』では、審査の結果を伝える「鐘」をN響の打楽器奏者が担当することもあります。

#### 病院や福祉施設、被災地に届ける

病院や高齢者施設を楽員が訪れてミニコンサートを開き、入院する患者さん、看病するご家族、お年寄りの方たちに安らぎのひとときをお届けしています。また被災地にも出向き、演奏を通じて現地の人たちの応援にも力を入れています。2024年1月に起きた能登半島地震では、翌月にN響の楽員15人が石川県を訪問し、4地域・6か所の避難所でミニコンサートを開きました。

#### 国際交流の輪を広げる

1960年の「世界一周演奏旅行」以来、海外での演奏にも力を入れてきました。近年は2025年5月にオランダ・アムステルダムでの「マーラー・フェスティバル」に参加するなど、世界最高峰の舞台に招かれることが増えています。一方国内では、首都圏の大学などと連携して、私たちが主催する公演への外国人留学生招待にも取り組んでいます。

#### 異なる分野の専門家と連携する

デジタル活用や医療などの新しい課題に、異なる分野の人たちと手をたずさえて取り組んでいます。2022年11月の「NTT東日本 N響コンサート」では、離れていても同じ場所にいるように感じられるような映像・音声接続を実現する「IOWN APN関連技術」の検証実験に協力。リアルタイム・リモート演奏を成功させました。一方コロナウイルスへの対策がまだ手探りだった2020年7月、業界団体が行った「演奏中の飛沫」を調べる実験に多くの楽員や職員を派遣。これにより舞台上の安全な楽器配置などがわかり、業界の統一したマニュアル作りに役立ちました。

#### 役員等·団友

役員等

中野谷公一 理事長

常務理事

三溝敬志 大曽根 聡子

理重

相川直樹 内永ゆか子 岡田知之 杉山博孝 銭谷眞美 田辺雅泰 圏 宏明 毛利 衛

監事

春原雄策 濵村和則

評議員

演奏制作部

丸山千絵

利光敬司

石井 康

稲葉延雄 江頭敏明 樺山紘一 菅原直 清野智 田中宏暁 檀ふみ 坪井節子 根本拓也 前田昭雄 三浦 惺 山名啓雄 渡邊 修

技術主幹 芸術主幹

事務局

髙木かおり 髙橋 啓 岩渕一真

沖 あかね 上原 静 内山弥生 木村英代 徳永匡哉 小倉康平

猪股正幸 吉賀亜希 宮崎則匡

森下文典 黒川大亮 野村 歩

企画プロモーション部 経営管理部

三浦七菜子 浅田武志 杉山真知子 日黒重治 長津紗弥 山本能官

西川彰一 告田麻子 尾澤 勉

団友

黒柳紀明 公門俊之 齋藤真知亜 酒井敏彦

名誉コンサート マスター

堀 正文

コンサートマスター 海野義雄 川上久雄 篠崎史紀 徳永二男 堀 伝

山口裕之 ヴァイオリン

板橋 健 梅澤美保子 大澤 浄

大林修子 大松八路 金田幸男 川上朋子 木全利行

窪田茂夫

清水謙二

鈴木弘一 田渕彰 田中 裕 鶴我裕子

中瀬裕道 永峰高志 根津昭義 堀江 悟 前澤均

宮里親弘 武藤伸二 村上和邦 横山俊朗

蓬田清重

ヴィオラ 大久保淑人 小野富士 梯 孝則 河野昌彦 菅沼進二

店村眞積

田渕雅子 中竹英昭

三原征洋 村山 弘 山田雄司

チェロ 岩井雅音 木越 洋 齋藤鶴吉 三戸正秀 銅銀久弥

丹羽経彦 平野秀清 藤本英雄 茂木新緑

コントラバス 井戸田善之 志賀信雄 佐川裕昭 新納益夫

フルート 菅原 潤

細川順三 宮本明恭

オーボエ 青山聖樹 北島 章

浜 诸显 茂木大輔

クラリネット 磯部周平 加藤明久 横川晴児

ファゴット 岡崎耕治 霧生吉秀 菅原恵子

ホルン

大野良雄 中島大之 桶口哲生 松崎 裕

山田桂三

トランペット 井川明彦

北村源三 来馬 賢 関山幸弘 津堅直弘 栃本浩規

福井 功 佛坂咲千生

トロンボーン 伊藤 清

神谷 敏 栗田雅勝 三輪純生 告川武典

テューバ

多戸幾久三 原田元吉

打楽器

有賀誠門 岡田知之 瀬戸川正 百瀬和紀

ピアノ 本荘玲子

理事長

曽我 健 田畑和宏 野島直樹 日向英実 木田幸紀 森 茂雄 今井 環 根本佳則 今村啓一

役員

加納民夫 唐木田信也 斉藤 滋

原武 山崎大樹

事務局 稲川 洋

入江哲之 金沢 孝 小林文行 清水永一郎 中馬 究 出口修平 芳賀由明 望戸一男 諸岡 淳 吉田博志 渡辺 克 渡辺克己

フィルハーモニー2025年11月号 | 第97巻 第8号 2025年11月1日発行 ISSN 1344-5693

公益財団法人NHK交響楽団

〒108-0074 東京都港区高輪2-16-49 TEL:(03) 5793-8111 / FAX:(03) 3443-0278 発行人◎三溝敬志/編集人◎猪股正幸

企画·編集:(-財NHK財団

取材・編集:(株)アルテスパブリッシング 表紙・本文デザイン: 寺井恵司

印刷:佐川印刷株式会社 ○無断転載・箱劁を埜ず

# 一 〇 〇 年 智



おもな記念 2026 Ian.——2027 I

NHK 交響楽団

# 2026年、N響は創立100年を迎えます

NHK交響楽団は1926年10月5日、「新交響楽団」の名称のもと、

日本初の本格的なプロオーケストラとして産声を上げました。

以来、世界一流の指揮者やソリストたちと数多く共演を重ねる中で、

我が国を代表するオーケストラに成長。

1951年にNHKの支援を受けるようになってからは、

「N響」の愛称で皆様に愛されてまいりました。

そして、数々の名演に彩られたその歴史は、

2026年に「創立100年」という大きな節目を迎え、

2026年1月から、さまざまな記念事業を開催します。

長い歴史を支え応援していただいたすべての方々への感謝と「次の100年」に向けた

私たちからのメッセージを込めた「N響の特別な1年」にどうぞご期待ください。



#### 「100年」を彩る特別な公演

#### 「ドラゴンクエスト IV | コンサート

時代を超えて愛される名作ゲームの楽曲を、オーケストラ版の初録音を担ったN響の演奏で

2026年2月27日(金) 7:00pm 東京芸術劇場 指揮:下野竜也

※他会場でも別日程で開催予定

#### N響 大河ドラマ&名曲コンサート<特別編>

楽譜が失われた「源義経」テーマ曲(武満徹・没後30年)復活演奏など、貴重な企画が満載

2026年3月5日(木) 7:00pm NHKホール 指揮:沖澤のどか ほか

※他会場でも別日程で開催予定

#### 日本・シンガポール外交関係樹立60周年 シンガポール公演

両国の佳節を記念し、24年ぶりにシンガポール公演を開催

2026年4月29日(水・祝) 7:30pm エスプラネード 指揮: 下野竜也/ピアノ: 反田恭平

#### 「N響100年記念曲」の新作委嘱、初演

新作を国内外の2人の作曲家、杉山洋一(7月)とミロスラフ・スルンカ(12月)に委嘱し、世界初演

2026年 7月 3日(金) 7:00pm 東京オペラシティ (Music Tomorrow 2026)

2026年12月10日(木) 7:00pm、11日(金) 7:00pm サントリーホール (2026年12月定期公演Bプログラム)

指揮:杉山洋一(7月)、マキシム・エメリャニチェフ(12月)/チェロ:ニコラ・アルトシュテット(12月)

#### N響 × ポケモン クラシックコンサートツアー

2026年に誕生から30年を迎える「ポケモン」とN響の夢のコラボによる全国4か所のコンサートツアー

2026年8月21日(金) 7:00pm 東京芸術劇場

2026年8月22日(土) 3:30pm 京都コンサートホール

2026年8月23日(日) 2:00pm ザ・シンフォニーホール

2026年8月24日(月) 7:00pm アクロス福岡

指揮:横山奏

#### 創立100年記念 マーラー《交響曲第2番「復活」》

N響100回目の創立記念日(10/5)を力強く祝福するマーラーの名作

2026年10月3日(土) 6:00pm、4日(日) 2:00pm NHKホール

指揮:ファビオ・ルイージ/ソプラノ:イン・ファン/メゾ・ソプラノ:タマラ・マムフォード/合唱:新国立劇場合唱団

#### 歌劇「トスカ」(演奏会形式)

#### 数々の名門歌劇場を率いたルイージがN響で初めてオペラを指揮

2026年10月10日(土) 4:00pm、12日(月・祝) 4:00pm サントリーホール ※サントリーホール主催の公演です 指揮:ファビオ・ルイージ/トスカ:エレーナ・スティッキーナ/カヴァラドッシ:リッカルド・マッシ/

スカルピア男爵:アンブロジオ・マエストリ/アンジェロッティ:妻屋秀和/教会の番人:井出壮志朗/

スポレッタ: 糸賀修平/合唱: 東京オペラシンガーズ/児童合唱: NHK東京児童合唱団 ほか

#### 巨匠たちによるブラームス交響曲全曲演奏

#### 99歳ブロムシュテットと86歳エッシェンバッハによるブラームス交響曲の全曲演奏

2026年10月30日(金) 7:00pm 東京芸術劇場 (交響曲第2番、第4番)

2026年10月31日(土) 4:00pm 東京芸術劇場 (交響曲第3番、第1番)

指揮:ヘルベルト・ブロムシュテット(30日)、クリストフ・エッシェンバッハ(31日)

#### ルイージ指揮「N響ニューイヤーコンサート」

新たな100年の幕開けを名歌手たちと華やかに飾る、ルイージ&N響初のニューイヤーコンサート

2027年1月10日(日) 3:00pm、11日(月・祝) 3:00pm NHKホール ※他会場でも別日程で開催予定

指揮:ファビオ・ルイージ/ソプラノ:カミラ・ニールンド/テノール:クラウス・フロリアン・フォークト

#### 「100年」ならではの定期公演での特別企画

#### 邦人作曲家シリーズ (B・Cプログラム 2026年2月~5月)

N響ともゆかりの深い昭和期の邦人作曲家を特集

2026年2月13日(金) 7:00pm、14日(土) 2:00pm (2026年2月Cプログラム)

NHKホール (ムソルグスキー(近衛秀麿編)/組曲[展覧会の絵]ほか) 指揮:ゲルゲイ・マダラシュ

2026年4月24日(金) 7:00pm、25日(土) 2:00pm (2026年4月Cプログラム)

NHKホール (外山雄三/管弦楽のためのディヴェルティメント | 伊福部 昭/交響譚詩 ほか) 指揮:下野竜也

2026年5月14日(木) 7:00pm、15日(金) 7:00pm (2026年5月Bプログラム)

サントリーホール(山田一雄/小交響詩「若者のうたへる歌」」須賀田礒太郎/交響的序曲ほか) 指揮:山田和樹

#### フランツ・シュミット/7つの封印の書(2026年9月Aプログラム)

ファビオ・ルイージのライフワーク、フランツ・シュミット畢竟の声楽つき大作で2026-27シーズン開幕を飾る

2026年9月12日(土) 6:00pm、13日(日) 2:00pm NHKホール

指揮:ファビオ・ルイージ/ヨハネ(テノール):ミヒャエル・ラウレンツ/神の声(バス):ダーヴィト・シュテフェンス/ ソプラノ: 迫田美帆/メゾ・ソプラノ: 藤井麻美/テノール: 伊藤達人/バス: 加藤宏降/合唱: 新国立劇場合唱団

#### ベートーヴェン交響曲全曲演奏(Cプログラム・「第9」演奏会 2026年9月~12月)

2027年の没後200年に先駆け常連指揮者のタクトで、ベートーヴェンの交響曲を全曲演奏

2026年 9月25日(金) 7:00pm、26日(土) 2:00pm

NHKホール(交響曲第1番/第3番「英雄」) 指揮:ファビオ・ルイージ

2026年10月23日(金) 7:00pm、24日(土) 2:00pm

NHKホール(交響曲第8番/第5番「運命」ほか) 指揮: クリストフ・エッシェンバッハ

2026年11月13日(金) 7:00pm、14日(土) 2:00pm

NHKホール(交響曲第2番/第6番「田園」ほか) 指揮:トゥガン・ソヒエフ

2026年12月 4日(金) 7:00pm、5日(土) 2:00pm

NHKホール(交響曲第4番/第7番) 指揮:シャルル・デュトワ

2026年12月17日(木)、18日(金)、19日(土)、20日(日)、22日(火) 開演時刻未定

NHKホール(交響曲第9番「合唱つき」) 指揮:マレク・ヤノフスキ

#### 公演以外の記念事業

#### 「N響100年史」の刊行(2026年秋)

「100年の歩み」を克明に記した記念誌を発行

『フィルハーモニー』誌での「N響百年史」、公式ホームページ での「NHK交響楽団のあゆみ」の連載を基に、詳細な年表 や貴重な写真とあわせて、N響100年の軌跡をたどります。

#### N響「演奏会記録」公開(時期未定)

N響100年の全演奏会の記録をデジタル化 オンラインのデータベースとして公開し、検索にも対応します。

このほかにも記念事業を計画中です。お楽しみに。

お問い合わせ

N響ガイド ··· 0570-02-9502 営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください

nhkso.or.jp

出演者プロフィール・公演詳細は N響ホームページで公開中

最新情報をメールでお届けします WFBチケットN響の

N響ニュースレター

「利用登録」からご登録ください













- ●やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。
- 料金、発売日等チケットについての詳細は、決まり次第、N響ホームページ等でお知らせいたします未就学児の入場はお断りしています
- 掲載情報は2025年10月現在のものです 公演に関する最新の情報は、N響ホームページでご確認ください

いつでも どこでも あなたのそばに

# NHKONE



番組の同時配信、見逃し・聴き逃し配信、ニュースの記事や動画などの情報をテレビ※やスマホ・タブレット、パソコンで

※インターネット接続に対応したテレビ

#### WEBサイト(HP)

NHK ONE





NHKプラス



NHK ONE ニュース・防災



アプリ

NHK ONE for School



NHKラジオ らじる★らじる



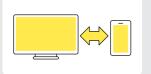
NHKゴガク 語学講座

世帯ですでに受信契約を締結されている場合は、別途のご契約や追加のご負担は必要ありません (「らじる★らじる」など、ラジオ関連サービスは受信契約の対象外です)

#### テレビでもスマホでも



#### プロファイル設定・デバイス連携



#### 防災機能がさらに充実



ドラマも最新ニュース記事も



#### 安心して子どもと一緒に



生放送もぴったり字幕で





〈デジタル読み放題サービス配信中〉 雑誌『目の眼』電子増刊6号 特集残欠仏教美術のたからもの

《紙版&デジタル版 11月15日発売》 雑誌『目の眼』12·1月号 特集 **廣田不孤斎の時代 新たな美の発見者** インタビュー 澤田疃子(小説家)



骨董 古美術の愉しみをつたえるウェブマガジン menomeonline.com

目の眼



2025年

スペシャル・コンサー NHKSO × ANIME BLUE ORCHESTRA SPECIAL CONC

# **2月8日**(月) 7:00pm

NHK ホール(東京・渋谷) 途中休憩ありの 2 時間程度の公演で

#### クリスマス・メドレー

(もろびとこぞりて~アヴェ・マリア~ハレルヤ・コーラス/萩森英明編) 【主人公・青野 一が所属する高校オーケストラ部と合唱部がクリスマス・コンサートで

ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界から | 第4楽章 【オーケストラ部定期演奏会のメイン曲】(Season1)

チャイコフスキー/花のワルツ(バレエ組曲「くるみ割り人形」) 【同じ定期演奏会の演奏曲】(Season1)

バッハ/2つのヴァイオリンのための協奏曲 から◆◇ 【ヴァイオリン初心者の秋音律子が母への贈り物に青野と演奏】(Season2)

メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 第1楽章 から◆ 【小学生の青野がコンクールで演奏】(Season2)

サン・サーンス/ノバッカナール(歌劇「サムソンとデリラ」) 【オーケストラ部が全日本コンクールで演奏】(Season2)

#### 芥川也寸志/交響管弦楽のための音楽

【青野たちがジュニア・オーケストラの選抜メンバーとして取り組む作品】(Season2)

#### 発売開始日 10月10日(金)10:00am

料金 税込/全席指定

|                | S席     | A席     | B席     | C席     |
|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 一般             | ¥9,000 | ¥8,000 | ¥6,000 | ¥5,000 |
| ユースチケット(29歳以下) | ¥4,500 | ¥4,000 | ¥3,000 | ¥2,500 |

※ユースチケット(29歳以下)はWEBチケットN響およびN響ガイドのみのお取り扱いとなります。 初回ご利用時に年齢確認のための「ユース登録」が必要となります。詳細はN響ホームページをご覧ください。

※N響定期会員の先行販売および割引はございません。 ※車いす席についてはN響ガイドにお問い合わせください

※N響ガイドでのお申し込みは、公演日の1営業日前までとなります。

※未就学児のご入場はお断りしています。

主催:NHK / NHK 交響楽団 協力:小学館



指揮: キンボー・イシイ





ヴァイオリン: ヴァイオリン: 東 亮汰◆ (劇中で主人公・青野 一の演奏を担当) (劇中で秋音律子の演奏を担当)

山田友里恵◇



©阿久井真/小学館/NHK·NEP·日本アニメーション

#### お問い合わせ: **N響ガイド 0570-02-9502**

(営業日・営業時間はN響ホームページでご確認ください)

※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。 公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。 ※公演に関する最新情報はN響ホームページでご確認ください。



#### nhkso.or.jp

出演者プロフィール・公演詳細はN響ホームページで公開中

放送!OO 年 みんぷのメディアへ。

**Special Concert** 

## $_{2025$ 年12月26日(金) 7:00pm|サントリーホール

Friday, December 26, 2025 Suntory Hall

バッハ/前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV 552 Bach Prelude and Fugue E-flat Major BWV 552 オルガン: 近藤 岳 Takeshi Kondo, organ

## 響曲第9番二短調 25「合唱つき」

Beethoven Symphony No. 9 D Minor Op. 125, Choral

#### -般:

S ¥20,000 A ¥16,500 B ¥13,000 C ¥9,000 ユースチケット(29歳以下): S ¥10,000 A ¥8,200 B ¥6,500 C ¥4,500 ※全て税込価格

チケット発売開始:9月23日(火・祝)10:00am N響定期会員先行発売日:9月19日(金)10:00am ※定期会員は一般料金から10%割引

お問い合わせ: N響ガイド 0570-02-9502 (営業日・営業時間はN響ホームページでご確認ください) 指揮:レナード・スラットキン Leonard Slatkin, conductor



ソプラノ メゾ・ソプラノ 藤村実穂子 中村恵理 Mihoko Fujimura mezzo soprano Eri Nakamura



福井 敬 Kei Fukui tenor



バリトン 甲斐栄次郎 Eijiro Kai, baritone

NHKSO TOKYO

合唱:新国立劇場合唱団 National Theatre Chorus, chorus

| ● WEBチケットN響.            | https://nhkso.pia.jp |
|-------------------------|----------------------|
| <ul><li>N響ガイド</li></ul> | 0570-02-9502         |

●サントリーホールチケットセンター.....0570-55-0017

suntory.jp/HALL ● チケットぴあ .... .....pia.jp/t/nhkso

● e+(イープラス) .....eplus.jp/nhkso

● ローソンチケット......I-tike.com/nhkso



WEBチケット N鎏

ユースチケット(29歳以下)はWEBチケットN響およびN響ガイドのみのお取り扱いとなります。初回ご利用時に年齢確認のための「ユース登録」が必要となります。詳細はN響 ります。初回こ利用時に年新権総のための1ユース登録」が必要となります。詳細は「腎 ホームペーンをご覧ください。定期会員到引・元令発売はWEBチケットト警報よどの下撃 ガイドのみのお取り扱いとなります。車にいす席をご希望の方は、N響ガイドへお問い合わ せください。外響ガイドのお申し込みは、公演日の1宮室日前までとなります。 \*未就学 児のご入場はお断りしています。 \*やひた得ない理由で出演者や曲目象が変更となる場合 ぐ、公演が中止となる場合がございます。公津中止の場合をのぞき、チケット代金の払い 戻しはいたしません。\*公演に関する最新情報はN響ホームページでご確認ください。



主催:NHK交響楽団 特別協賛:株式会社かんぽ生命保険



NHK交響楽団 ベートーヴェン「第9」演奏会 Beethoven 9th Symphony Concerts

NHKSO

交響曲 第9番 ニ短調 作品125 「合唱つき」

指揮:レナード・スラットキン

2025年

 $12/20_{(\pm)4:00\,\mathrm{pm}} \mid 12/21_{(\mathrm{H})2:00\,\mathrm{pm}}$  $12/23\,{\rm (k)}_{7:00\,{\rm pm}^*}|\,12/24\,{\rm (k)}_{7:00\,{\rm pm}}$ 

NHKホール NHK Hall

\*23日公演はNHK/NHK厚生文化事業団主催のチャリティコンサートです。 プログラムは他の日程と同一です。

#### お問い合わせ

NHK厚生文化事業団: 03-3476-5955 (23日公演のみ、平日10:00am~6:00pm)

#### チケット発売開始

#### 9月23日(火·祝)10:00am

N響定期会員先行発売日: 9月19日(金)10:00am

#### 料金(税込)

| 一般      | S | ¥17,000 | Α | ¥13,500 | В | ¥10,000 | C¥7,500 | D¥5,000  |
|---------|---|---------|---|---------|---|---------|---------|----------|
| ユースチケット | S | ¥8,500  | Α | ¥6,750  | В | ¥5,000  | C¥3,750 | D ¥2,500 |



中村 恵理





福井 敬

甲斐 栄次郎

合唱: 新国立劇場合唱団

主催: NHK/NHK交響楽団 主催(23日): NHK/NHK厚生文化事業団

> 協賛: みずほ証券株式会社 株式会社明電舎

前売所



|  | WEBチケットN響 | https://nhkso.pia.jp |
|--|-----------|----------------------|
|--|-----------|----------------------|

| N響ガイド   | 0570-02-9502   |
|---------|----------------|
| エケ…してじち | nin in/t/nhlun |

e+(イープラス) eplus.jp/nhkso

ローソンチケット I-tike.com/nhkso

●ユースチケット(29歳以下)はWEBチケットN響およびN響ガイドのみのお取り扱いとなります。初回ご利用時に年齢確認のための「ユース登録」が必要となります。詳細はN響ホールページをご覧ぐださい。●定期会員割り、号行発売のお取り扱いはWEBチケットN増多よびN署ガイドのみとのります。●単いま作をご希望の方は、N署ガイド(23日公流のみNHK原生文化事業団) >お問い合わせください。●未就学児のご入場はお断りしています。●かむを得ない理由で出資者等が変更となる場合や、必済が中止となる場合がごかよま、公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。●公演に関する最新情報はN響ホームページでご本等のと 確認ください。



水素&LPガスシェアNo.1

岩谷産業株式会社